

アンケート調査結果

1) 県民アンケート

「いばらき自転車活用推進計画」改定に向け、県民の自転車利用の実態や意識などを把握することを目的とした調査を実施した。

- ・調査期間：令和3（2021）年9月17日（金）～9月21日（火）
- ・実施方法：WEB アンケート調査
- ・調査対象：自転車利用者 1,000 サンプル、自転車非利用者 1,000 サンプル

※自転車利用者：日常生活において、2～3か月に1回以上自転車を利用する人
 自転車非利用者：日常生活において、自転車を利用する頻度が2～3か月に1回未満の人、または自転車を利用しない人

表 1 県民アンケートの調査項目

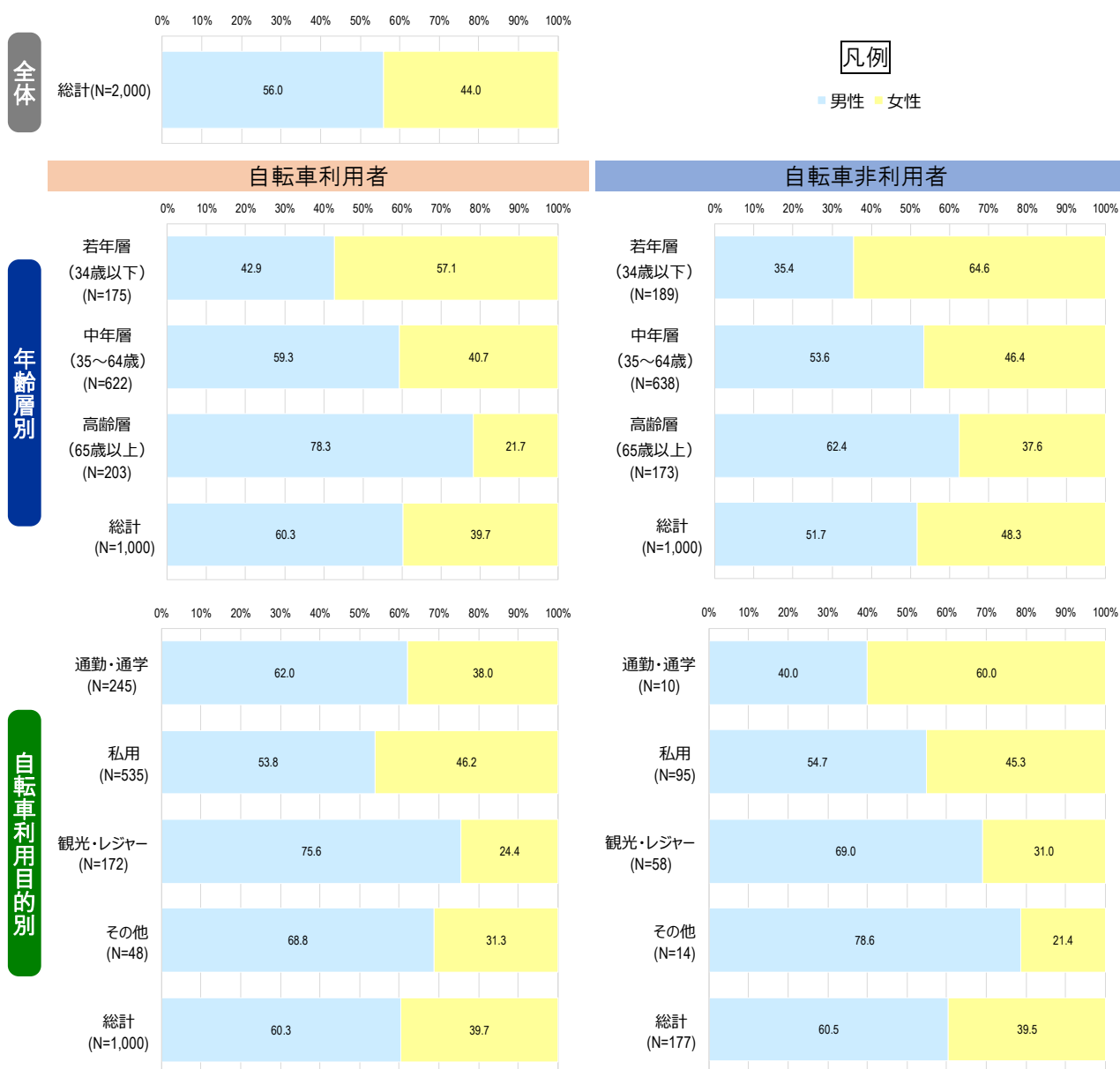
項目	設問	内容	結果の活用方針
—	—	性別	基礎情報の収集
	—	年齢	
調査対象者のスクリーニング	SC1	居住地域（都道府県）	
	SC2	居住地域（市町村）	
	SC3	日常生活での自転車利用頻度	
個人属性	Q1	職業	
	Q2	免許保有状況	
	Q3	日常生活での主な移動手段	
	Q4	Q3で最もよく行く目的地までの片道距離	
自転車利用実態（日常）	Q5	日常生活で主に利用する自転車の種類	
	Q6	日常生活での主な自転車利用目的	
	Q7	日常生活での自転車利用時間（1回あたり片道）	
	Q8	自転車を利用してもよい最大利用時間（片道）	
	Q9	自転車の点検頻度	
	Q10	自転車通勤の実施状況	
	Q11	自転車通勤をしていない理由	
自転車利用意識	Q12	電動アシスト自転車の利用経験	自転車利用意識の変化を把握
	Q13	自転車利用のどんなところに魅力を感じるのか	
ルールの認知・遵守状況	Q14	健康のための自転車利用の重要性への認識	自転車交通ルール・マナーの認知状況や遵守状況の変化を把握
	Q15	自転車安全利用五則の認知状況	
	Q16	過去1年間で、自転車利用時に思わず違反したこと	
	Q17	自転車利用時のヘルメット着用状況	
	Q18	自転車保険加入の努力義務化の認知状況	
	Q19	歩行者の自転車への恐怖心の有無	
	Q20	歩行者が自転車への恐怖を感じる場面	
	Q21	「思いやり運転」の意識	
Q22	ドライバーの自転車への恐怖心の有無		

項目	設問	内容	結果の活用方針
	Q23	ドライバーが自転車への恐怖を感じる場面	
	Q24	日常移動での子どもの自転車利用意向	
	Q25	子どもの自転車利用に否定的な理由	
施策・措置の満足度	Q26	自転車利用に対する満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用推進に向けて実施した施策・措置の満足度の把握 ・今後必要とされる施策・措置の検討 ・市民参画の方法の検討
	Q27	満足している自転車利用環境	
	Q28	自転車利用のために必要な環境整備 (自転車非利用者)	
		さらに自転車を利用するために必要な環境 (自転車利用者)	
	Q29	自転車活用推進計画の認知	
Q30	自転車利用推進に向けて、関わりたい取組み		

■個人属性

性別

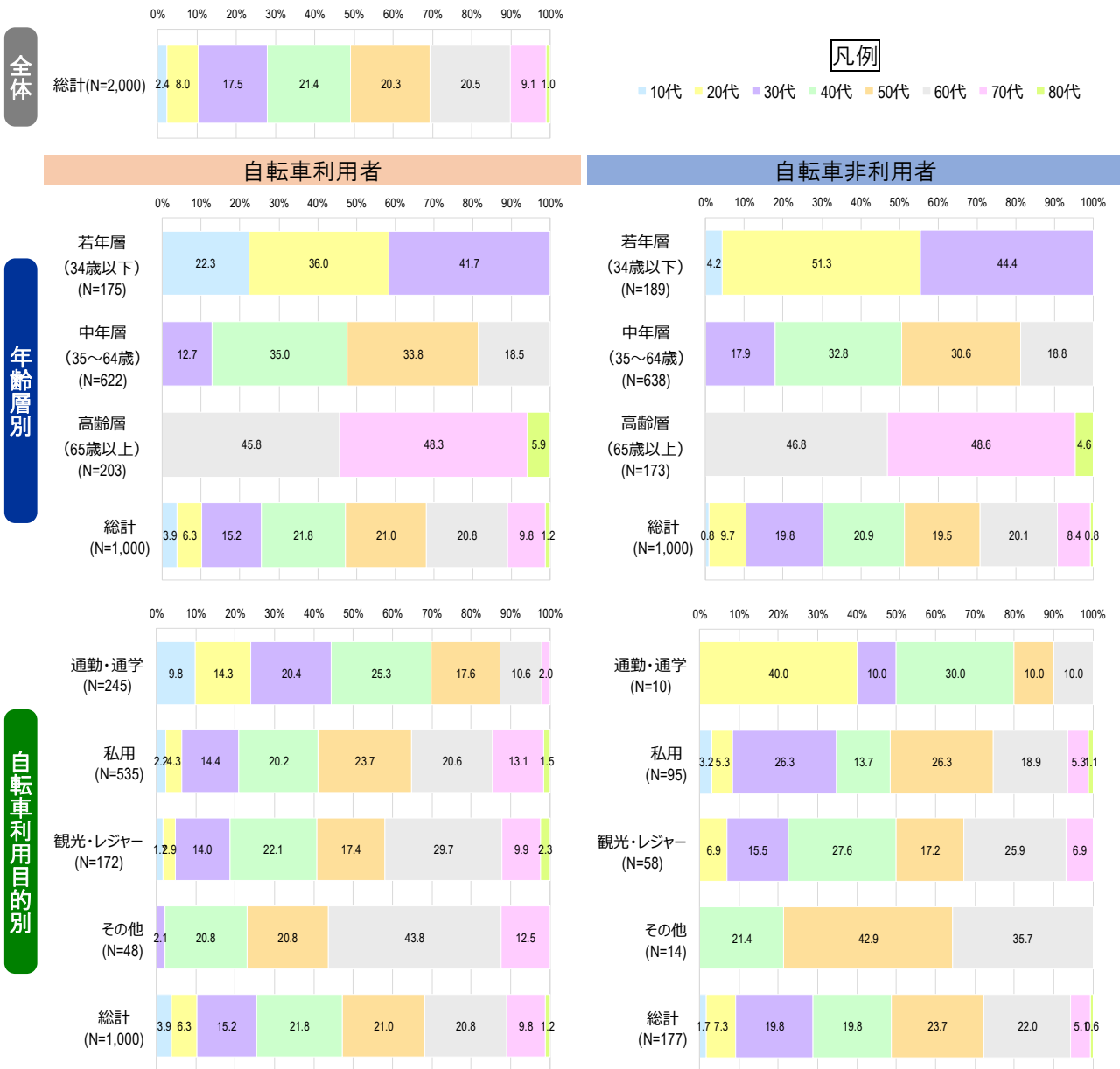
- 全体をみると、男性は56.0%、女性は44.0%であった。



※自転車非利用者のうち、SC3 で、(自転車)「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため、自転車利用目的別での集計からは除かれている

年代

- 全体をみると、「40代」、「50代」、「60代」はそれぞれ20%程度であり、「30代」は17.5%、「70代」は9.1%、「20代」は8.0%、「10代」は2.4%、「80代」は1.0%であった。



※自転車非利用者のうち、SC3 で、「(自転車を)「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため、自転車利用目的別の集計からは除かれている

SC2：居住地域

- 全体をみると、県南エリアは 45.0%、県北エリアは 21.6%、県央エリアは 14.7%、県西エリアは 12.7%、鹿行エリアは 6.1%であった。



※自転車非利用者のうち、SC3 で、「(自転車)「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため、自転車利用目的別での集計からは除かれている

SC3：日常生活での自転車利用頻度

- 「自転車利用者」の中では「週1回以上」自転車を利用する方が 65.5%を占め、「自転車非利用者」の中では自転車を「利用することがない」方が 82.3%を占める。



※自転車非利用者のうち、SC3 で、(自転車を)「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため、自転車利用目的別での集計からは除かれている

問1：あなたの職業をお教えてください。

- 全体をみると、「会社員」は 36.2%で最も多く、「無職」は 17.7%、「パート・アルバイト」は 16.1%、「専業主婦(主夫)」は 14.6%と続く。



※自転車非利用者のうち、SC3 で、「(自転車を)「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため、自転車利用目的別での集計からは除かれている

問2：保有している免許をお教えてください。

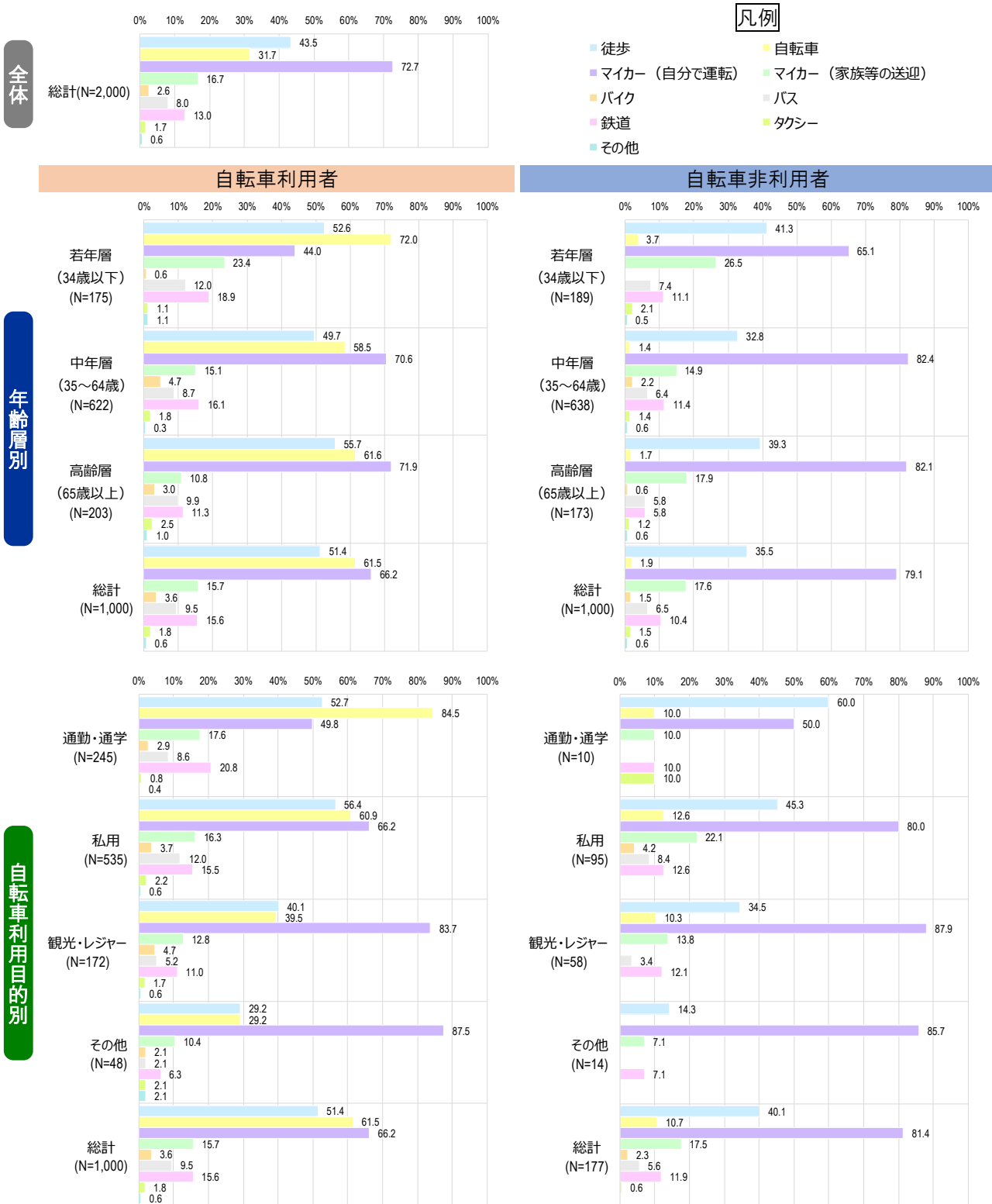
- 全体をみると、「自動車免許のみ保有している」方が 73.8%と最も多く、「自動車・二輪免許ともに保有している」方が 13.9%、「保有していない方」が 11.7%であった。
- 自転車利用者・非利用者別にみると、「自転車利用者」の若年層の免許非保有率が 11.2 ポイント高い。また、「自転車利用者」の方が中年層・高齢層において、二輪免許保有率が高い。



※自転車非利用者のうち、SC3 で、「(自転車)「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため、自転車利用目的別での集計からは除かれている

問3：日常生活での主な移動手段をお教えてください。（いくつでも）

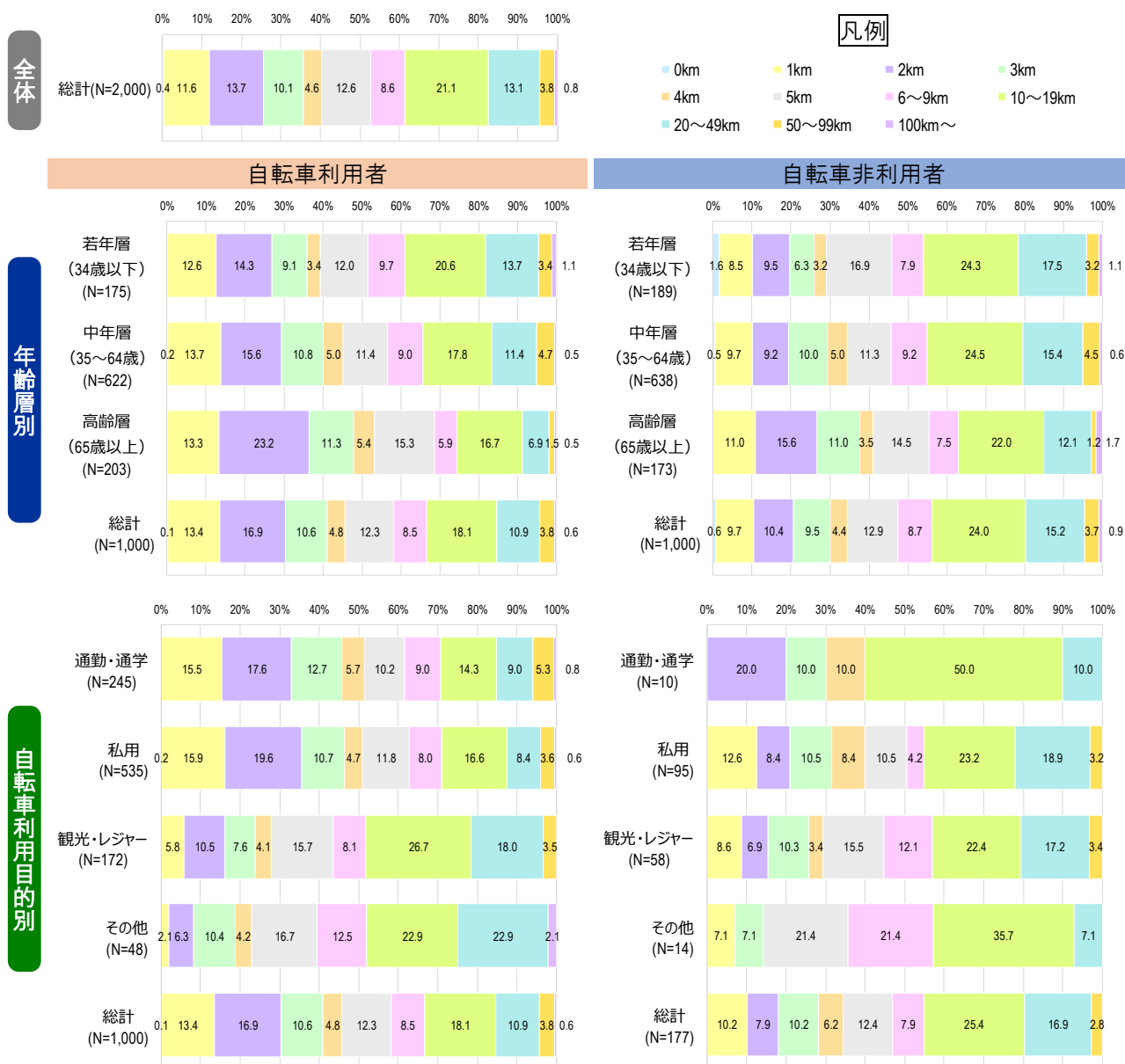
- 全体をみると、「マイカー（自分で運転）」を含む移動は 72.7%、「マイカー（家族等の送迎）」を含む移動は 16.7%であった。「自転車」を含む移動は 31.7%であった。
- 自転車利用者・非利用者別にみると、「自転車利用者」はどの年代でも「自転車」、「徒歩」、「バス」、の利用が多く、「自転車非利用者」はどの年代でも「マイカー（自分で運転）」の利用が多い。



※自転車非利用者のうち、SC3 で、「（自転車を）「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため、自転車利用目的別での集計からは除かれている

問4：問3で回答した交通手段で最もよく行く目的地までの、おおよその片道の距離を教えてください。

- 全体をみると、「1～5km」が 52.6%を占め、次いで、「10～19km」が 21.1%、「20～49km」が 13.1%、「6～9km」が 8.6%、「50km 以上」が 4.6%、「0km」が 0.4%であった。



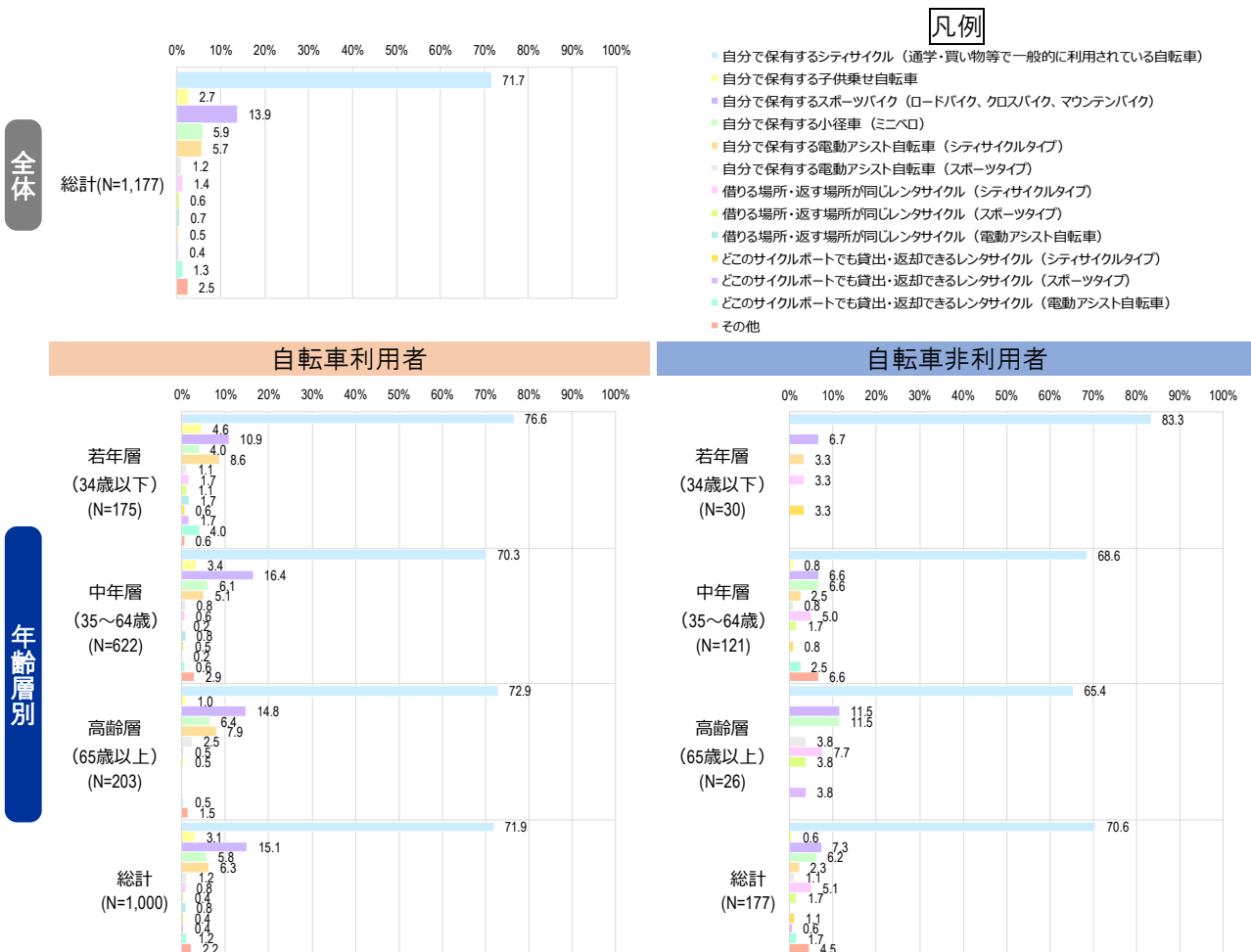
※自転車非利用者のうち、SC3 で、「(自転車)「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため、自転車利用目的別の集計からは除かれている

■自転車利用実態（日常）

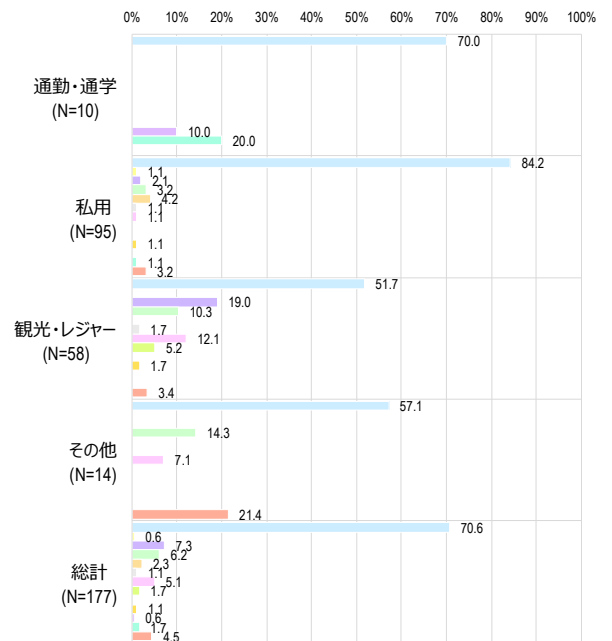
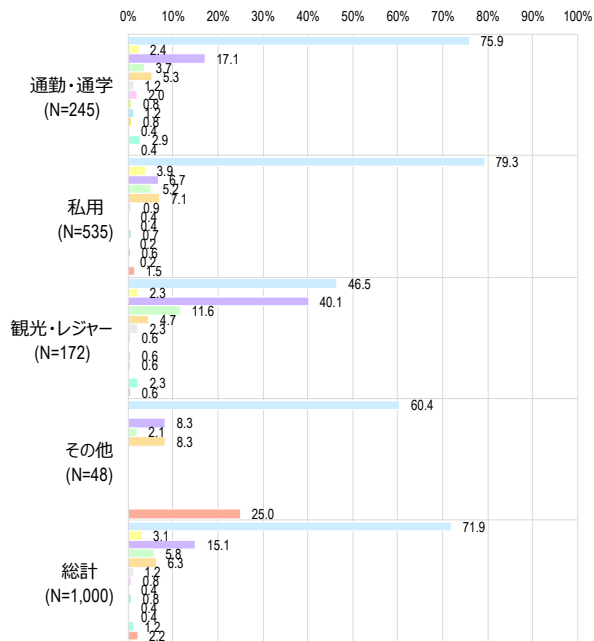
問5：日常生活で主に利用する自転車の種類をお教えてください。（いくつでも）

- 全体をみると、「自分で保有するシティサイクル」が 71.7%、次いで、「自分で保有するスポーツバイク」が 13.9%であった。
- 自転車利用・非利用者別にみると、いずれも年齢層、利用目的にかかわらず「自分で保有するシティサイクル」が最も多い。

※SC3 で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く



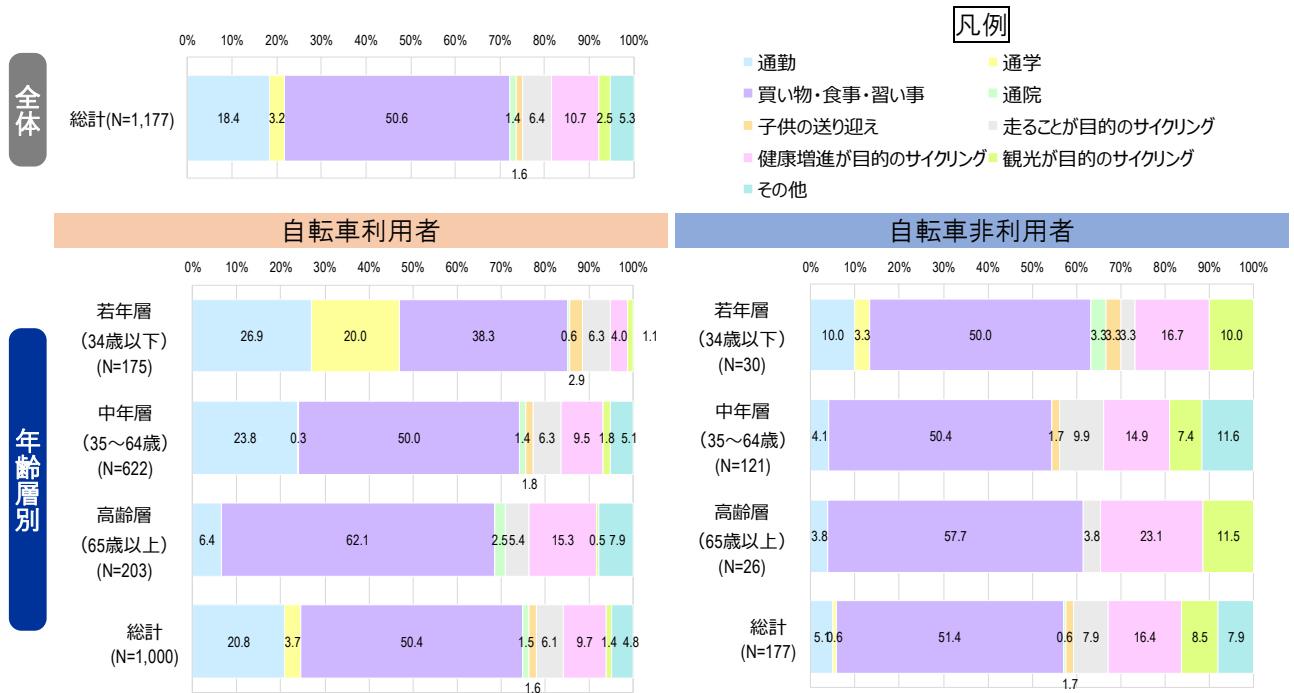
自転車利用目的別



問6：日常生活での主な自転車の利用目的をお教えてください。

- 全体をみると、「買い物・食事・習い事」は 50.6%と最も多く、次いで、「通勤」が 18.4%、「健康増進が目的のサイクリング」が 10.7%であった。
- 自転車利用・非利用者別にみると、いずれも年齢層にかかわらず、「買い物・食事・習い事」が最も多い。「通勤・通学」の割合はそれぞれ若年層で最も高い。

※SC3で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く



問7：日常生活での自転車の1回あたり（片道）の利用時間をお教えてください。

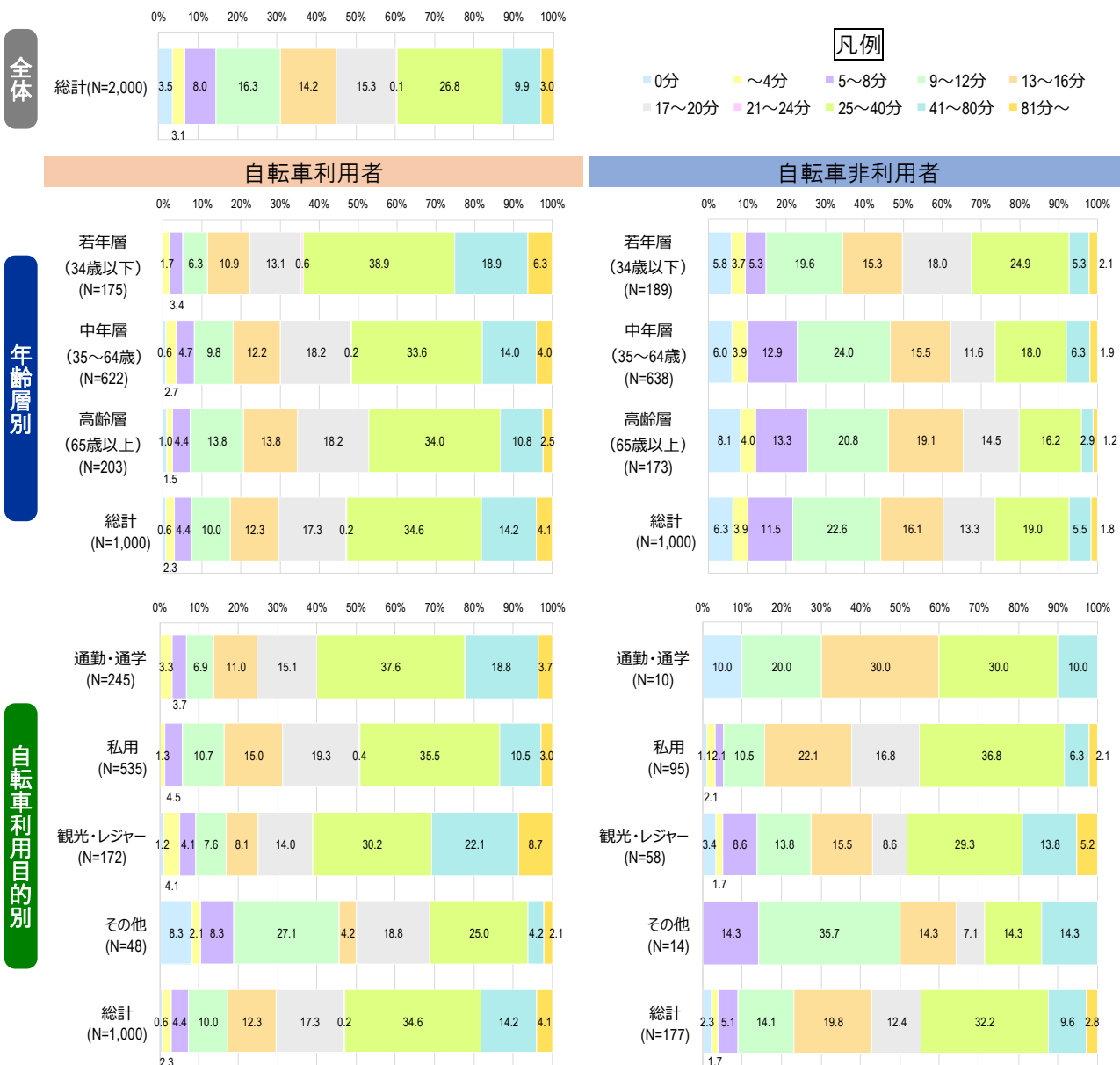
- 全体をみると、「9～12分」が26.3%と最も多く、次いで、「5～8分」が16.2%、「25～40分」が14.6%、「13～16分」が14.3%、「17～20分」が12.0%であった。
- 自転車利用・非利用者別にみると、いずれも年齢層・利用目的による傾向の違いはみられない。

※SC3で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く



問8：あなたは、普段の外出で、片道で最大何分までであれば、自転車を利用してよいと思いますか。

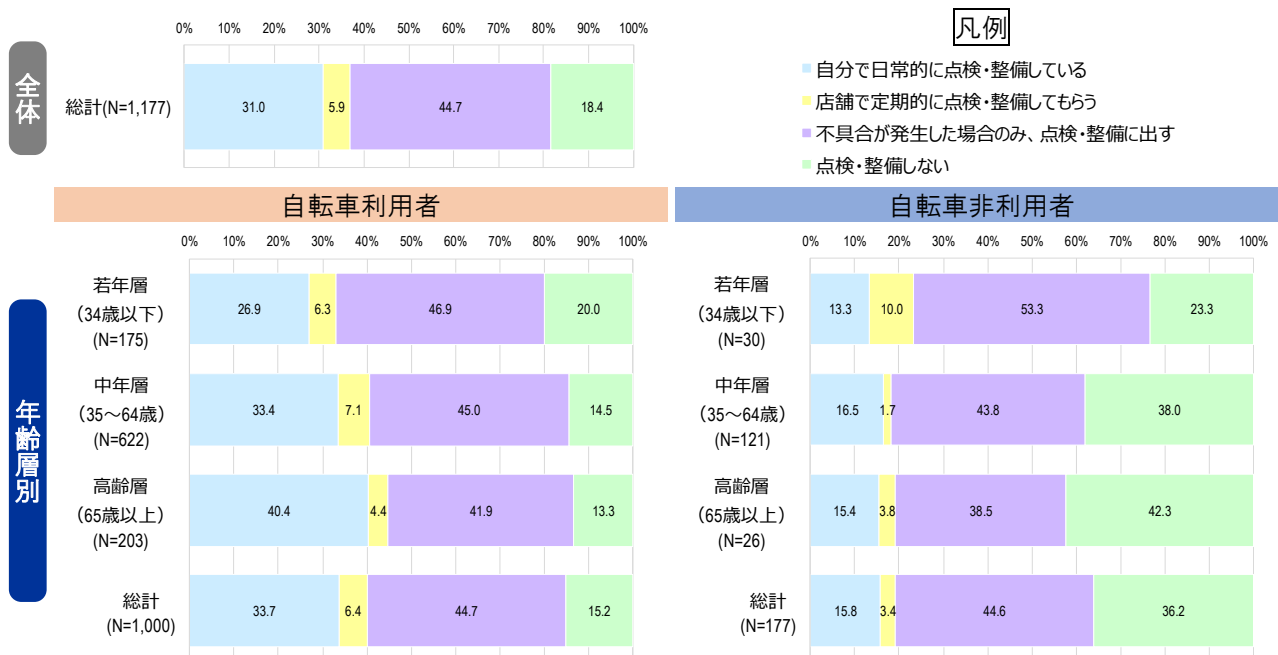
- 全体をみると、「25～40分」が26.8%と最も多く、次いで、「9～12分」が16.3%、「17～20分」が15.3%、「13～16分」が14.2%であった。
- 年齢層別にみると、年齢が高いほど時間が短い傾向にある。
- 自転車利用・非利用者別にみると、「25分以上」との回答が、「自転車利用者」の各年齢層で50～60%を占め、「自転車非利用者」の各年齢層で20～30%にとどまった。



問9：あなたが自転車を点検するタイミングについて教えてください。

- 全体をみると、「不具合が発生した場合のみ、点検・整備に出す」が 44.7%と最も多く、「自分で日常的に点検・整備している」が 31.0%、「点検・整備しない」が 18.4%であった。
- 自転車利用・非利用者別にみると、「全体」の傾向と同様であり、「点検をおこなう」との回答が、「自転車利用者」の各年齢層で 80%程度である。「自転車非利用者」の各年齢層では 60~70%程度にとどまる。

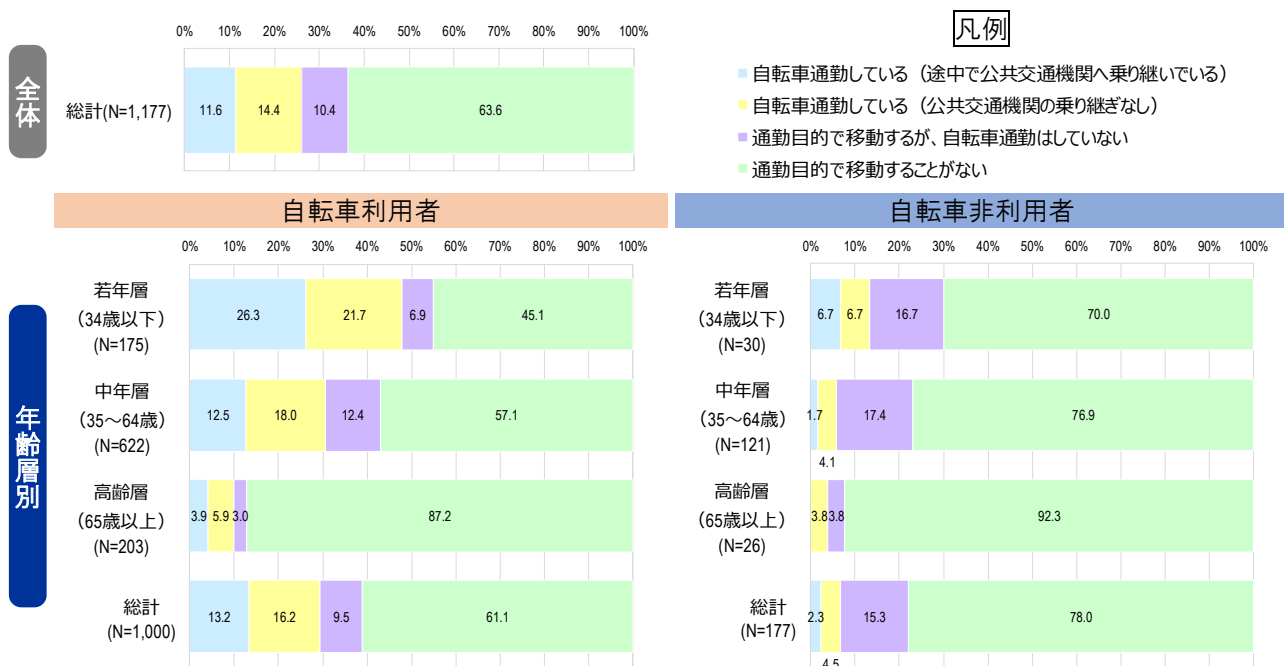
※SC3 で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く



問10：自転車通勤をしていますか。

- 全体をみると、「通勤目的で移動することがない」が63.6%と最も多く、「自転車通勤している（公共交通機関の乗り継ぎなし）」が14.4%、「自転車通勤している（途中で公共交通機関へ乗り継いでいる）」が11.6%、「通勤目的で移動するが、自転車通勤はしていない」が10.4%と続く。
- 自転車利用・非利用者別にみると、「自転車通勤している」との回答は、「若年層」の自転車利用者では48.0%、自転車非利用者では13.4%、「中年層」の自転車利用者では30.5%、自転車非利用者では5.8%であった。

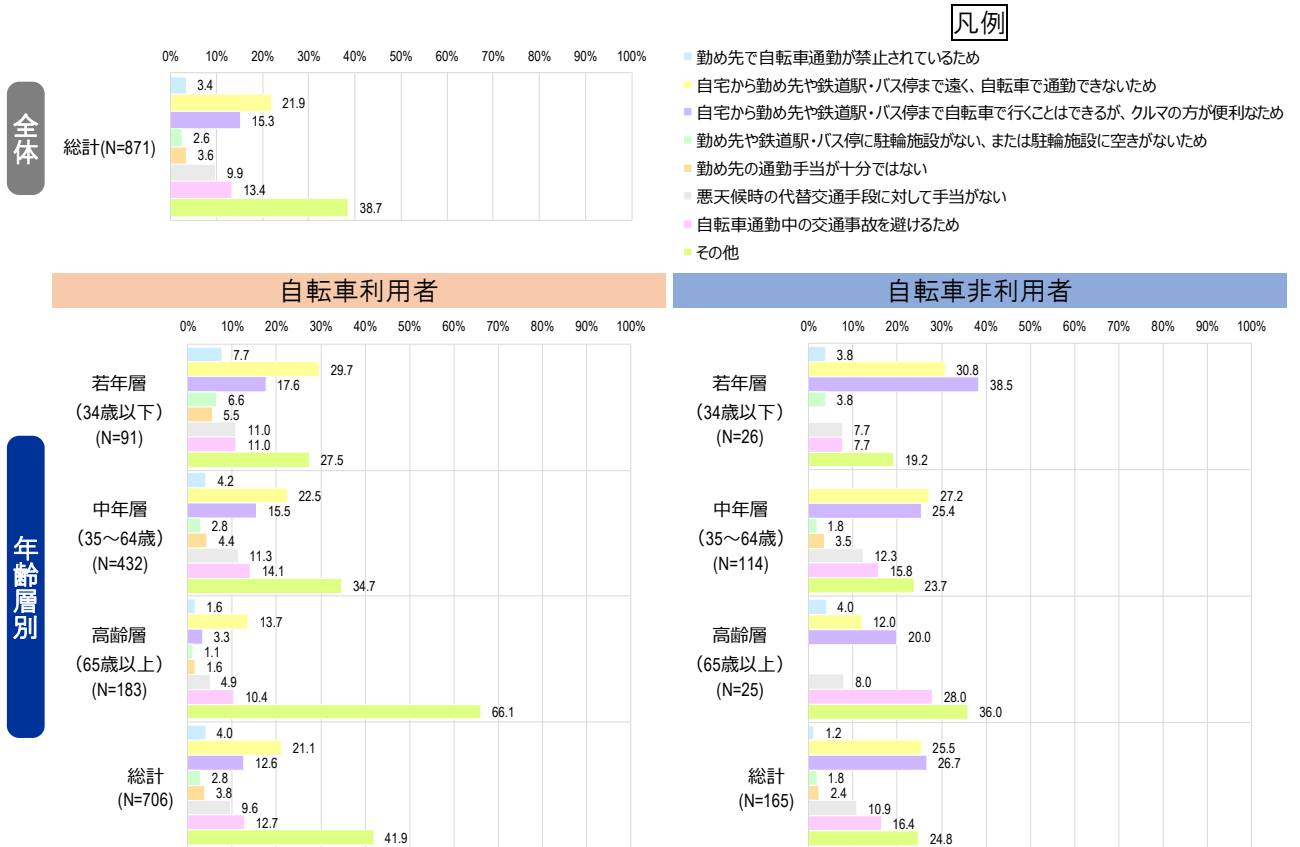
※SC3 で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く



問11：自転車通勤をしていない理由をお教えてください。（いくつでも）

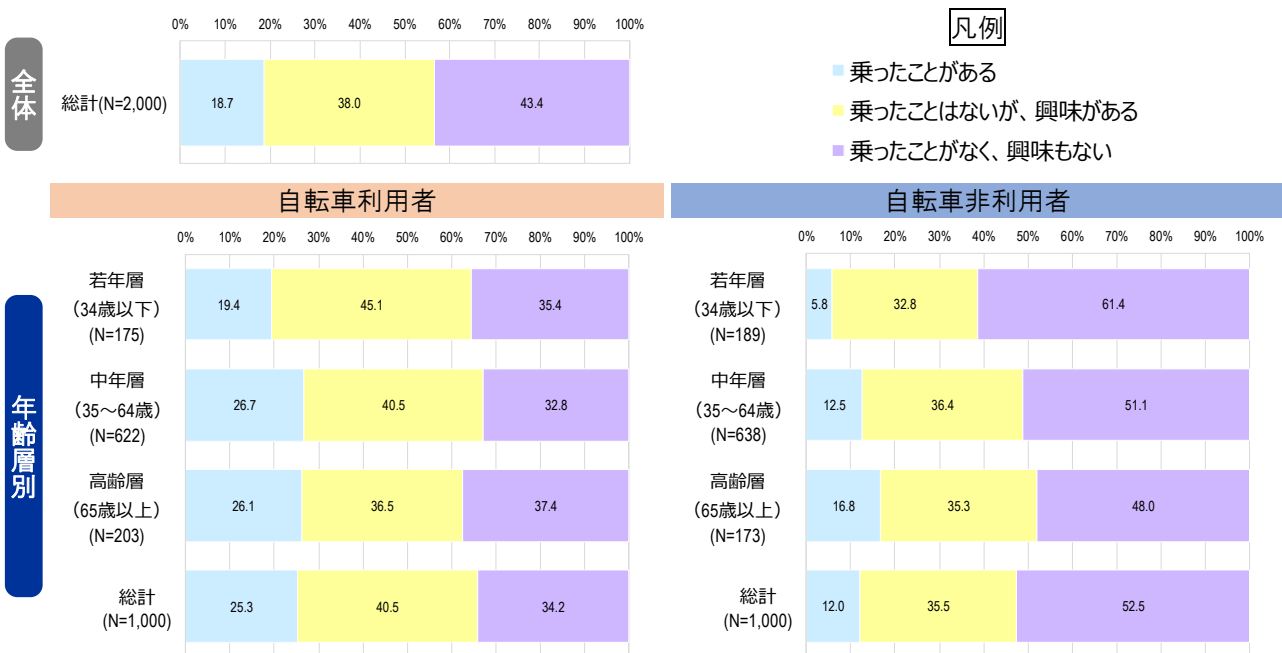
- 全体をみると、「その他」が 38.7%(※)と最も多く、「自宅から勤め先や鉄道駅・バス停まで遠く、自転車で通勤できないため」が 21.9%、「自宅から勤め先や鉄道駅・バス停まで自転車で行くことはできるが、クルマの方が便利のため」が 15.3%、「自転車通勤中の交通事故を避けるため」が 13.4%、「悪天候時の代替交通手段に対して手当がない」が 9.9%と続く。
(※)「その他」の約7割は非就業者(主婦・学生を含む)、約1割は自営業・在宅勤務者であった。
- 自転車利用・非利用者別にみると、各年齢層において、「クルマの方が便利のため」との回答は「自転車利用者」と比較して「自転車非利用者」の方が10～20ポイント程度高い。

※問10で、「自転車通勤をしている」と回答した人は、回答対象外のため除く



問12：電動アシスト自転車に乗ったことはありますか。

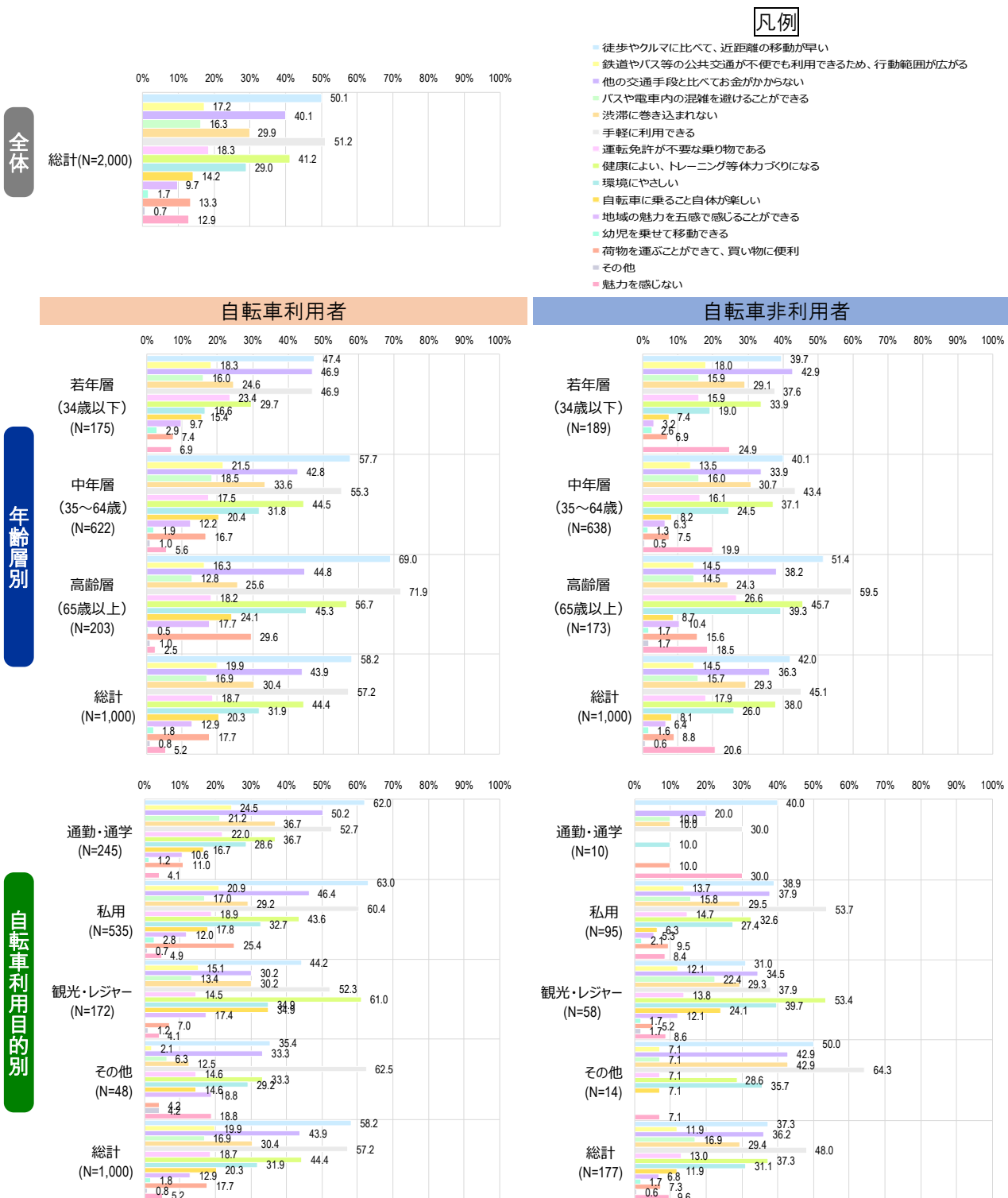
- 全体をみると、「乗ったことがなく、興味もない」が 43.4%で最も多く、次いで、「乗ったことはないが、興味はある」が 38.0%、「乗ったことがある」が 18.7%であった。
- 自転車利用・非利用者別にみると、いずれも年齢層による大きな違いはない。



■自転車利用意識

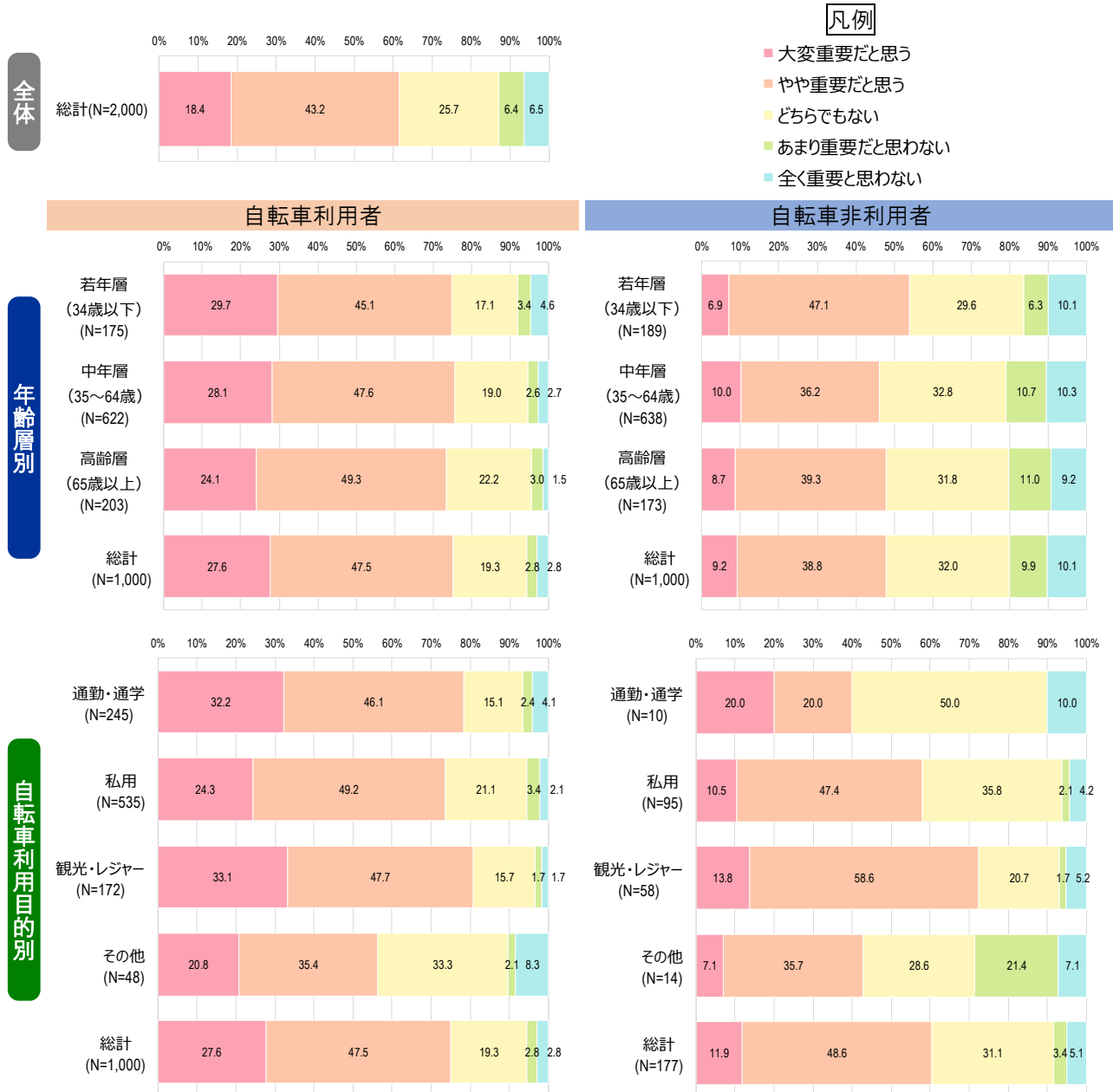
問13：自転車利用のどのようなところに魅力を感じますか。（いくつでも）

- 全体をみると、「手軽に利用できる」が 51.2%と最も多く、「徒歩やクルマに比べて、近距離の移動が早い」が50.1%、「健康によい、トレーニング等体力づくりになる」が41.2%、「他の交通手段と比べてお金がかからない」が40.1%と続く。「魅力を感じない」は12.9%であった。
- 自転車利用・非利用者別にみると、「自転車非利用者」は「魅力を感じない」割合が高いものの、項目別の傾向は同じである。



問14：健康のために自転車を利用することについて教えてください。

- 全体をみると、「重要だと思う」方が 61.6%、「どちらでもない」と思う方が 25.7%、「重要だと思わない」方が 12.9%であった。
- 自転車利用・非利用者別にみると、「自転車利用者」の方が「大変重要」「やや重要」の比率が高い。

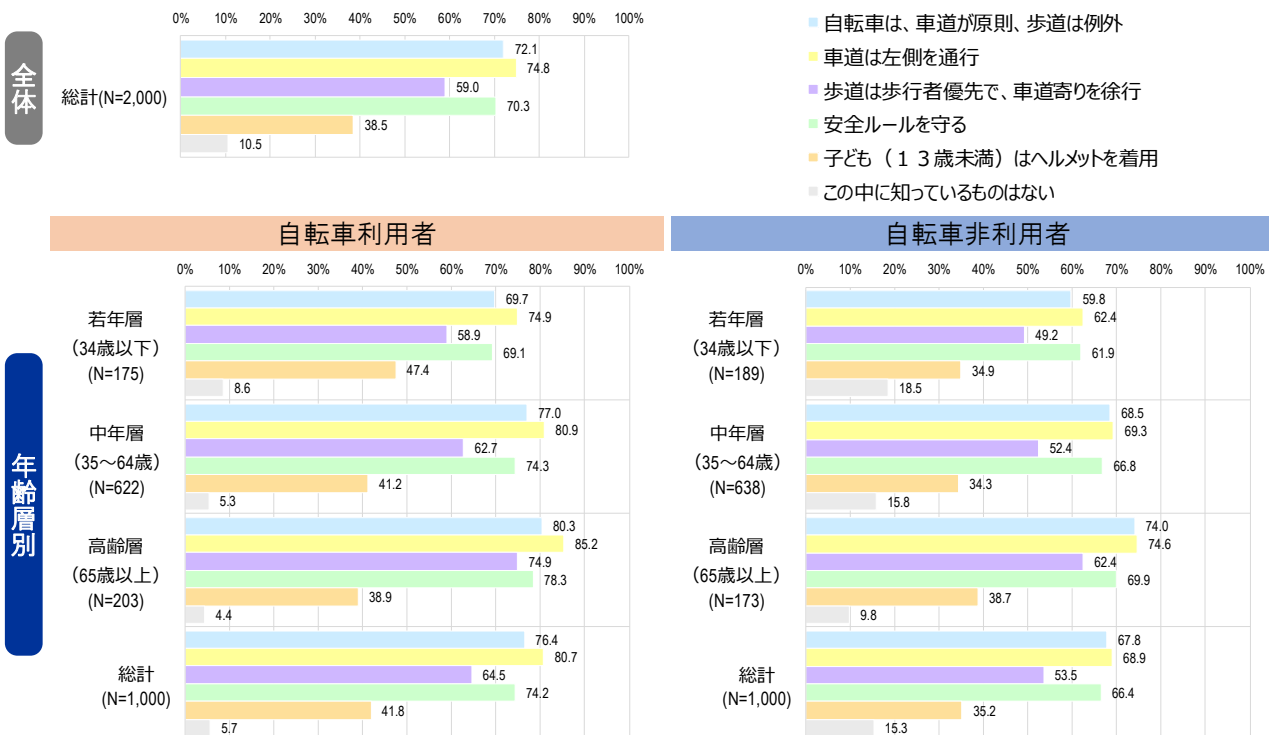


■ ルールの認知・遵守状況

問15：自転車安全利用五則を知っていますか。ご存知のものを全て教えてください。（いくつでも）

- 全体をみると、「車道は左側を通行」、「自転車は車道が原則」、「安全ルールを守る」はそれぞれ70%を超え、「歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行」は59.0%、「子ども（13歳未満）はヘルメットを着用」は38.5%、「この中に知っているものはない」は10.5%であった。
- 自転車利用者・非利用者別にみると、「自転車利用者」の方が認知度は高いが、項目別の傾向は各年齢層で変わらない。

凡例



問16：過去1年間で、自転車利用時に思わず違反してしまったことについて下記から当てはまるもの全てをお教えてください。（いくつでも）

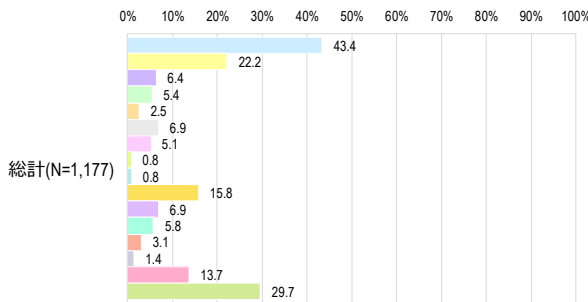
- 全体をみると、「主に歩道を走る」が 43.4%と最も多く、「違反してしまったことはない(すべて守っている)」が 29.7%、「車道の右側を走る」が 22.2%、「停止線で一時停止をしない」が 15.8%、「傘を差して走る」が 13.7%と続く。
- 自転車利用者・非利用者別にみると、「自転車非利用者」の違反率はいずれの年齢層でも低い。

※SC3 で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く

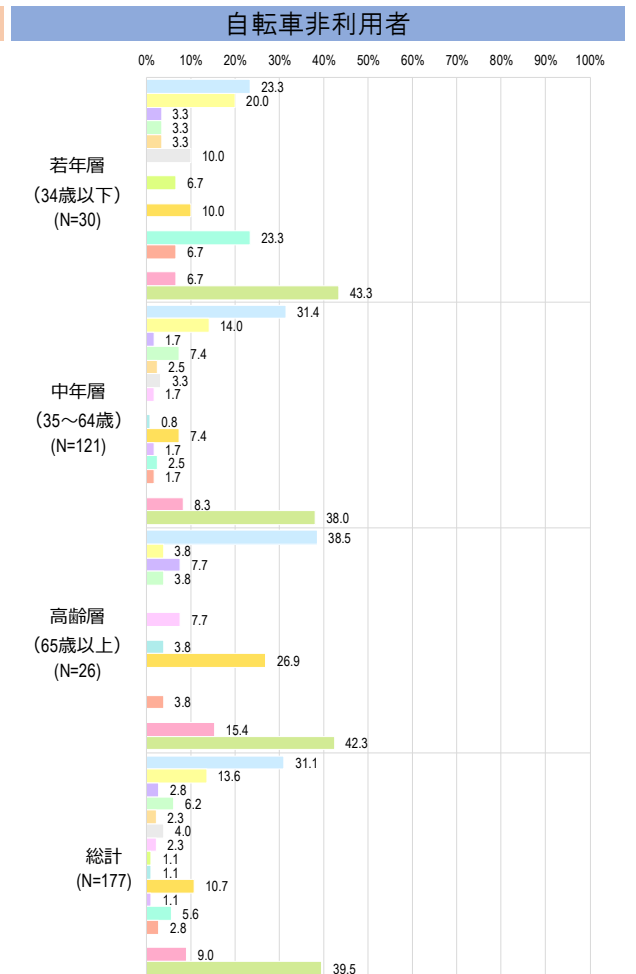
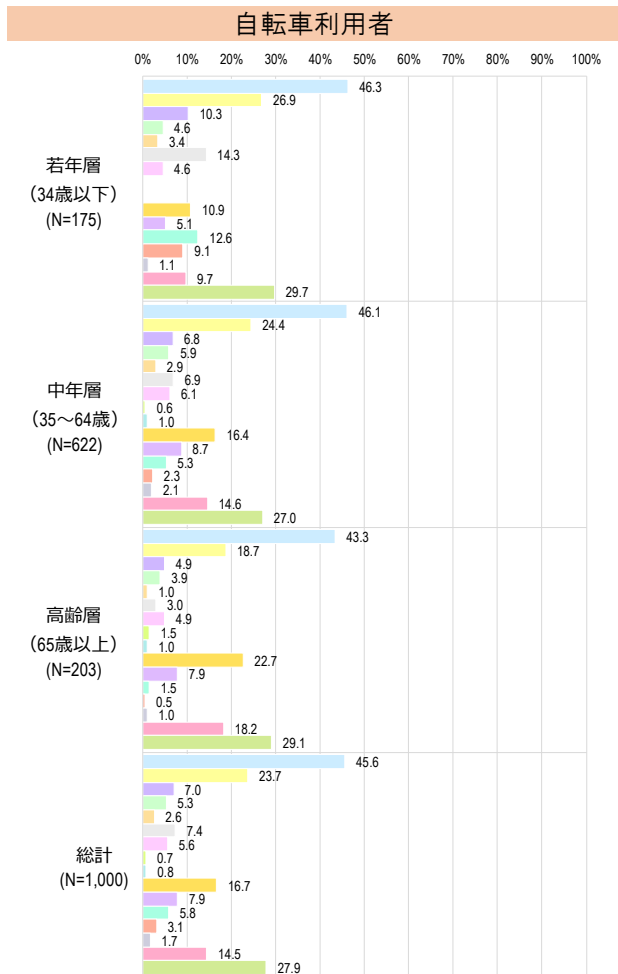
凡例

- 主に歩道を走る
- 車道の右側を走る
- 歩道通行中に、歩行者に道を譲ってもらうためベルを鳴らす
- お酒を飲んで自転車に乗る
- 2人乗りをする（幼児を乗せる場合は除く）
- 自転車で並走する
- 暗くなってもライトをつけずに走る
- 交差点で優先されている車両の通行を妨げる
- 交差点で車両の通行を妨げるように右折する
- 停止線で一時停止をしない
- 信号を守らない
- イヤホンをつけて走る
- 携帯電話・スマホを使用しながら運転する
- 子どもにヘルメットを着用させない
- 傘を差して走る
- 違反してしまったことはない（すべて守っている）

全体



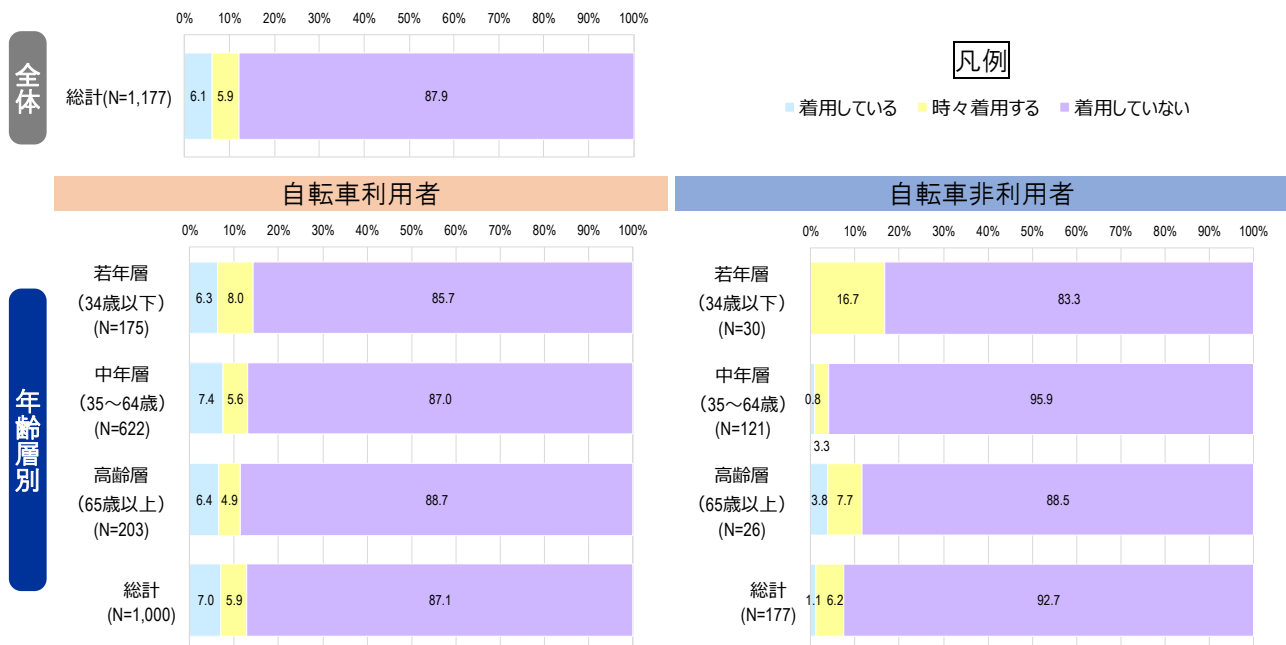
年齢層別



問17：自転車利用時、ヘルメットを着用していますか。

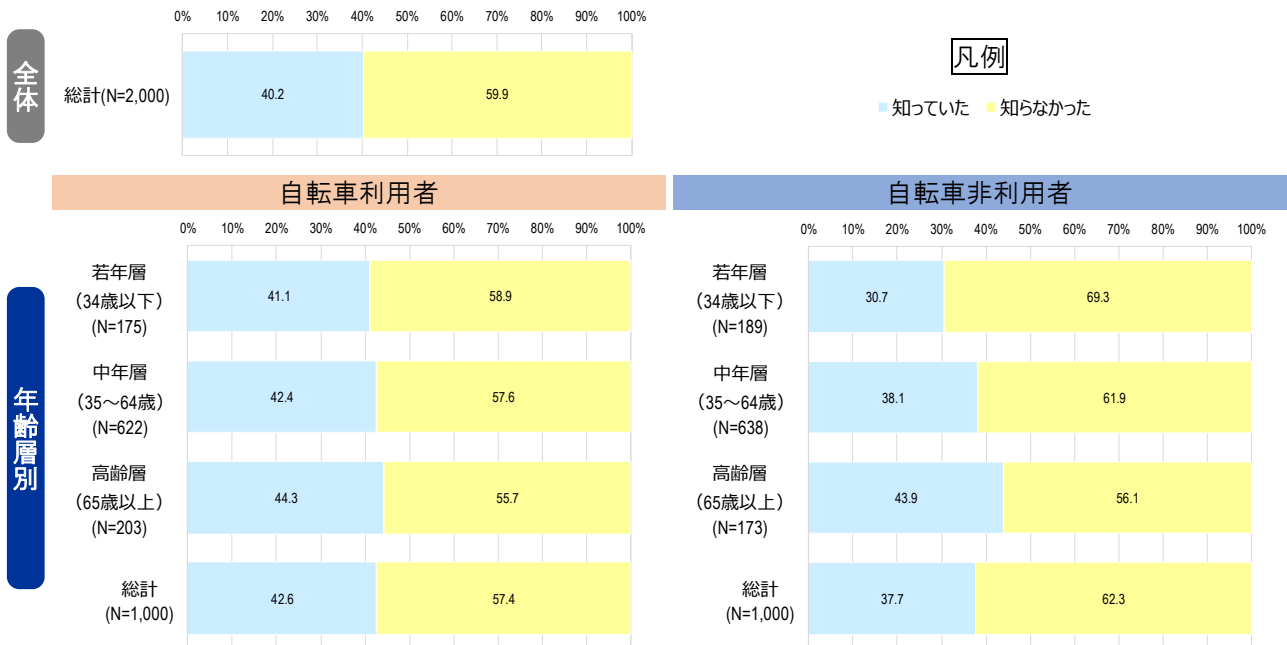
- ・ 全体をみると、「着用していない」が87.9%、「着用している」「時々着用する」をあわせて12.0%であった。
- ・ 自転車利用者・非利用者別にみると、「自転車利用者」では年齢層別の違いはみられないが、「自転車非利用者」では「中年層」の着用率が特に低い。

※SC3で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く



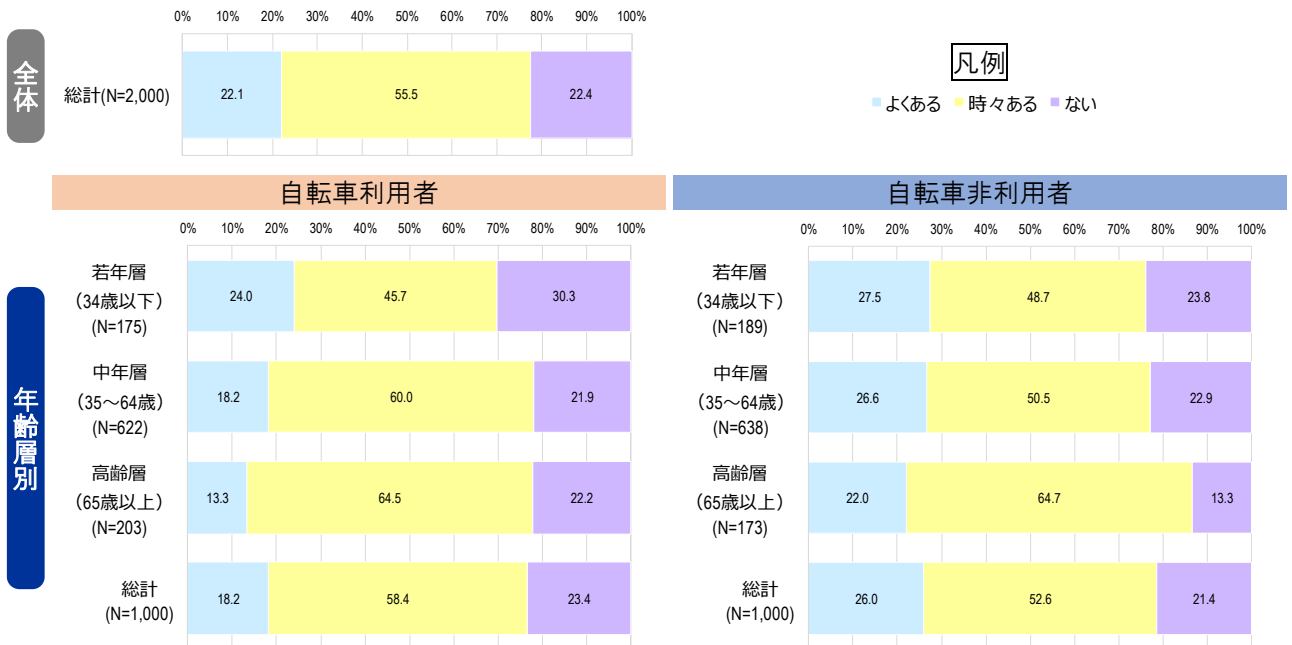
問18：茨城県では、自転車を利用する場合は、自転車保険への加入が努力義務化されていることをご存じですか。

- ・ 全体をみると、「知っていた」は40.2%、「知らなかった」は59.9%であった。
- ・ 自転車利用者、非利用者別にみると、「自転車非利用者」の認知度がやや低い。



問19：歩いているときに、自転車が怖い・邪魔と感じることはありますか。

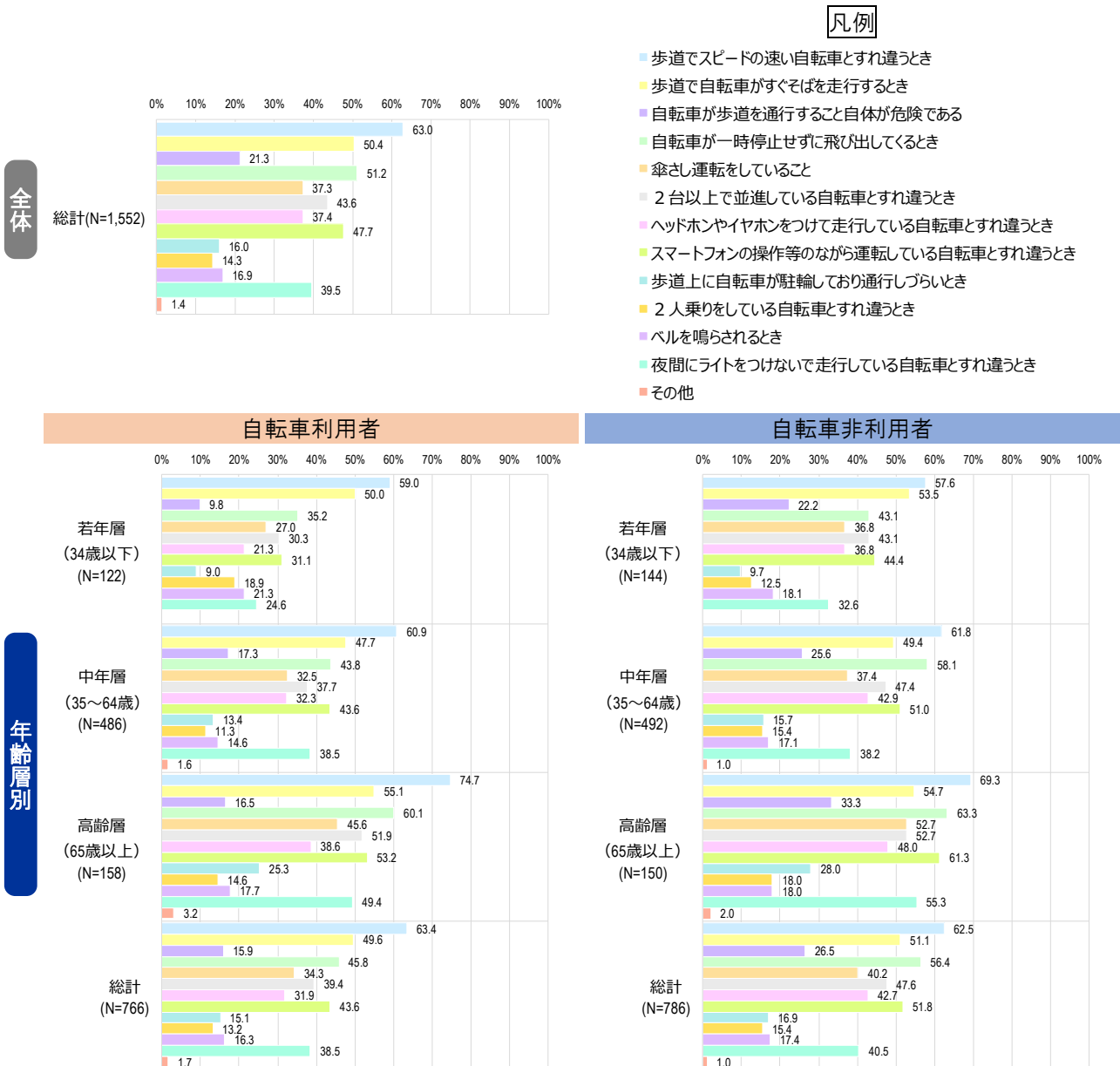
- 全体をみると、「よくある」「時々ある」をあわせて77.6%、「ない」は22.4%であった。
- 自転車利用者・非利用者別にみると、「自転車非利用者」の方が「よくある」という回答がいずれの年齢層でも多い。



問20：歩いている際、どのようなときに、自転車が怖い・邪魔と感じますか。（いくつでも）

- 全体をみると、「歩道でスピードの速い自転車とすれ違うとき」、「自転車が一時停止せずに飛び出してくるとき」、「歩道で自転車がすぐそばを走行するとき」はそれぞれ 50%を超えており、「スマートフォンの操作等のながら運転している自転車とすれ違うとき」は 47.7%、「2台以上で並進している自転車とすれ違うとき」は 43.6%と続く。
- 自転車利用者・非利用者別にみると、いずれも年齢層が高くなるほど、怖い・邪魔だと感じる項目が多い。「自転車が歩道を通ること自体が危険である」、「自転車が一時停止せずに飛び出してくるとき」、「傘差し運転をしていること」、「ヘッドホンやイヤホンをつけて走行している自転車とすれ違うとき」は「自転車非利用者」の方が高い割合となった。

※問 19 で、「ない」と回答した人は、回答対象外のため除く

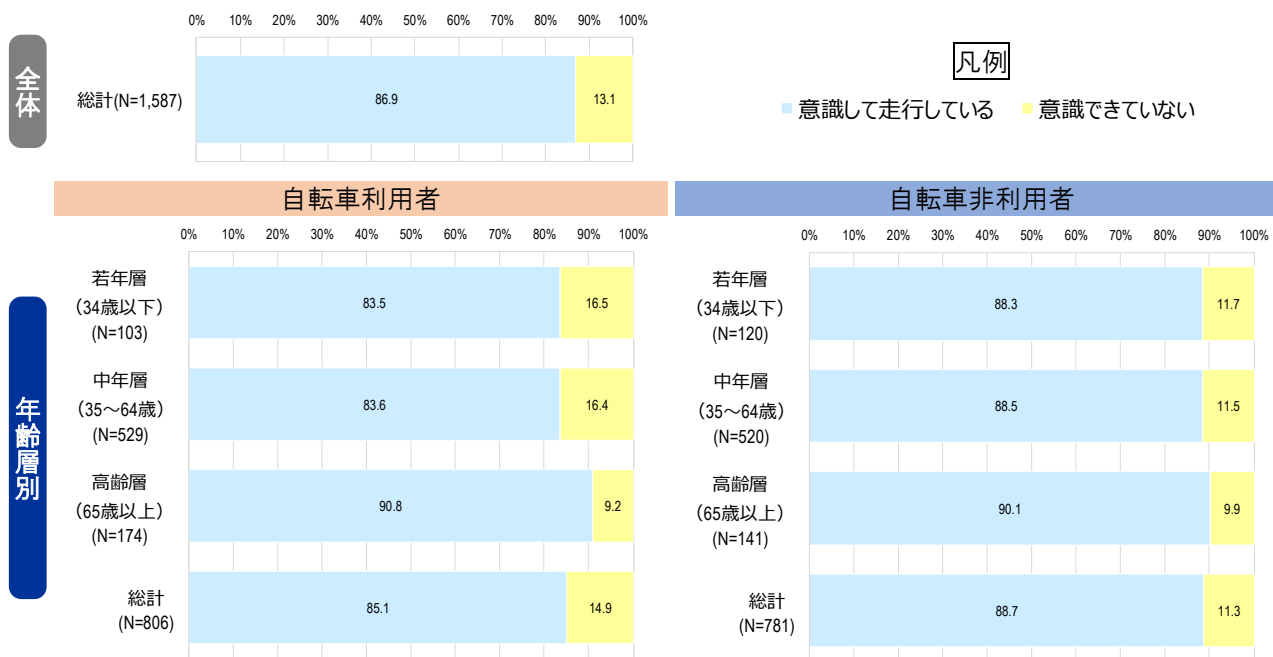


問21：自動車やバイク等で走行中、安全な間隔で自転車の脇を通過するよう「思いやり運転」に意識して走行していますか。

- 全体をみると、「意識して走行している」は 86.9%、「意識できていない」は 13.1%であった。
- 自転車利用者・非利用者別にみると、いずれも高齢者層では「意識できていない」の割合がやや低い。

※問2で、「免許を保有していない」と回答した人は、回答対象外のため除く

※「自動車やバイク等は運転しない」と回答した人は、集計から除いた

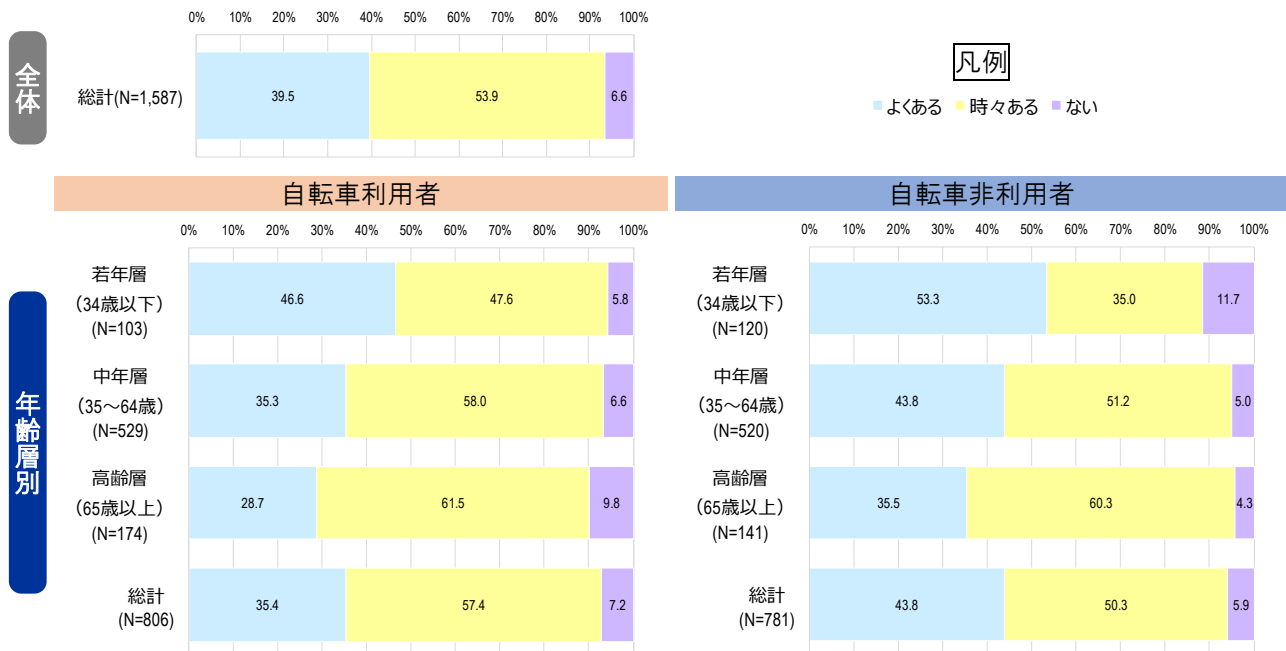


問22：自動車で走行中、自転車が怖い・邪魔と感ずることはありますか。

- 全体をみると、「よくある」「時々ある」をあわせて93.4%、「ない」は6.6%であった。
- 自転車利用者・非利用者別にみると、いずれも年齢層が高くなるほど、「よくある」の比率が低くなり、「時々ある」の比率が高くなる。

※問2で、「免許を保有していない」と回答した人は、回答対象外のため除く

※「自動車やバイク等は運転しない」と回答した人は、集計から除いた



問23：自動車やバイク等で走行中、どのようなときに、自転車が怖い・邪魔と感じますか。（いくつかでも）

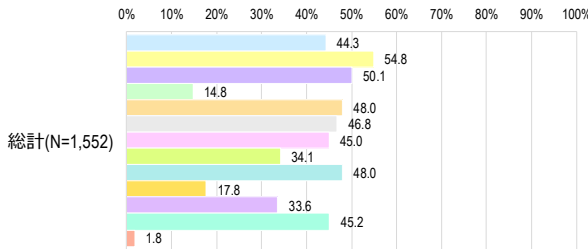
- 全体をみると、「2人乗りをしている自転車が走行しているとき」(17.8%)、「車道上に自転車が駐輪しており通行しづらいとき」(14.8%)、「その他」(1.8%)を除く項目はそれぞれ30%を超える。
- 自転車利用者・非利用者別にみると、いずれも年齢層が高くなるほど、怖い・邪魔だと感じる項目が増える傾向にある。

※問22で、「ない」と回答した人は、回答対象外のため除く

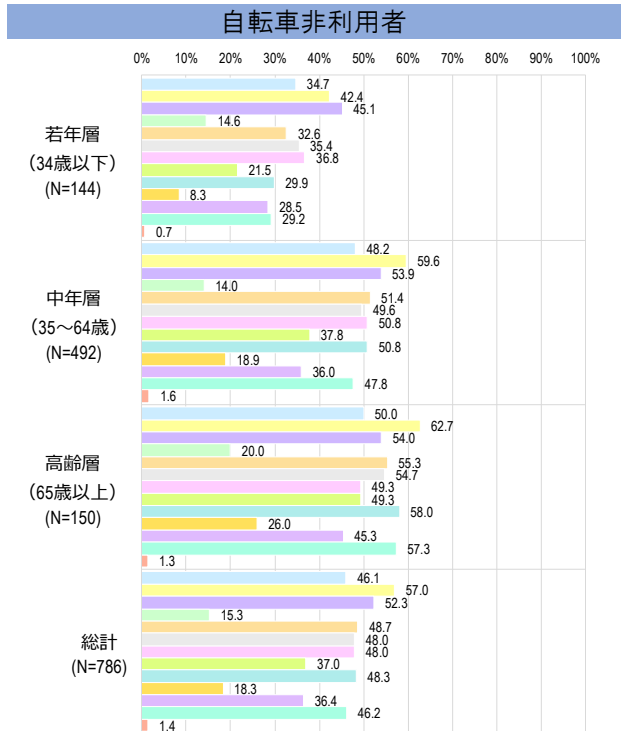
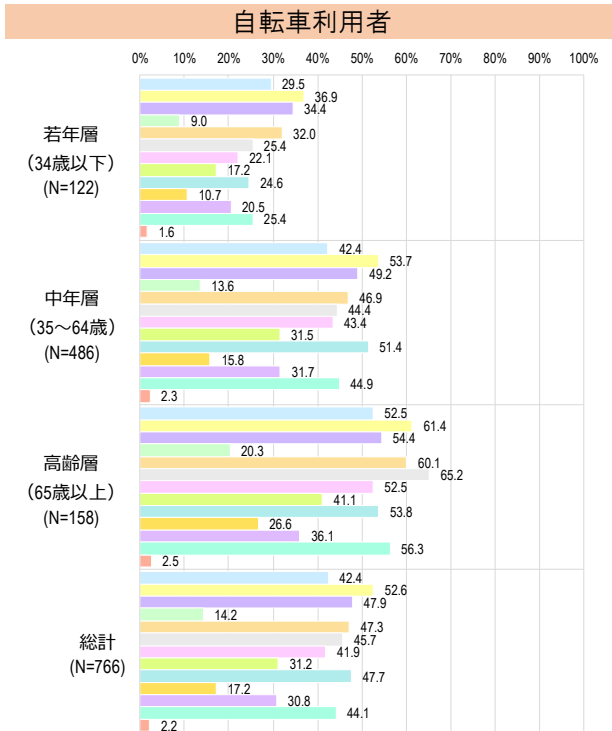
凡例

- 自転車が信号を守っていないとき
- 信号等がない道路で、自転車が急に道路を横断するとき
- 歩道を走行していた自転車が急に車道走行に切り替えるとき
- 車道上に自転車が駐輪しており通行しづらいとき
- 自転車が車道を逆走しているとき
- 幅員の狭い車道を自転車が走行しているとき
- 2台以上で並進している自転車が走行しているとき
- 傘さし運転をしている自転車が走行しているとき
- スマートフォンの操作等のながら運転している自転車が走行しているとき
- 2人乗りをしている自転車が走行しているとき
- ヘッドホンやイヤホンを使っている自転車が走行しているとき
- 夜間にライトをつけずに自転車が走行しているとき
- その他

全体



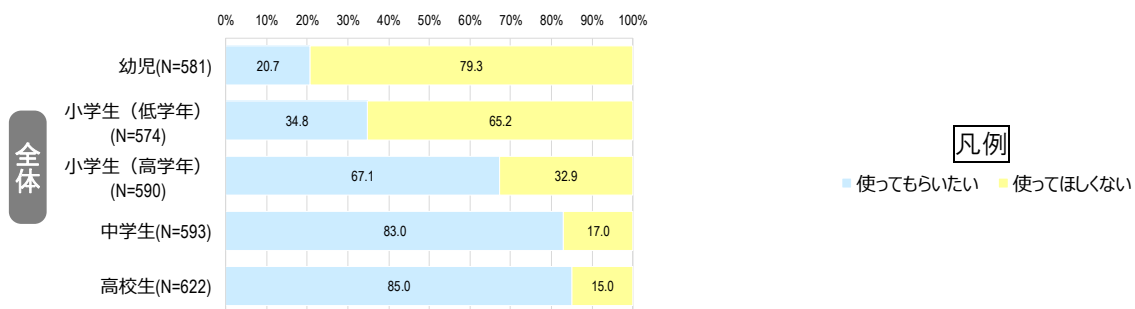
年齢層別



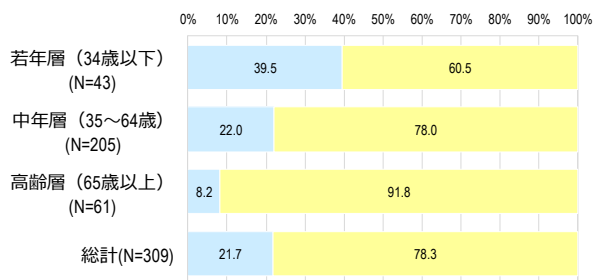
問24：通学や買い物などの日常的な移動において、子どもに自転車を使ってもらいたいと思いませんか。

- 全体をみると、「使ってもらいたい」意向は、「幼児」が20.7%、「高校生」は85.0%であり、子どもの学年が上がるにつれて高くなる。
- 自転車利用者・非利用者別にみると、「自転車利用者」の方が、子どもの学年にかかわらず「使ってもらいたい」意向が高い。年齢層別では、若いほど「使ってもらいたい」意向が高い。

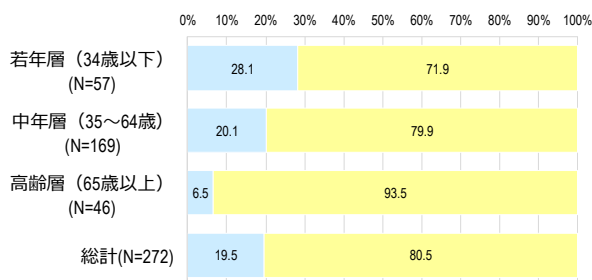
※選択肢「子どもはいない」の回答者を除いて集計した。



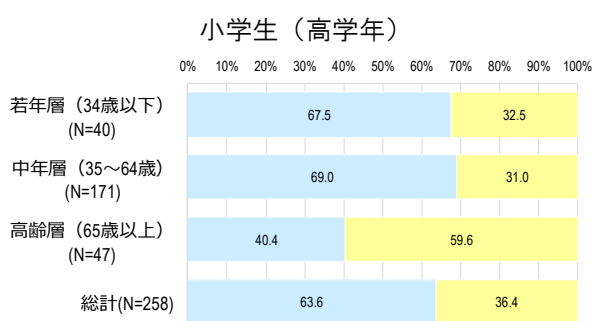
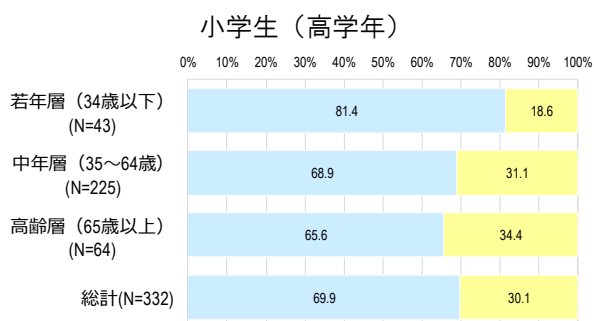
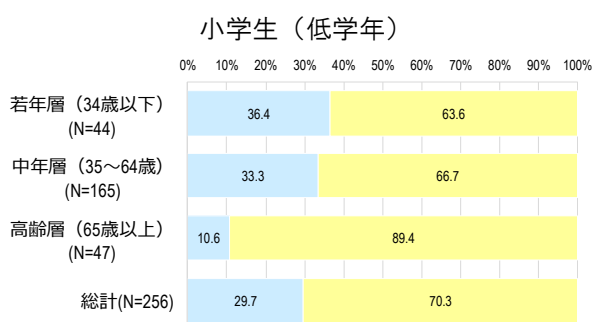
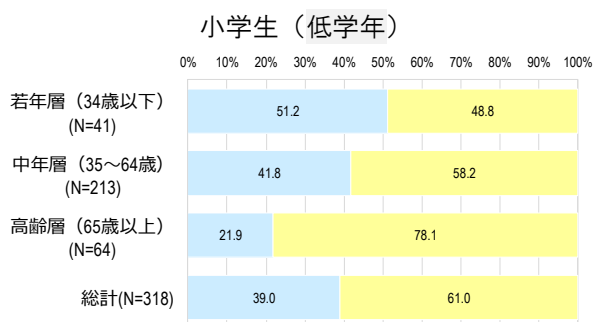
自転車利用者
幼児

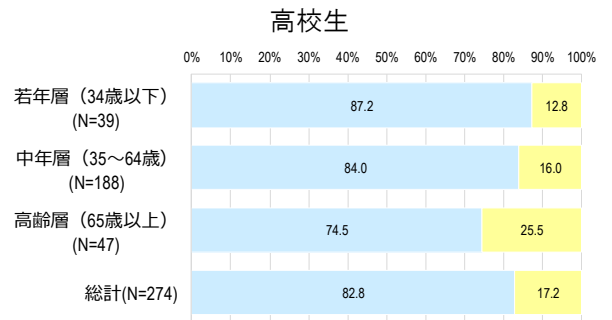
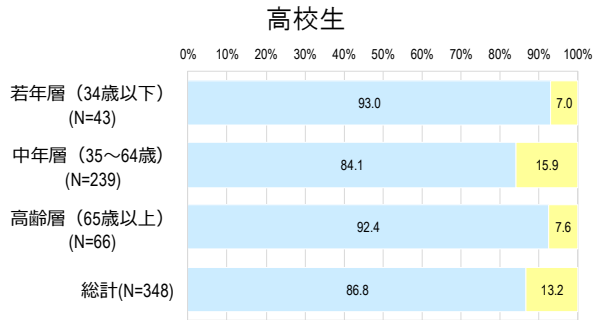
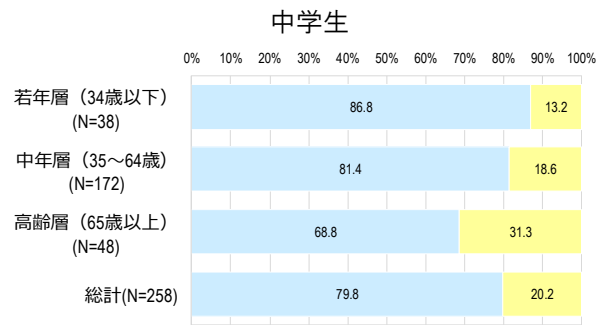
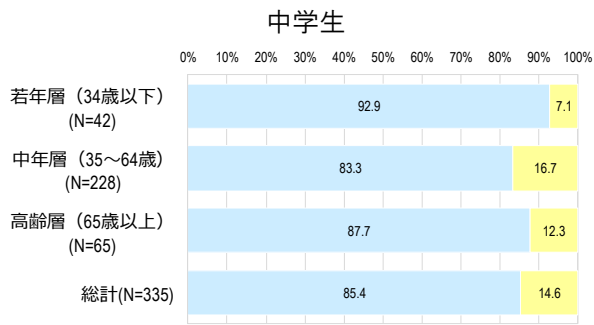


自転車非利用者
幼児



年齢層別

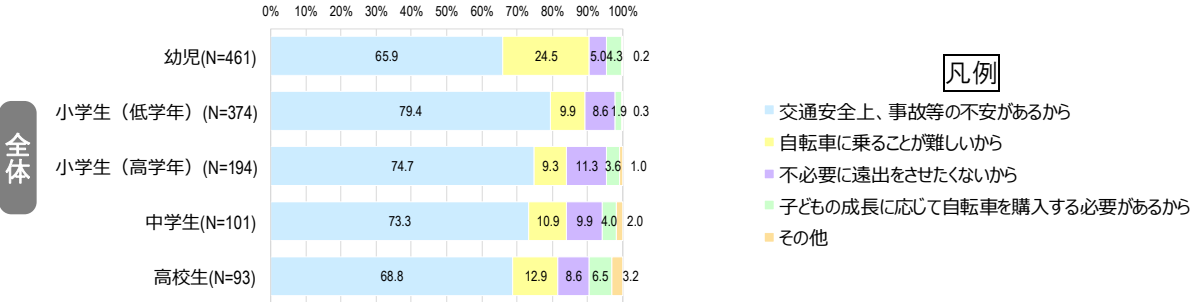




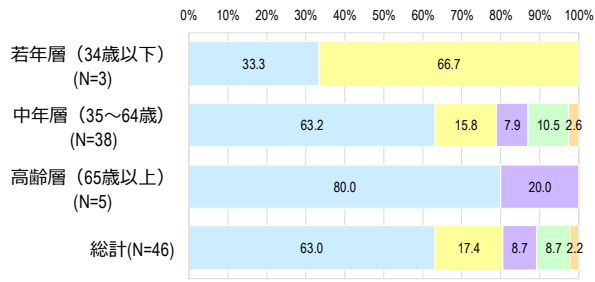
問25：子どもに自転車を使ってほしくない主な理由をお教えてください。

- 全体をみると、「交通安全上、事故等の不安があるから」がいずれの学年でも最も多い。

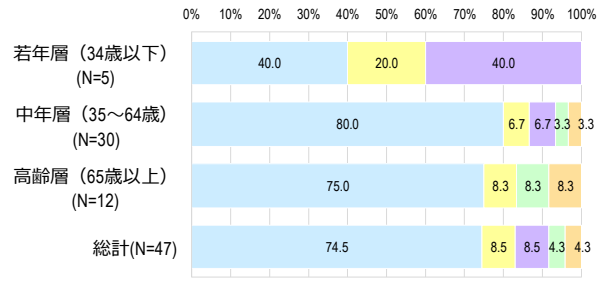
※問 24 で、「使ってもらいたい」と回答した人は、回答対象外のため除く



高校生



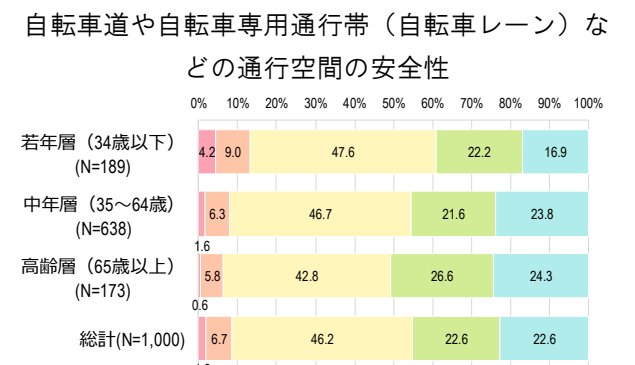
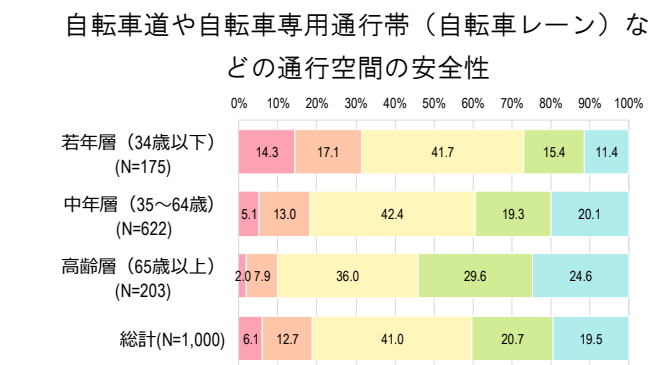
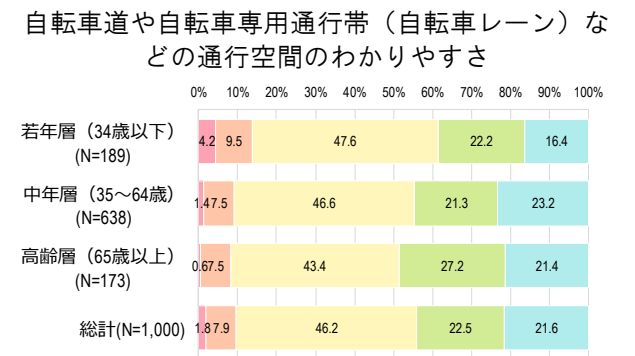
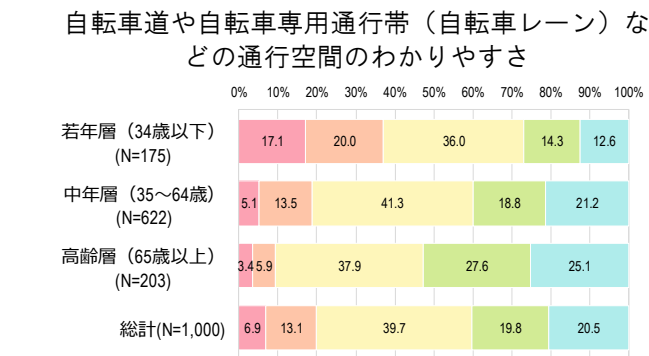
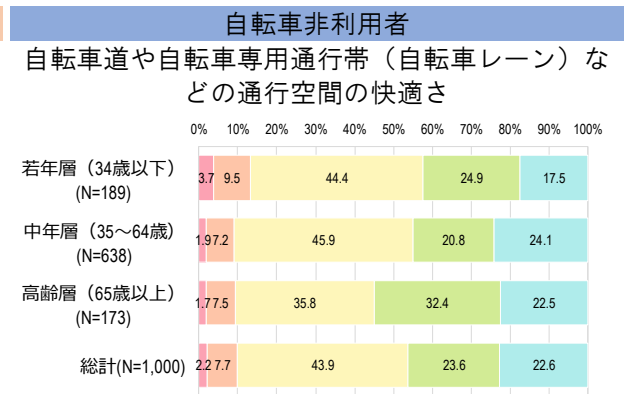
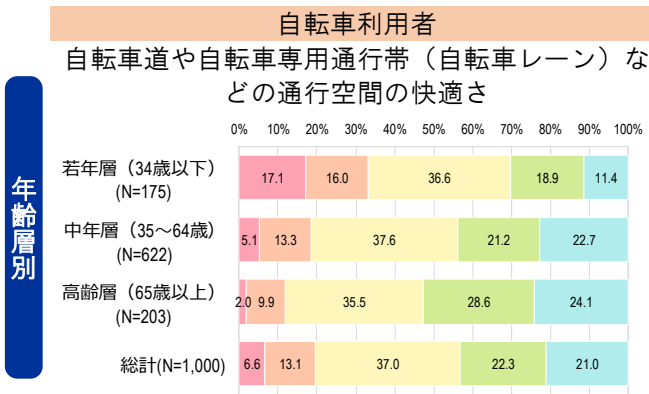
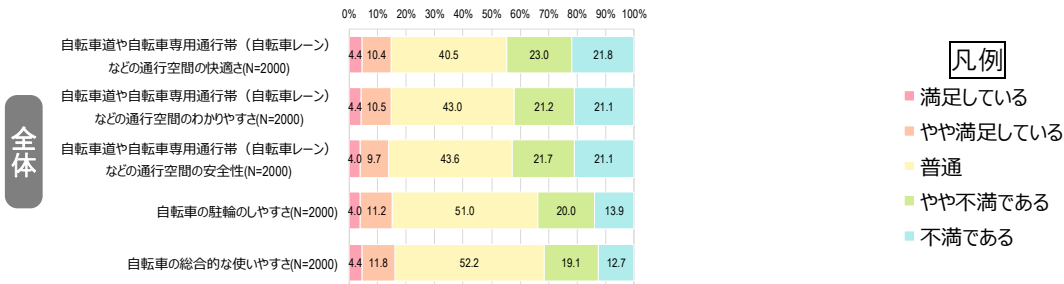
高校生



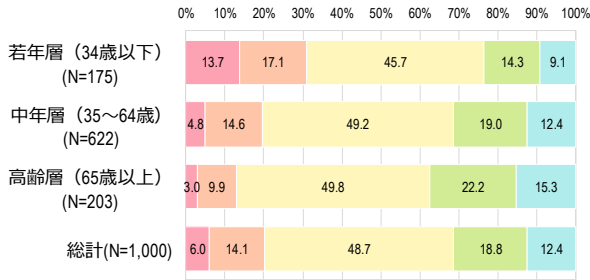
■ 施策・措置の満足度

問26：県内での自転車の利用に関して、下記の項目についてどの程度満足していますか。

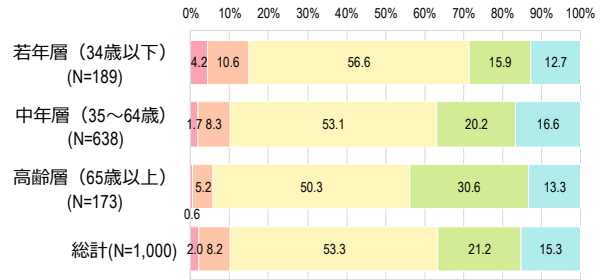
- 全体をみると、各項目いずれも「満足」「やや満足」を合計しても 15%程度にとどまり、「自転車道や自転車専用通行帯(自転車レーン)」に関する項目は「普通」と「やや不満」「不満」の合計が同程度、「駐輪のしやすさ」「総合的な使いやすさ」は「普通」が 50%程度を占める。
- 自転車利用者・非利用者別にみると、「自転車利用者」の満足度の方が、いずれの年齢層・項目においても高い。また、いずれの項目でも、年齢層が若いほど満足度が高い。



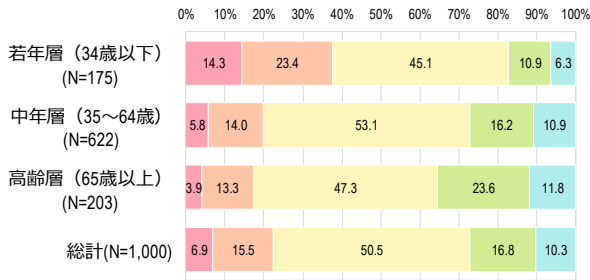
自転車の駐輪のしやすさ



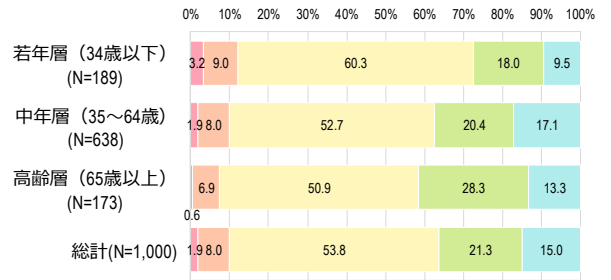
自転車の駐輪のしやすさ



自転車の総合的な使いやすさ

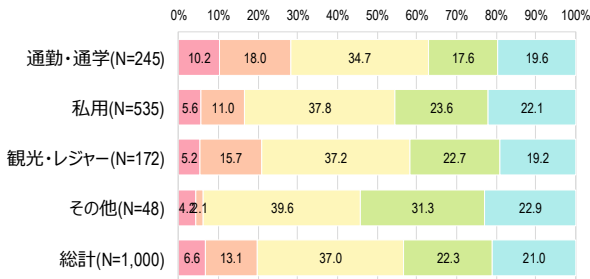


自転車の総合的な使いやすさ

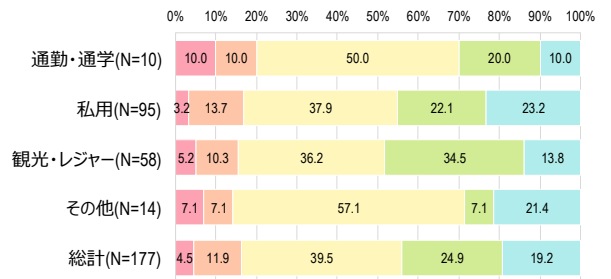


自転車利用目的別

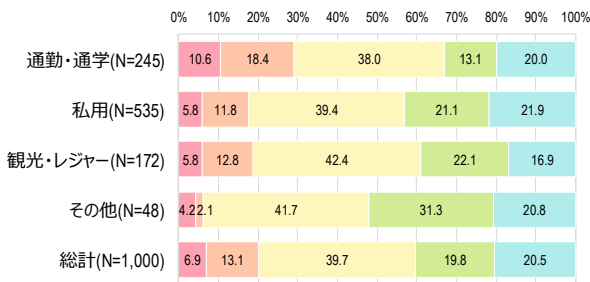
自転車道や自転車専用通行帯（自転車レーン）などの通行空間の快適さ



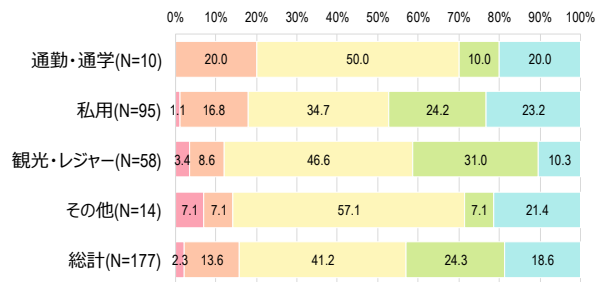
自転車道や自転車専用通行帯（自転車レーン）などの通行空間の快適さ



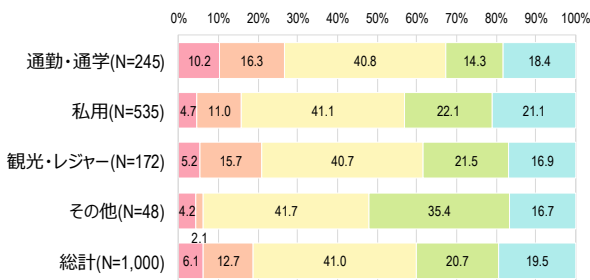
自転車道や自転車専用通行帯（自転車レーン）などの通行空間のわかりやすさ



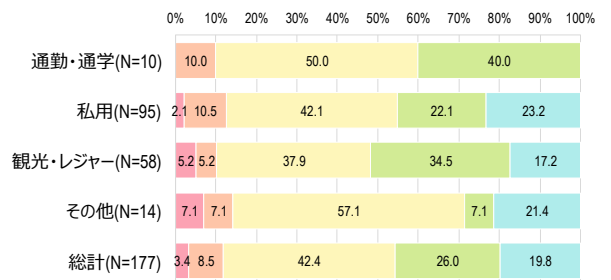
自転車道や自転車専用通行帯（自転車レーン）などの通行空間のわかりやすさ



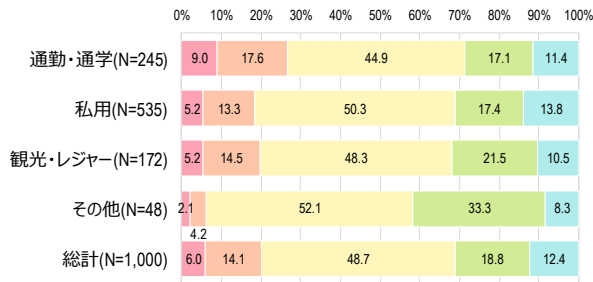
自転車道や自転車専用通行帯（自転車レーン）などの通行空間の安全性



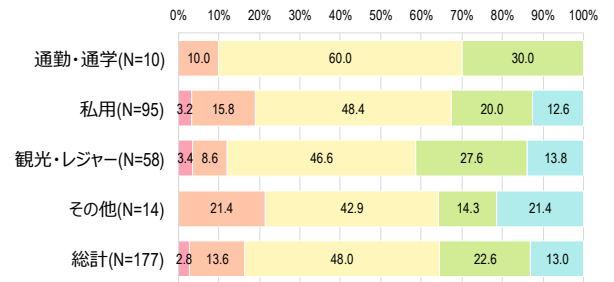
自転車道や自転車専用通行帯（自転車レーン）などの通行空間の安全性



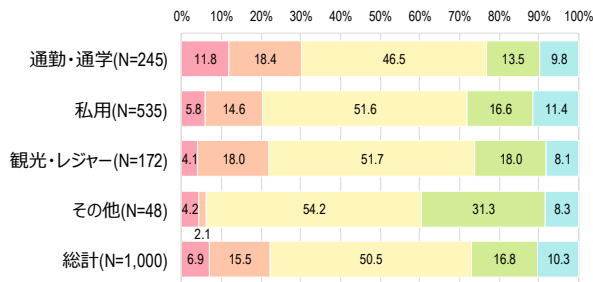
自転車の駐輪のしやすさ



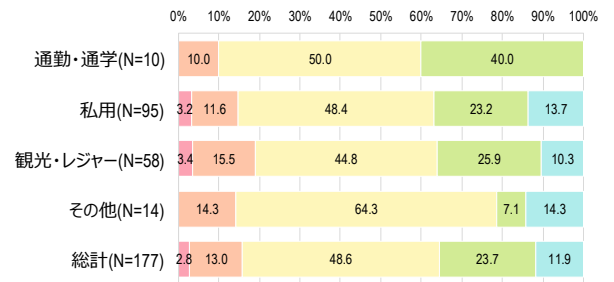
自転車の駐輪のしやすさ



自転車の総合的な使いやすさ



自転車の総合的な使いやすさ

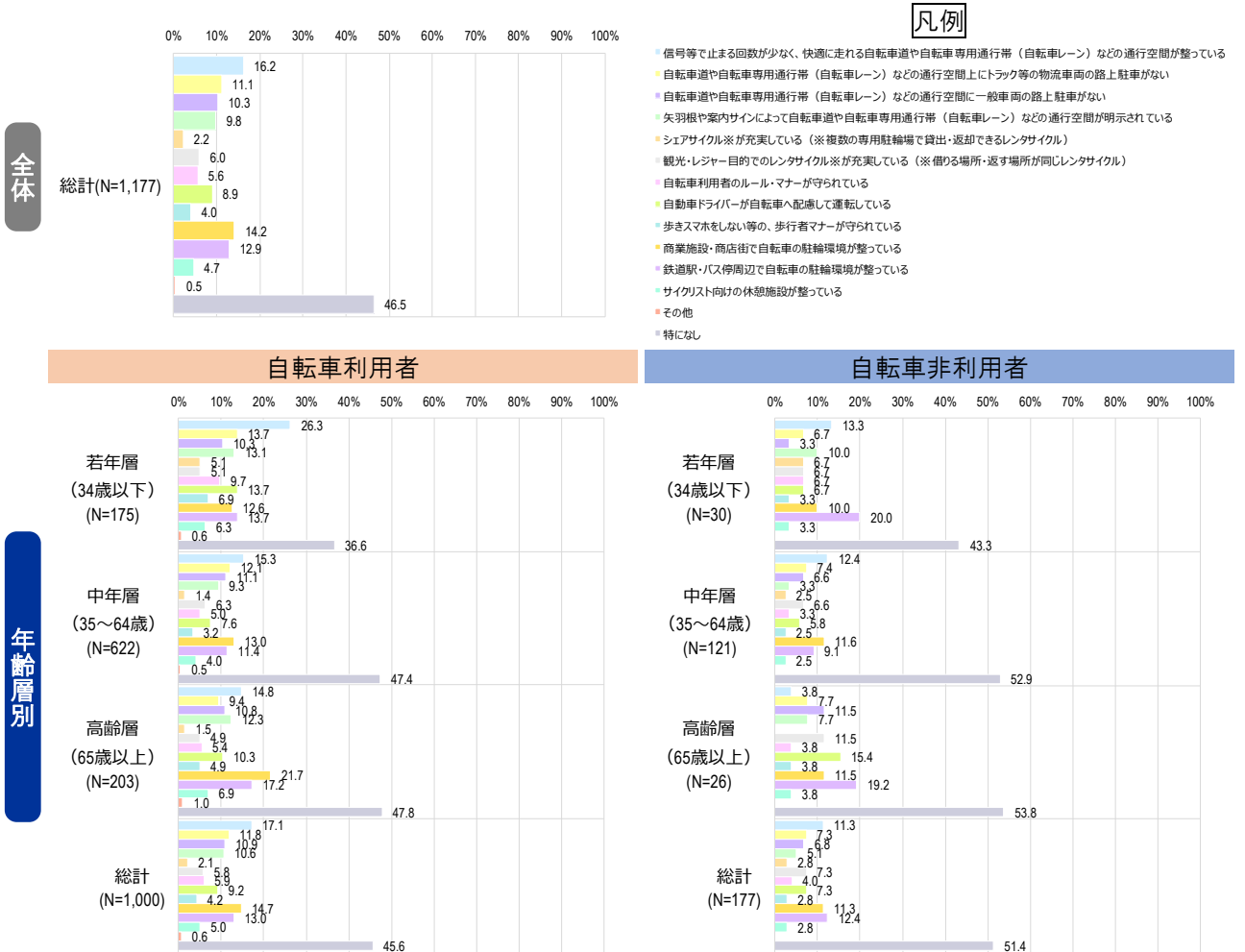


※自転車非利用者のうち、SC3 で、(自転車)「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため、自転車利用目的別での集計からは除かれている

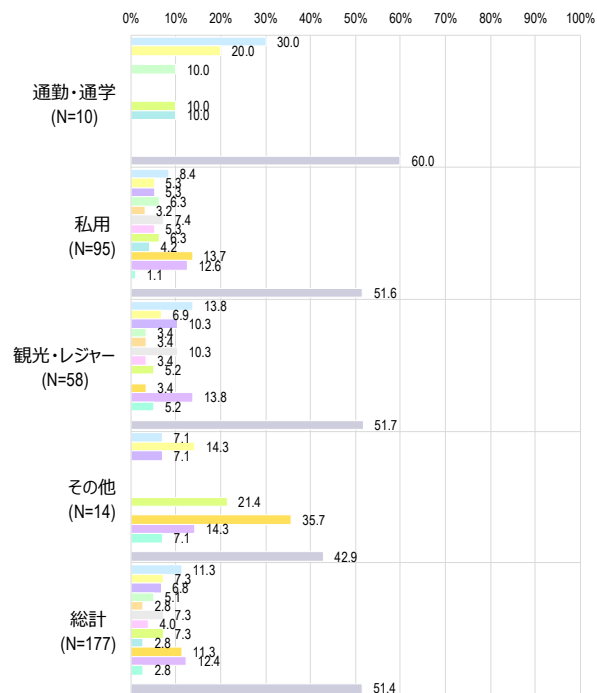
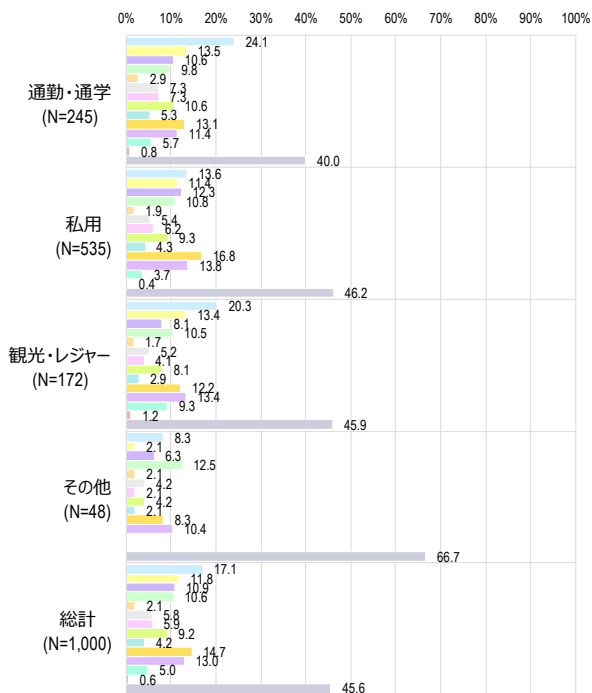
問27：県内での自転車の利用環境について、満足している内容をお教えてください。（いくつでも）

- ・ 全体をみると、「特になし」が 46.5%と最も多く、「シェアサイクルが充実している」が 2.2%と最も少ない。
- ・ 自転車利用者・非利用者別にみると、いずれも「特になし」との回答が最も多い。

※SC3 で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く



自転車利用目的別



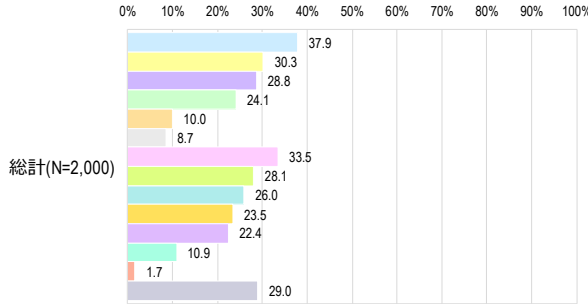
※自転車非利用者のうち、SC3 で、「(自転車)「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため、自転車利用目的別での集計からは除かれている

問28：県内での自転車の利用環境について、あなたは、どのような環境が整えば、自転車を利用してもよいと思いますか。（いくつでも）

（すでに自転車を利用されている方は、「より自転車を利用したいと思いますか?」と読みかえてお答えください）

- 全体をみると、「その他」(1.7%)、「レンタサイクルの充実」(8.7%)、「シェアサイクルの充実」(10.0%)、「サイクリスト向けの休憩施設が整っている」(10.9%)は比較的少ない。そのほかの項目はいずれも 20%を超えており、「信号等で止まる回数が少なく、快適に走れる自転車道や自転車専用通行帯(自転車レーン)などの通行空間が整っている」は 37.9%、「自転車利用者のルール・マナーが守られている」が 33.5%、「自転車道や自転車専用通行帯(自転車レーン)などの通行空間上にトラック等の物流車両の路上駐車がいない」が 30.3%と続く。
- 自転車利用者・非利用者別にみると、「自転車利用者のルール・マナーが守られている」、「特になし」の回答は「自転車非利用者」の方が多い。

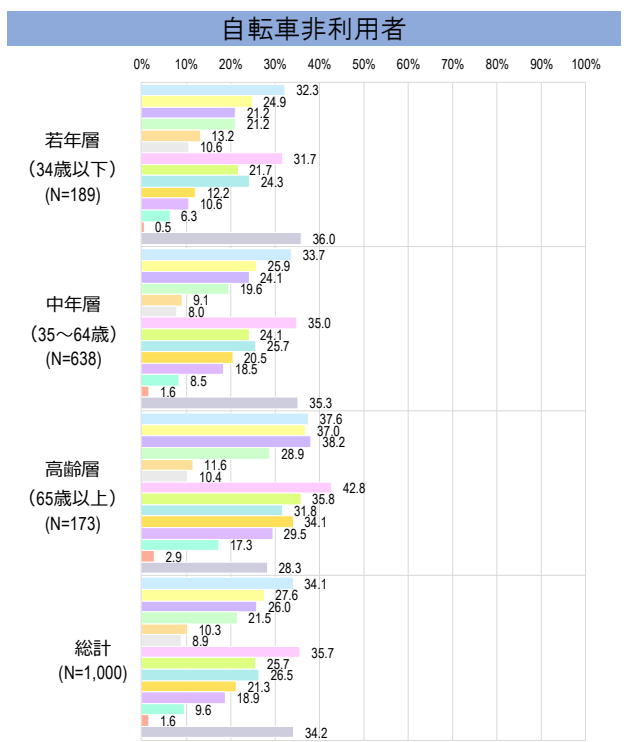
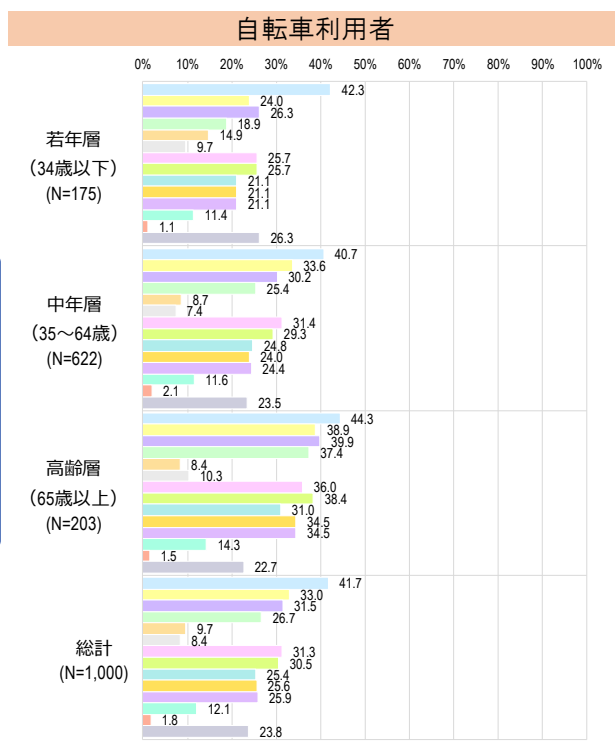
全体



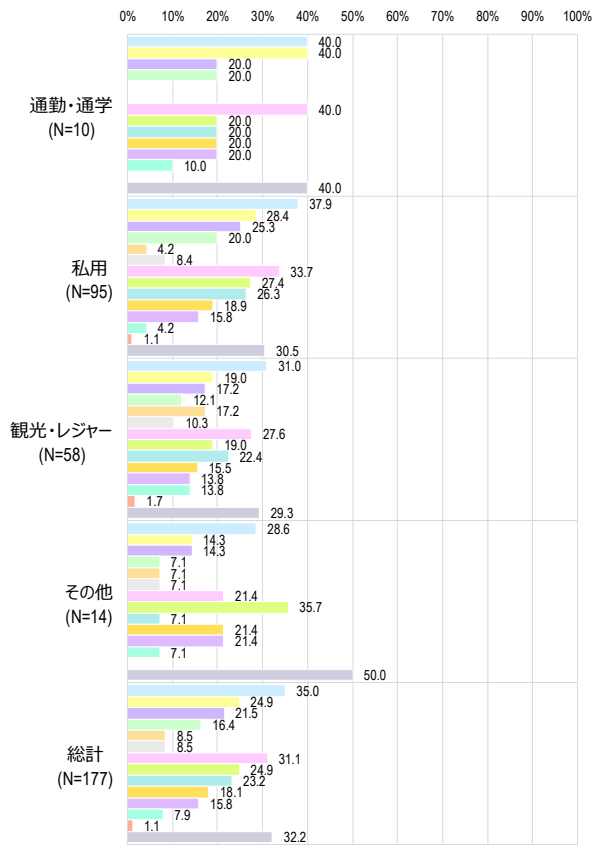
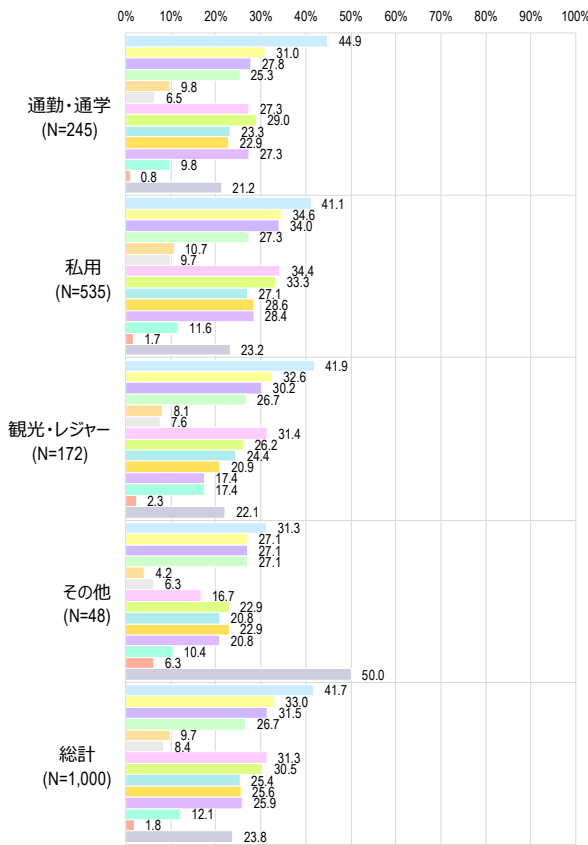
凡例

- 信号等で止まる回数が少なく、快適に走れる自転車道や自転車専用通行帯(自転車レーン)などの通行空間が整っている
- 自転車道や自転車専用通行帯(自転車レーン)などの通行空間上にトラック等の物流車両の路上駐車がいない
- 自転車道や自転車専用通行帯(自転車レーン)などの通行空間上に一般車両の路上駐車がいない
- シェアサイクル※が充実している
- レンタサイクル※が充実している
- 観光・レジャー目的でのレンタサイクル※が充実している
- 自転車利用者のルール・マナーが守られている
- 自動車ドライバーが自転車へ配慮して運転している
- 歩きスマホをしない等の、歩行者マナーが守られている
- 商業施設・商店街で自転車の駐輪環境が整っている
- 鉄道駅・バス停留周辺で自転車の駐輪環境が整っている
- サイクリスト向けの休憩施設が整っている
- その他
- 特になし

年齢層別



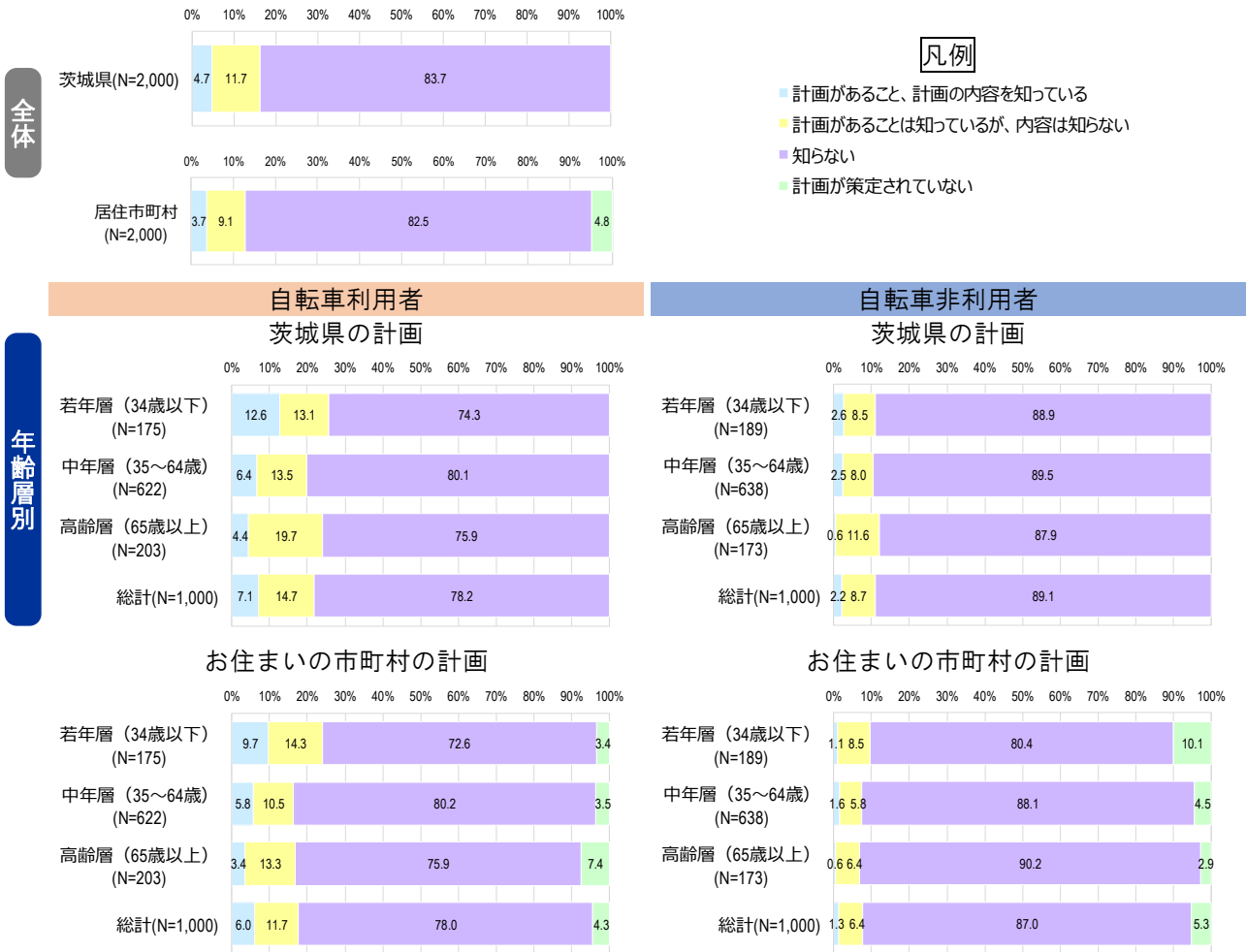
自転車利用目的別



※自転車非利用者のうち、SC3 で、「(自転車)「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため、自転車利用目的別での集計からは除かれている

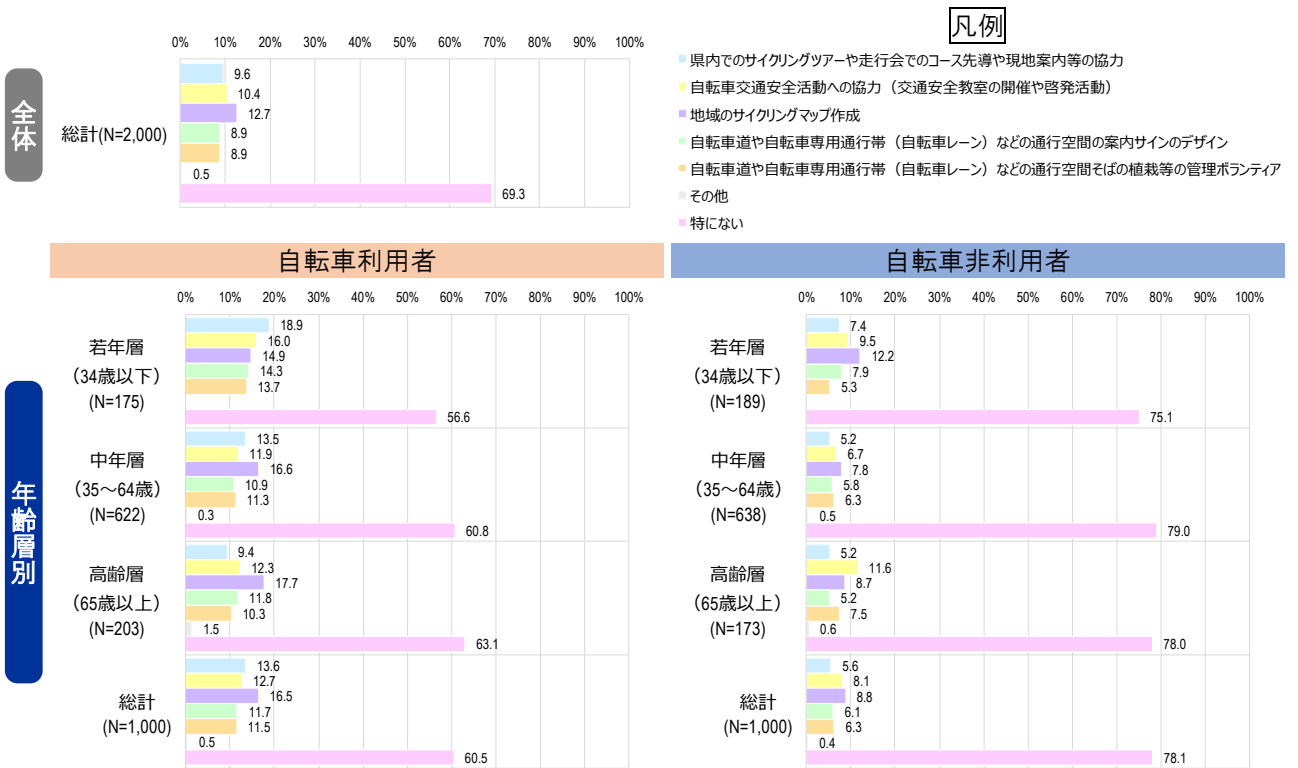
問29：茨城県や各市町村では、自転車の有用性に着目し、地域課題の解決を目指して、「自転車活用推進計画」を策定し、取組を進めています。茨城県やお住まいの市町村の「自転車活用推進計画」はご存じですか。

- ・ 全体をみると、茨城県、お住まいの市町村いずれも「知らない」が80%程度を占める。
- ・ 自転車利用者・非利用者別にみると、「自転車利用者」の方がいずれの計画も認知度は高い。



問30：県内での自転車利用推進に向けて、関わってみたい取組みをお教えてください。（いくつでも）

- 全体をみると、「特にない」が 69.3%と最も多いが、具体的な取組みを選択された方はそれぞれ 10%前後いる。
- 自転車利用者・非利用者別にみると、「自転車非利用者」の「特にない」との回答が多い。



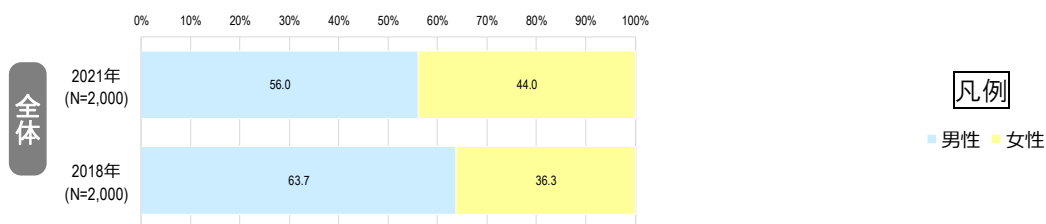
2) 参考：過年度調査との比較

2018年度に実施した県民アンケート結果（過年度調査）と今年度調査を比較する。

■個人属性

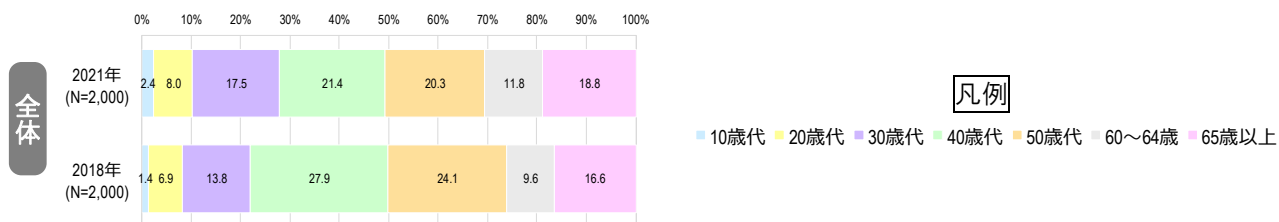
性別

- 今年度調査では、男性は56.0%、女性は44.0%であった。
- 過年度調査では、男性は63.7%、女性は36.3%であった。



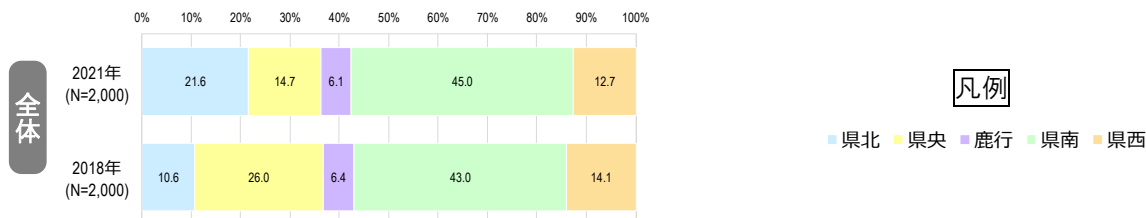
年代

- 今年度調査では、「40代」が21.4%と最も多く、「50代」が20.3%、「65歳以上」は18.8%、「30代」が17.5%と続く。
- 過年度調査では、「40代」が27.9%と最も多く、「50代」が24.1%、「65歳以上」は16.6%、「30代」が13.8%と続く。



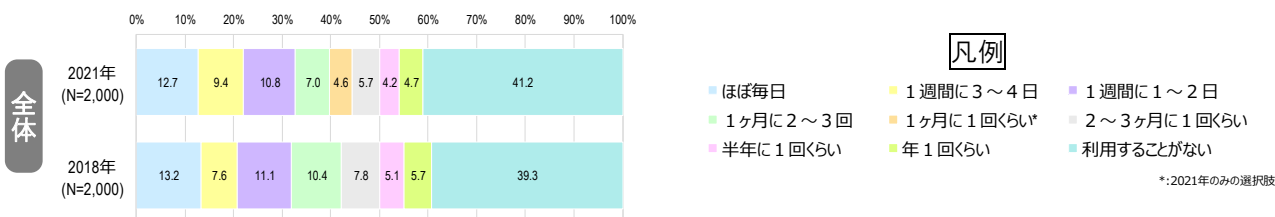
SC2：居住地域

- 今年度調査では、県南エリアが最も多く45.0%、県北エリアが21.6%、県央エリアが14.7%、県西エリアが12.7%、鹿行エリアが6.1%と続く。
- 過年度調査では、県南エリアが最も多く43.0%、県央エリアが26.0%、県西エリアが14.1%、県北エリアが10.6%、鹿行エリアが6.4%と続く。



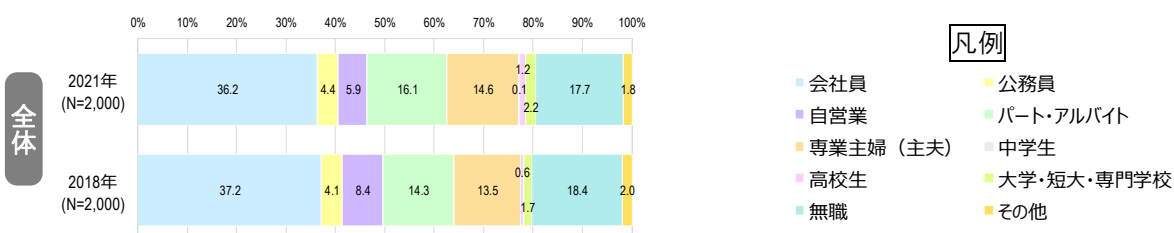
SC3：日常生活での自転車利用頻度

- 今年度調査、過年度調査の傾向に差異はみられない。



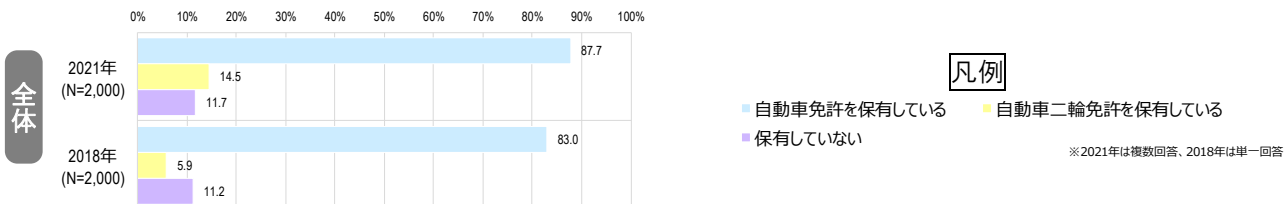
問1：あなたの職業をお教えてください。

- 今年度調査、過年度調査の傾向に差異はみられない。



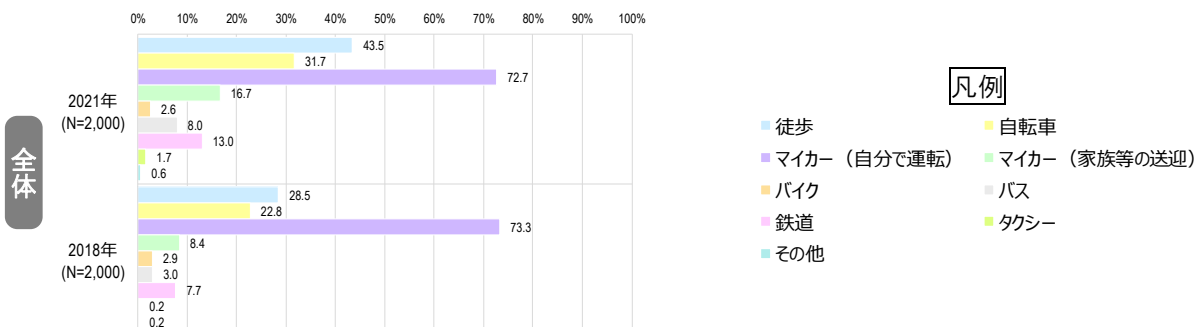
問2：保有している免許をお教えてください。

- 今年度調査、過年度調査ともに自動車免許の保有率は80%超である。



問3：日常生活での主な移動手段をお教えてください。(いくつでも)

- 今年度調査、過年度調査ともに「マイカー(自分で運転)」が70%台と最も多い。
- 今年度調査は過年度調査よりも「徒歩」は15ポイント、「自転車」は9ポイント程度、「マイカー(家族の送迎)」は8ポイント程度、「鉄道」は5ポイント程度、「バス」は5ポイント、それぞれ増加した。



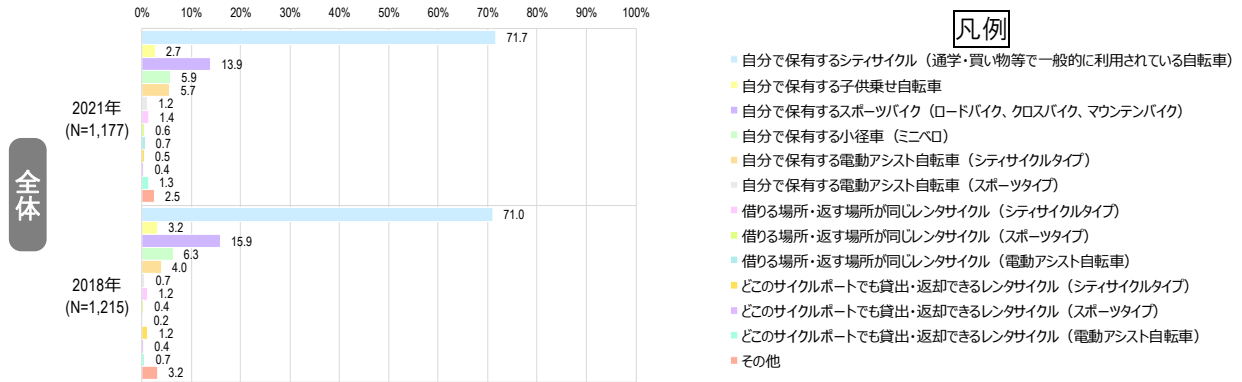
■自転車利用実態（日常）

問5：日常生活で主に利用する自転車の種類をお教えてください。（いくつでも）

- ・今年度調査、過年度調査ともに「自分で保有するシティサイクル」が70%台と最も多い。
- ・それ以外の項目では、今年度調査、過年度調査の差異はみられない。

※（2021年調査）SC3で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く

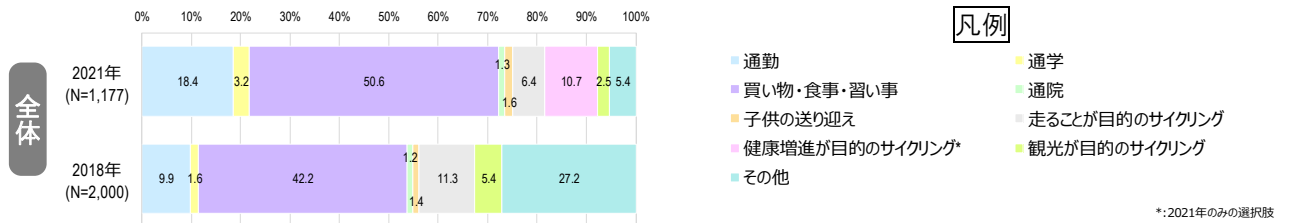
※（2018年調査）SC6で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く



問6：日常生活での主な自転車の利用目的をお教えてください。

- ・今年度調査は、「通勤」、「買い物・食事・習い事」がそれぞれ8ポイント程度、過年度調査よりも増えている。
- ・なお、2018年調査の「その他」は、「乗らない」という自由記述が多かった。

※（2021年調査）SC3で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く

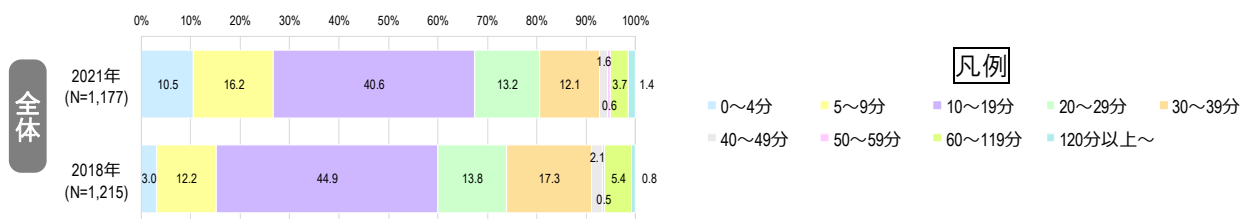


問7：日常生活での自転車の1回あたり（片道）の利用時間をお教えてください。

- ・今年度調査は、「0～4分」「5～9分」を合わせて11ポイント程度、過年度調査よりも増えている。

※（2021年調査）SC3で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く

※（2018年調査）SC6で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く

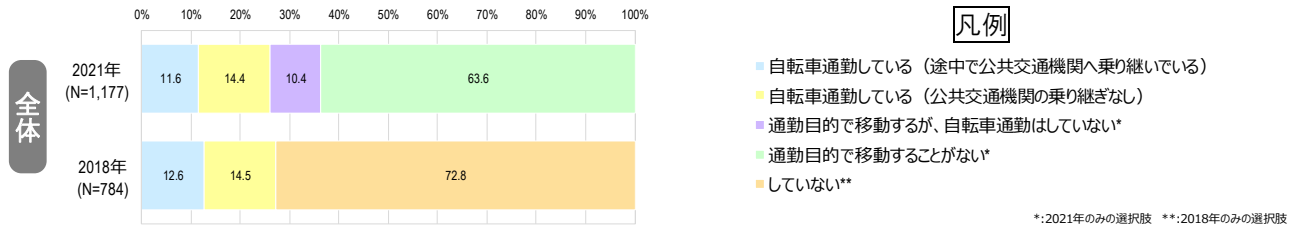


問10：自転車通勤をしていますか。

- 今年度調査と過年度調査を比較すると、その傾向に差異はみられない。

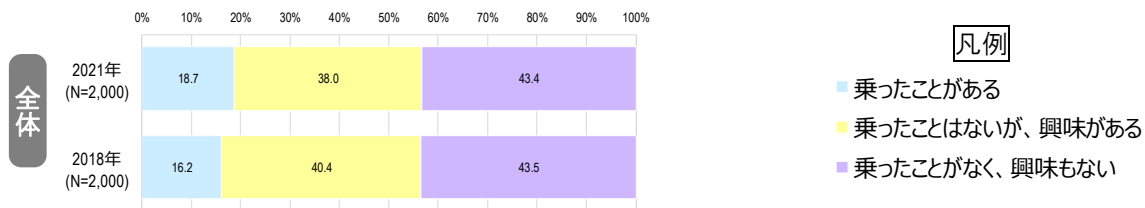
※（2021年調査）SC3で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く

※（2018年調査）SC6で、「利用することがない」と回答、かつ、職業が会社員、公務員、自営業、パート・アルバイト以外の方は、回答対象外のため除く



問12：電動アシスト自転車に乗ったことはありますか。

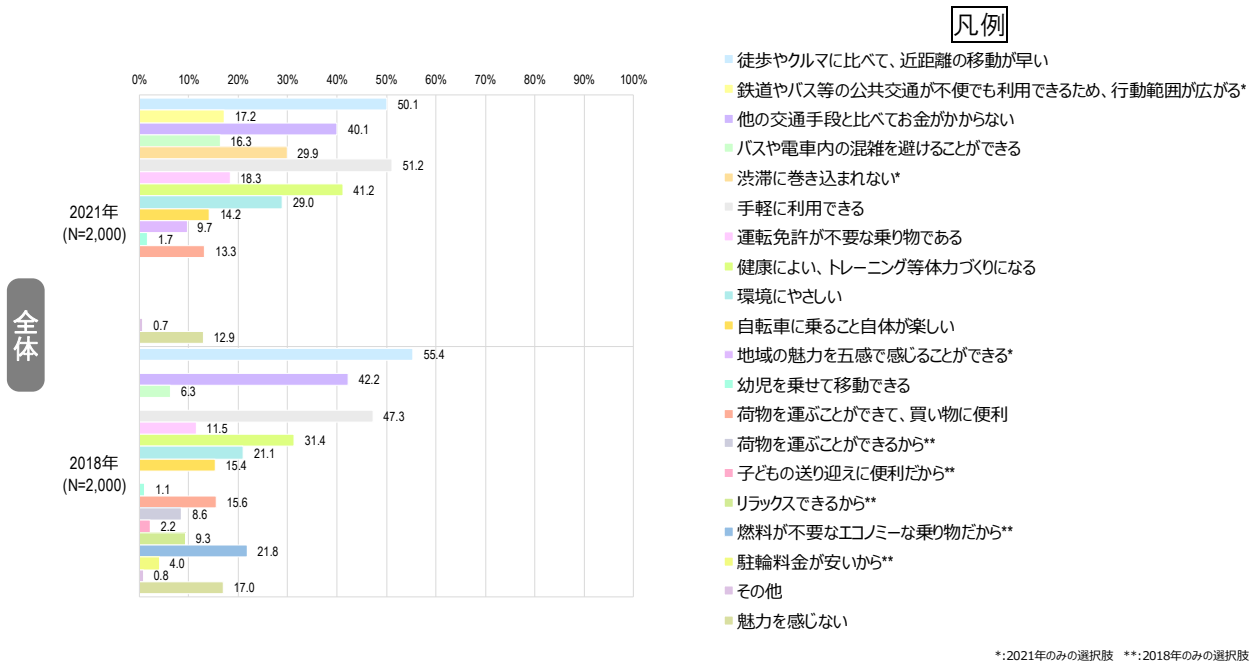
- 今年度調査と過年度調査を比較すると、「乗ったことがある」が2ポイント程度上がった一方、「乗ったことがなく、興味もない」は、ほぼ同数であった。



■自転車利用意識

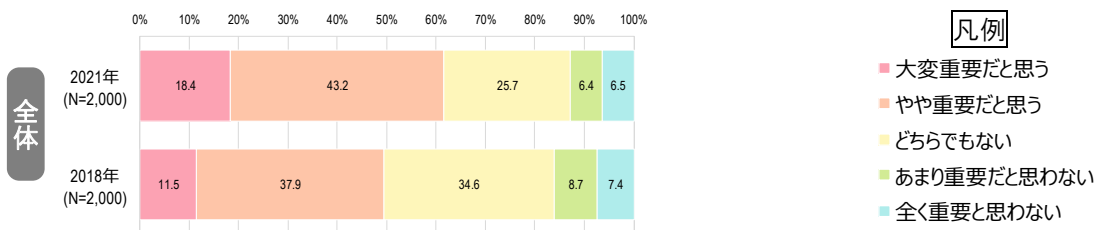
問13：自転車利用のどのようなところに魅力を感じますか。（いくつでも）

- 今年度調査は、「バスや電車の混雑を避けることができる」が10ポイント、「健康によい、トレーニング等体カづくりになる」が10ポイント程度、「環境にやさしい」が8ポイント程度、過年度調査よりも上がっている。



問14：健康のために自転車を利用することについて教えてください。

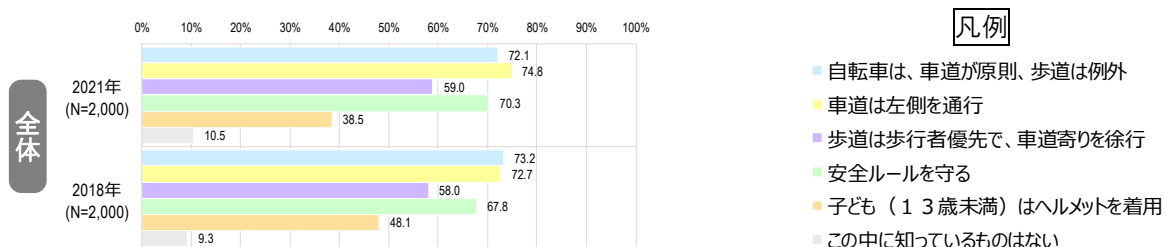
- 今年度調査は、「大変重要だと思う」が7ポイント程度、「やや重要だと思う」が5ポイント程度、過年度調査よりも上がっている。
- 今年度調査は、「どちらでもない」が9ポイント程度、「全く重要だと思わない」と「あまり重要だと思わない」を合わせて3ポイント程度、過年度調査よりも下がっている。



■ ルールの認知・遵守状況

問15：自転車安全利用五則を知っていますか。ご存知のものを全て教えてください。（いくつでも）

- 「子ども（13歳未満）はヘルメットを着用」の認知度は、過年度調査よりも10ポイント近く下がった。それ以外の項目では、過年度調査との差異はほとんどみられない。

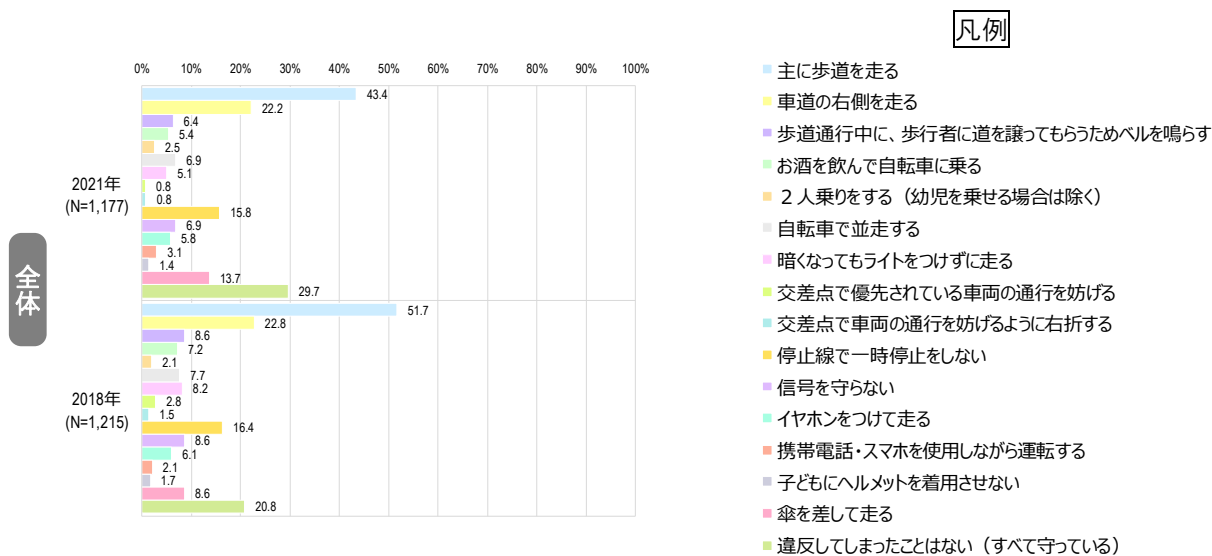


問16：過去1年間で、自転車利用時に思わず違反してしまったことについて下記から当てはまるもの全て教えてください。（いくつでも）

- 「違反してしまったことはない(すべて守っている)」は、過年度調査よりも9ポイント程度上がった。
- 「主に歩道を走る」は、過年度調査よりも8ポイント程度下がった。

※（2021年調査）SC3で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く

※（2018年調査）SC6で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く

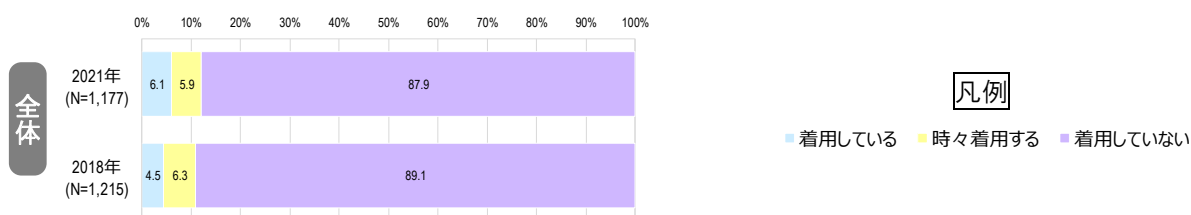


問17：自転車利用時、ヘルメットを着用していますか。

- ヘルメットの着用率は伸びていない。

※（2021年調査）SC3で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く

※（2018年調査）SC6で、「利用することがない」と回答した人は、回答対象外のため除く



■ 施策・措置の満足度

問28：県内での自転車の利用環境について、あなたは、どのような環境が整えば、自転車を利用してもよいと思いますか。（いくつでも）

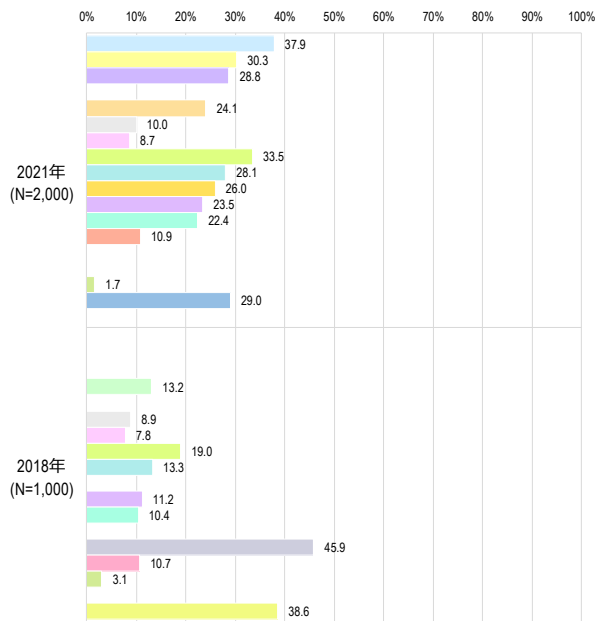
（すでに自転車を利用されている方は、「より自転車を利用したいと思いますか?」と読みかえてお答えください）

- ・ いずれの項目でも、今年度調査が過年度調査の回答を上回っている。

凡例

- 信号等で止まる回数が少なく、快適に走れる自転車道や自転車専用通行帯（自転車レーン）などの通行空間が整っている*
- 自転車道や自転車専用通行帯（自転車レーン）などの通行空間上にトラック等の物流車両の路上駐車がいない*
- 自転車道や自転車専用通行帯（自転車レーン）などの通行空間上に一般車両の路上駐車がいない*
- 路上駐車対策**
- 矢羽根や案内サインによって自転車道や自転車専用通行帯（自転車レーン）などの通行空間が明示されている*
- シェアサイクル※が充実している（※複数の専用駐輪場で貸出・返却できるレンタサイクル）
- 観光・レジャー目的でのレンタサイクル※が充実している（※借りる場所・返す場所が同じレンタサイクル）
- 自転車利用者のルール・マナーが守られている
- 自動車ドライバーが自転車へ配慮して運転している
- 歩きスマホをしない等の、歩行者マナーが守られている*
- 商業施設・商店街で自転車の駐輪環境が整っている
- 鉄道駅・バス停周辺で自転車の駐輪環境が整っている
- サイクリスト向けの休憩施設が整っている*
- 自転車で安全に走れる道路整備**
- 自転車保険に加入**
- その他
- 特になし*
- 整備が充実しても自転車を利用しようとは思わない**

全体



*:2021年みの選択肢 **:2018年みの選択肢

■ 県民アンケート調査結果の主なまとめ

項目	設問	内容	結果	考察
個人属性	Q1	職業	・ 回答者全体の約 4 割が会社員	—
	Q2	免許保有状況	・ 全体の <u>87.7%が自動車免許保有者</u>	
	Q3	日常生活での主な移動手段（いくつでも）	・ 全体の <u>31.7%が自転車を含む移動、72.7%がマイカー（自分で運転）を含む移動</u> ・ 過年度調査に比べて、自転車を含む移動が 9 ポイント程度増加	
	Q4	Q3 で最もよく行く目的地までの片道距離	・ 全体の <u>52.6%が片道 5km 以下</u>	
自転車利用実態（日常）	Q5	日常生活で主に利用する自転車の種類（いくつでも）	・ 全体の <u>71.7%が自分で保有するシティサイクル</u> ・ 過年度調査結果と同様の傾向	・ 過年度調査結果と比較して、通勤での自転車利用割合が増加、短時間での自転車移動が増加する等、日常的な自転車利用がやや増えている傾向
	Q6	日常生活での主な自転車利用目的	・ 全体の <u>50.6%が買い物・食事・習い事、18.4%が通勤</u> ・ <u>10.7%が健康増進目的</u> で、特に高齢者層で割合が高い ・ 過年度調査に比べて、通勤目的での自転車利用割合が 9 ポイント程度増加	
	Q7	日常生活での自転車利用時間（1回あたり・片道）	・ 全体の約 8 割は <u>25 分以内で自転車を利用</u> ・ <u>全体の約 3 割が 9～12 分利用</u> で最も多い ・ 過年度調査に比べて、30 分以内での自転車移動の割合が増加	
	Q8	自転車を利用してもよい最大利用時間（片道）	・ 全体の 26.8%が 25～40 分利用してもよいと回答 ・ 全体の約 5 割が、 <u>20 分(5km)以内なら利用してもよい</u> と回答	
	Q9	自転車の点検頻度	・ 自転車を利用する人のうち、 <u>44.7%が不具合発生時のみ、36.9%は日常的・定期的に点検</u>	

項目	設問	内容	結果	考察
	Q10	自転車通勤の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車利用者全体の 26.0% は自転車通勤をしている (過年度調査では 27%) ・ 若年層の方が、中年層よりも自転車通勤割合が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車通勤の促進のためには、自転車通勤しやすい環境を整えたり、クルマと比較した自転車通勤のメリットを発信する等の対応が必要。
	Q11	自転車通勤をしていない理由 (いくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車通勤していない人のうち、21.9%が「自宅から勤め先や鉄道駅・バス停まで遠く、自転車で通勤できないため」と最も多く、ついで15.3%が「自宅から勤め先や鉄道駅・バス停まで自転車で行くことはできるが、クルマの方が便利のため自転車通勤をしていない」と回答 	
	Q12	電動アシスト自転車の利用経験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の 18.7%は乗ったことがあり、38.0%は乗ったことはないが興味がある ・ 過年度調査結果と同様の傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電動アシスト自転車に興味がある人が約 4 割程度であり、潜在的な需要が見込まれる。
自転車利用意識	Q13	自転車利用のどこなところに魅力を感じるのか (いくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体のうち、「手軽に利用できる」が 51.2%、「近距離の移動が速い」が 50.1%、「健康によい・体力づくり」が 41.2%、「お金がかからない」が 40.1% ・ 魅力を感じる項目は、過年度調査結果と同様の傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済性や利便性以外に、健康効果から自転車を利用する人が約 4 割と多く、健康効果を発信することが自転車利用促進の 1 つになる可能性がある。
	Q14	健康のための自転車利用の重要性への認識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の 61.6%が重要と認識 ・ 過年度調査結果と比較して、重要性を認識している割合が 10 ポイント程度増加 	
ルールの認知・遵守状況	Q15	自転車安全利用五則の認知状況 (いくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 五則のうち、「子ども(13歳未満)はヘルメットを着用」が 38.5%、「歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行」が 59.0%の認知度(その他は約 7 割の認知度) ・ 五則の内容を知らない人は全体の約 1 割 ・ 過年度調査結果と同様の傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車安全利用五則の認知状況や自転車ルール・マナーの遵守状況は大きな変化がなく、引き続き対応が必要。 ・ ヘルメット着用への認知や着用率にも大きな変化がなく、引き続き対応が必要。

項目	設問	内容	結果	考察
	Q16	過去1年間で、自転車利用時に思わず違反したこと (いくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>主に歩道を走るが43.4%</u>と最も多い ・ ついで、「<u>車道の右側を走る</u>」が22.2%、「<u>停止線で一時停止をしない</u>」が15.8% ・ <u>違反していない人は全体の29.7%</u> ・ 違反の多い内容については、過年度調査結果と同様の傾向 	
	Q17	自転車利用時のヘルメット着用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の <u>87.9%は着用していない</u> ・ 過年度調査結果と同様の傾向 	
	Q18	茨城県での自転車保険加入の努力義務化の認知状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の <u>59.9%は知らなかった</u> と回答 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車保険加入が努力義務であることを知らない人が多いため、その周知が必要
	Q19	歩行者の自転車への恐怖心の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の <u>56.5%は自転車が怖い・邪魔と感じるときが時々ある</u>と回答 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者の半数以上は、自転車への恐怖心があることから、自転車利用者のルール・マナー遵守に向けた対応が必要。
	Q20	歩行者が自転車への恐怖を感じる場面 (いくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「<u>歩道でスピードの速い自転車とすれ違うとき</u>」が <u>63.0%</u>と最も多い ・ ついで、「<u>自転車が一時停止せず飛び出してくるとき</u>」が <u>51.2%</u>、「<u>歩道で自転車がすぐそばを走行するとき</u>」が <u>50.4%</u>、「<u>ながら運転</u>」が <u>47.7%</u> 	
	Q21	自動車等の「思いやり運転」の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の <u>86.9%は思いやり運転を意識して走行している</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車等のドライバーは、自転車利用者への思いやり運転が意識されている
	Q22	ドライバーの自転車への恐怖心の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の <u>53.9%は自転車が怖い・邪魔と感じるときが時々ある</u>、<u>39.5%はよくある</u>と回答 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車等のドライバーの約9割は、自転車への恐怖心があることから、自転車利用

項目	設問	内容	結果	考察
	Q23	ドライバーが自転車への恐怖を感じる場面（いくつでも）	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>信号等がない道路での急な道路横断</u>」が 54.8%と最も多い ・ついで、「<u>歩道から車道走行への急な切り替え</u>」が 50.1%、「<u>車道逆走</u>」「<u>ながら運転</u>」がそれぞれ 48.0%、「<u>幅員の狭い道路での車道走行</u>」が 46.8%、「<u>夜間の無灯火運転</u>」が 45.2%、<u>2台以上で並走</u>が 45.0% 	者のルール・マナー遵守に向けた対応が必要。
	Q24	親が子どもの日常移動に自転車利用させたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年までは<u>使ってほしくない</u>割合が 6 割以上と高い ・小学生高学年以上は、<u>自転車を使ってほしい</u>割合が 6 割以上と高い 	小学生低学年以下については、1人での日常移動の可能性が低く、自転車の利用シーン等も想定した自転車利用促進が必要
	Q25	子どもの自転車利用に否定的な理由	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの学年でも、<u>交通安全上、事故等の不安があるから</u>が最も多い 	
施策・措置の満足度	Q26	①通行空間の快適さに対する満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で「満足」「やや満足」と回答した割合は 14.8% 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に満足度が低いことから、通行空間の安全性・快適さ・わかりやすさの改善や、駐輪環境について引き続き対応が必要
		②通行空間のわかりやすさに対する満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で「満足」「やや満足」と回答した割合は 14.9% 	
		③通行空間の安全性に対する満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で「満足」「やや満足」と回答した割合は 13.7% 	
		④駐輪のしやすさに対する満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で「満足」「やや満足」と回答した割合は 15.2% 	
		⑤総合的な使いやすさに対する満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で「満足」「やや満足」と回答した割合は 16.2% 	
	Q27	満足している自転車利用環境（いくつでも）	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>特になし</u>」が 46.5%と最も多い ・ついで、「<u>快適に走れる通行空間が整っていること</u>」が 16.2%、「<u>商業施設・商店街等での駐輪環境が整っていること</u>」が 14.2% 	<ul style="list-style-type: none"> ・快適に走れる通航空間整備や自転車利用者のルール・マナーの遵守について対応が必要

項目	設問	内容	結果	考察
	Q28	自転車利用のために必要な環境整備（自転車非利用者） さらに自転車を利用するために必要な環境（自転車利用者）（いくつでも）	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>快適に走れる通行空間の整備</u>」を求める声が 37.9%と最も高い ・ ついで、「<u>自転車利用者のルール・マナーの遵守</u>」が 33.5% ・ 過年度調査結果においても、通行空間整備が上位であり、ついで「<u>自転車利用者のルール・マナーの遵守</u>」が求められている 	
	Q29	自転車活用推進計画の認知	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>県計画、市町村計画ともに、計画自体を知らない人が約8割</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車活用推進計画の内容について発信が必要。
	Q30	自転車利用推進に向けて、関わりたい取り組み（いくつでも）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「<u>特にない</u>」が 69.3% ・ 「<u>サイクリングマップの作成</u>」が 12.7%と最も高く、ついで、「<u>自転車交通安全活動への協力</u>」が 10.4%、「<u>サイクリングツアー・走行会でのコース先導や現地案内等の協力</u>」が 9.6% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイクリングマップの作成や交通安全教室、サイクリングツアー等で、県民を巻き込んだ取り組みができる可能性

アンケート調査結果

1) 県外客アンケート

観光客（首都圏観光客）の観光の実態、自転車利用ニーズを把握することを目的とした調査を実施した。

- ・調査期間：令和3（2021）年9月17日（金）～9月21日（火）
- ・実施方法：WEB アンケート調査
- ・調査対象：茨城県に旅行経験がある東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、栃木県、群馬県、山梨県居住者のうち、
県内での自転車利用経験のあるサイクリスト 150 サンプル、
〃 非サイクリスト 100 サンプル
県内での自転車利用経験のないサイクリスト 150 サンプル、
〃 非サイクリスト 100 サンプル

※サイクリスト：普段、2～3 か月に1回以上サイクリングする人
非サイクリスト：普段、サイクリングする頻度が2～3 か月に1回未満またはサイクリングしない人

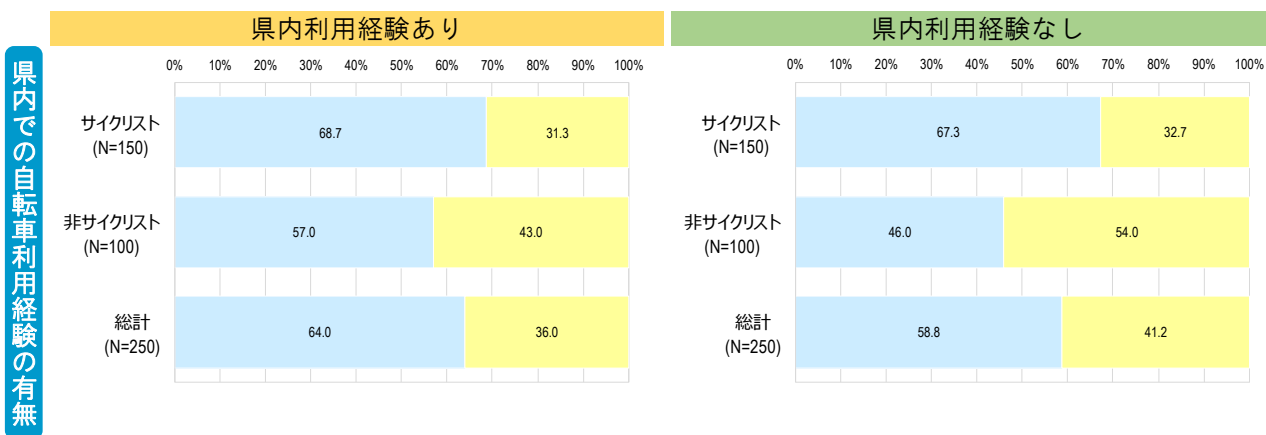
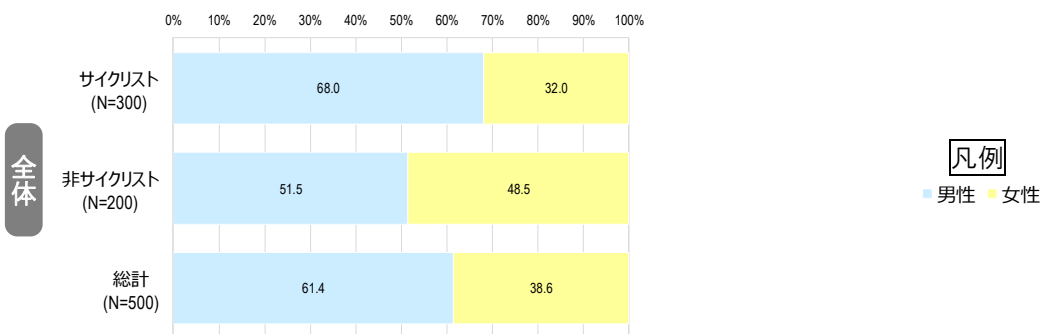
表1 県外客アンケートの調査項目

項目	設問	内容	結果の活用方針
—	—	性別	
	—	年齢	
調査対象者のスクリーニング	SC1	居住地域（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、栃木県、群馬県、山梨県）	基礎情報の収集
	SC2	普段、観光・レジャーや走ることを目的にサイクリングをする頻度	
	SC3	2019年4月以降の茨城県への来訪有無	
	SC4	SC3で茨城県に来訪した方の自転車利用の有無	
茨城県でのサイクリング実態・実施意向	Q1	県内来訪エリア	茨城県でのサイクリング実態・ニーズの把握 サイクリング推進に向けて必要な整備・サービスの検討
	Q2	自転車利用の検討	
	Q3	SC4の自転車利用検討時の利用媒体	
	Q4	SC4の自転車利用検討時の収集情報	
	Q5	SC4の自転車利用検討時の収集情報のわかりやすさに対する満足度	
	Q6	自転車を利用するために必要な整備・サービス（Q2で自転車利用を検討したがやめた方）	
	Q7	自転車の利用を検討しなかった理由（Q2で自転車利用の検討をしなかった方）	
	Q8	SC3の自転車利用の目的	
	Q9	Q8の目的での県内滞在時期	
	Q10	Q8の目的での滞在日数	
	Q11	Q8の目的での旅行の種別	
	Q12	Q8の目的での自転車を利用した地域	

項目	設問	内容	結果の活用方針
	Q13	Q8 の目的での自転車を利用した際のスタート地点	
	Q14	Q8 の目的での自転車の調達方法	
	Q15	Q8 の目的での自転車利用の満足度	
	Q16	Q8 の目的で、自転車を利用した地域で改善が必要だと感じた整備・サービス	
	Q17	Q8 の目的で自転車を利用した際に、よかったと感じた整備・サービス	
	Q18	今後、茨城県内で自転車を利用して観光したいと思う地域	
	Q19	茨城県内で自転車を利用した宿泊をとまなう観光意向	
	Q20	茨城県内で自転車を利用した宿泊をとまなう観光に必要な環境整備 (Q19 で宿泊したいとは思わないと回答した方)	
サイクリング情報提供に対する認知状況	Q21	サイクリングに関する茨城県の実施などの認知状況	サイクリングに関する茨城県の実施などの発信内容の検討
個人属性	Q22	職業	
	Q23	普段、観光・レジャーや走ることを目的にサイクリングをする理由	
	Q24	普段、観光・レジャーや走ることを目的のサイクリングで利用する自転車の種類	
	Q25	普段、観光・レジャーや走ることを目的のサイクリングで走る距離	

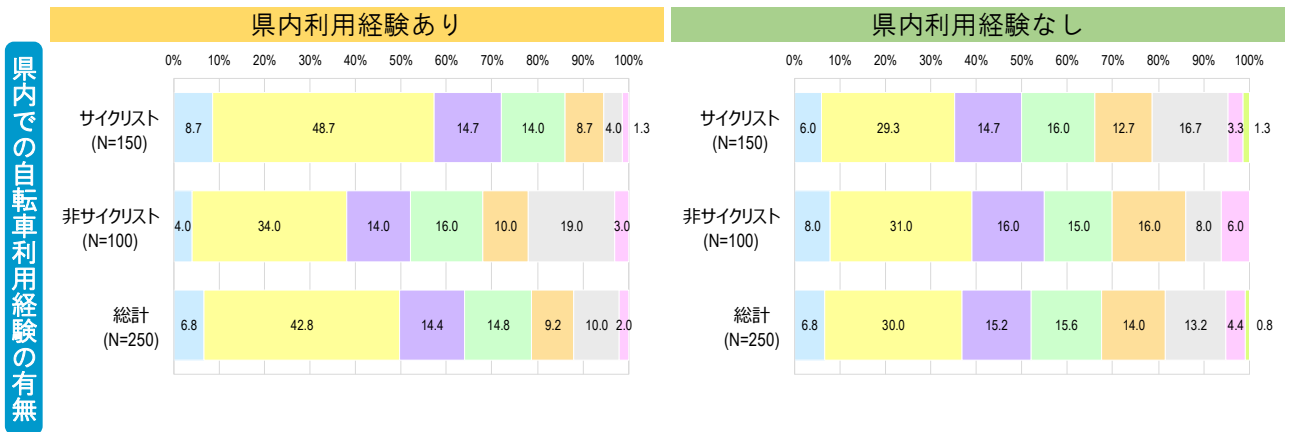
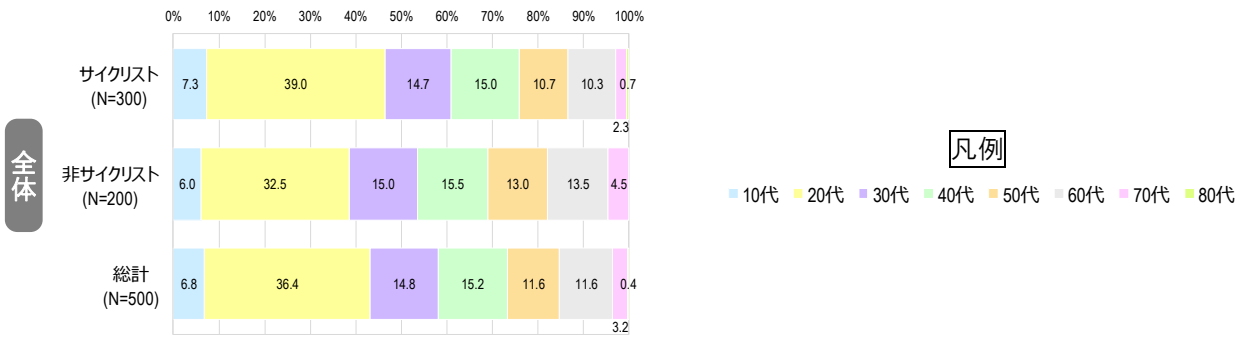
性別

- 全体をみると、男性が 61.4%、女性が 38.6%であった。



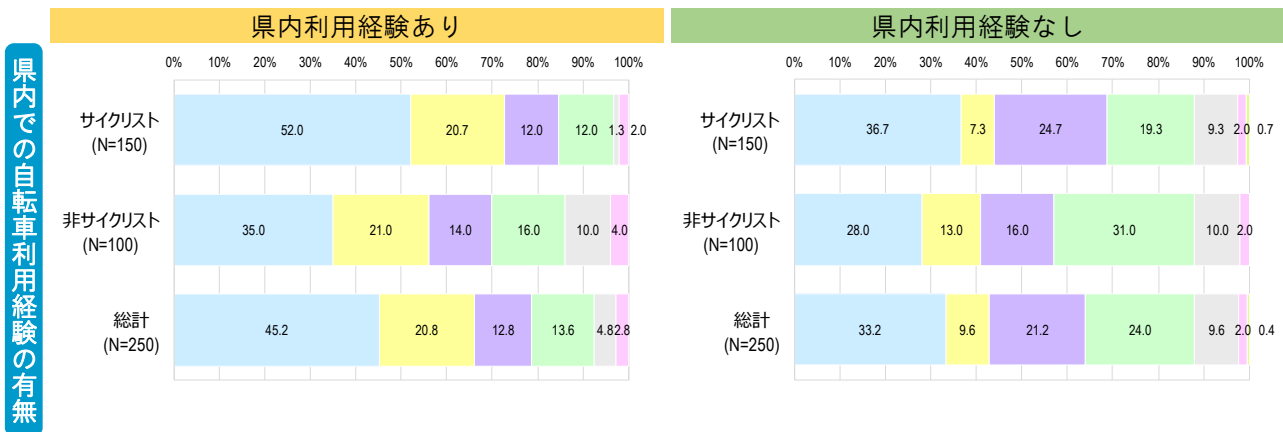
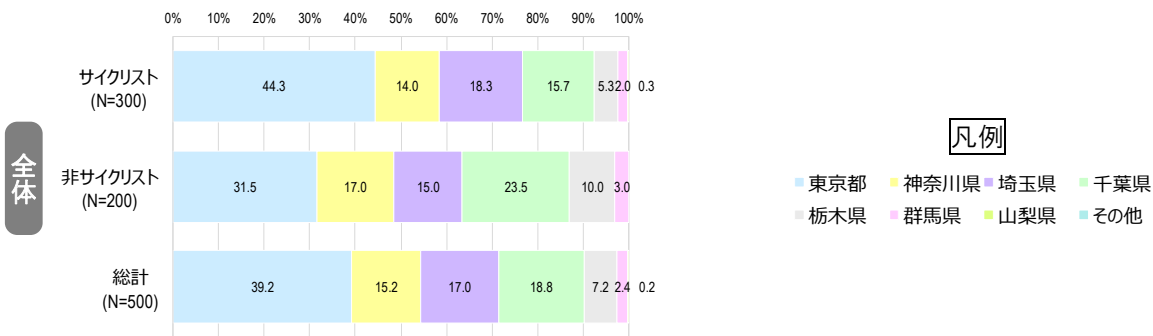
年齢

- 全体をみると、「20代」が36.4%で最も多く、「40代」が15.2%、「30代」が14.8%、「50代」と「60代」がそれぞれ11.6%と続く。



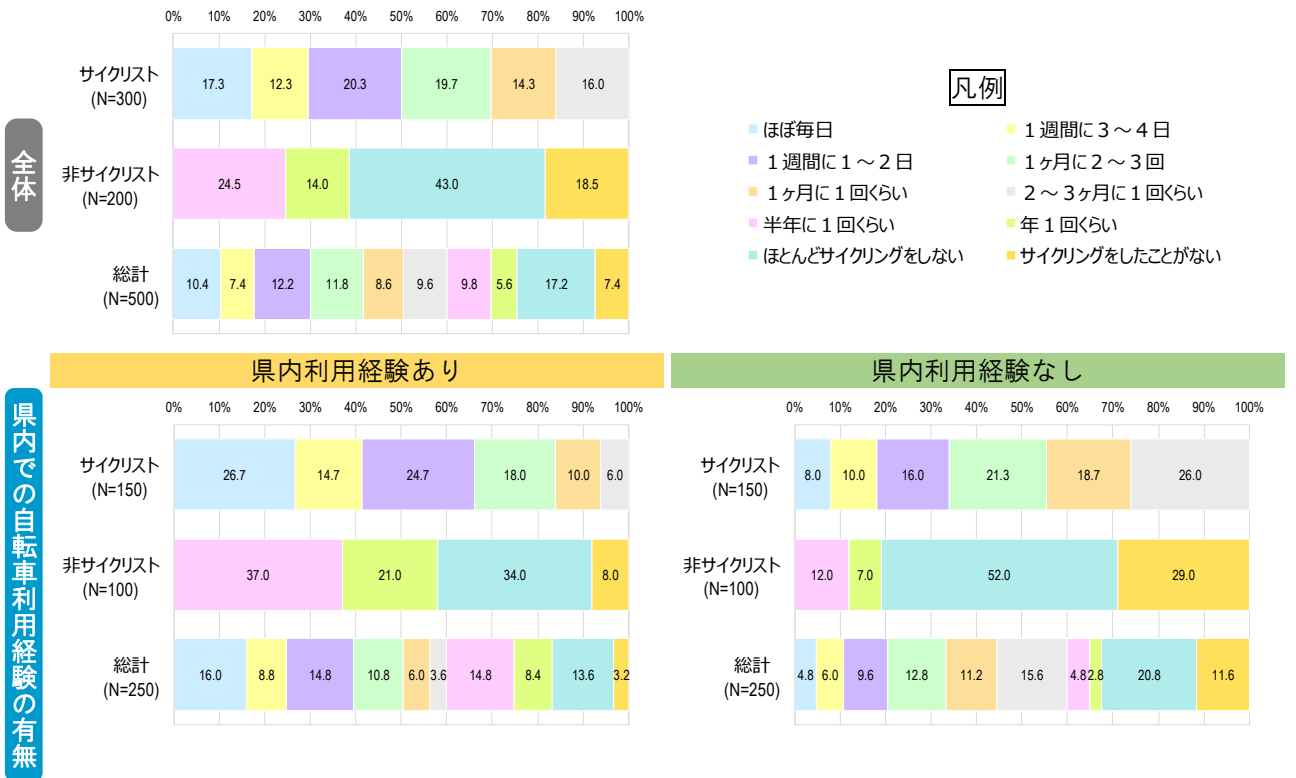
SC1：あなたのお住まいの都道府県をお教えてください。

- 全体をみると、「東京都」が 39.2%で最も多く、「千葉県」が 18.8%、「埼玉県」が 17.0%、「神奈川県」が 15.2%と続く。



SC2：普段、観光・レジャーや走ることを目的としたサイクリングをする頻度をお教えてください。

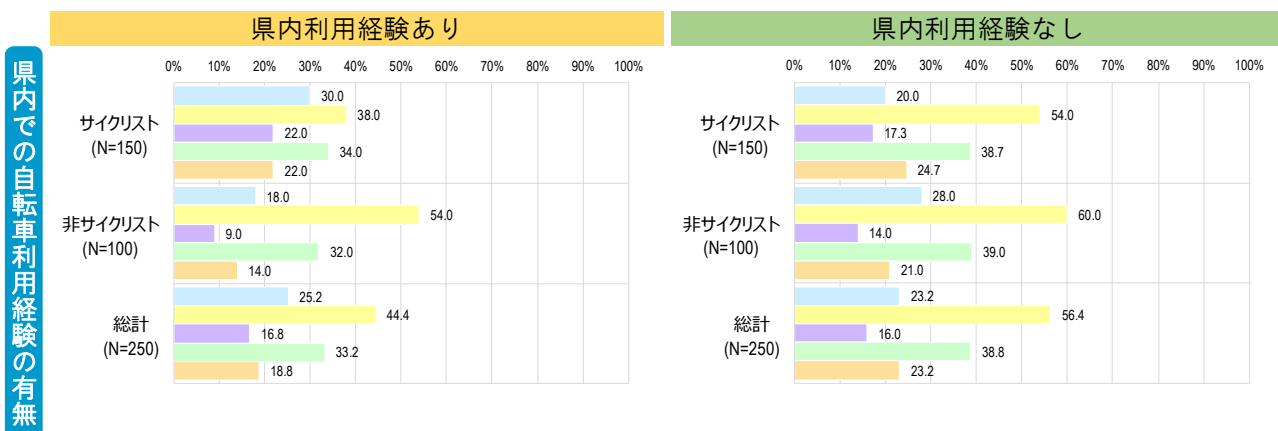
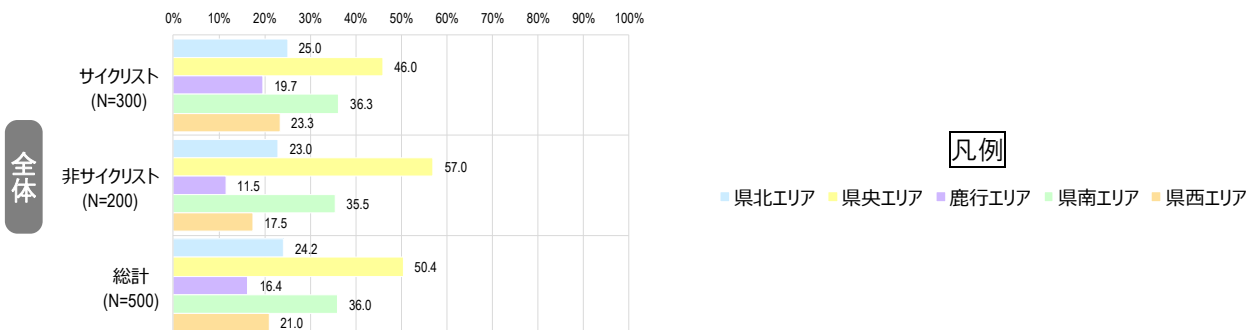
- 全体でみると、サイクリストについては、いずれの頻度についても一定割合の回答者がいる。非サイクリストについては、「ほとんどサイクリングをしない」方が約40%を占める。
- 県内での自転車利用経験者のうち、サイクリストの約8割は、1ヶ月2～3回以上サイクリングを行うと回答している。非サイクリストについては、年1回以上サイクリングする人が全体の約6割を占める。
- 県内での自転車利用経験がない方については、非サイクリストのうち、「ほとんどサイクリングをしない」、「サイクリングをしたことがない」方が約8割を占める。



■茨城県でのサイクリング実態・実施意向

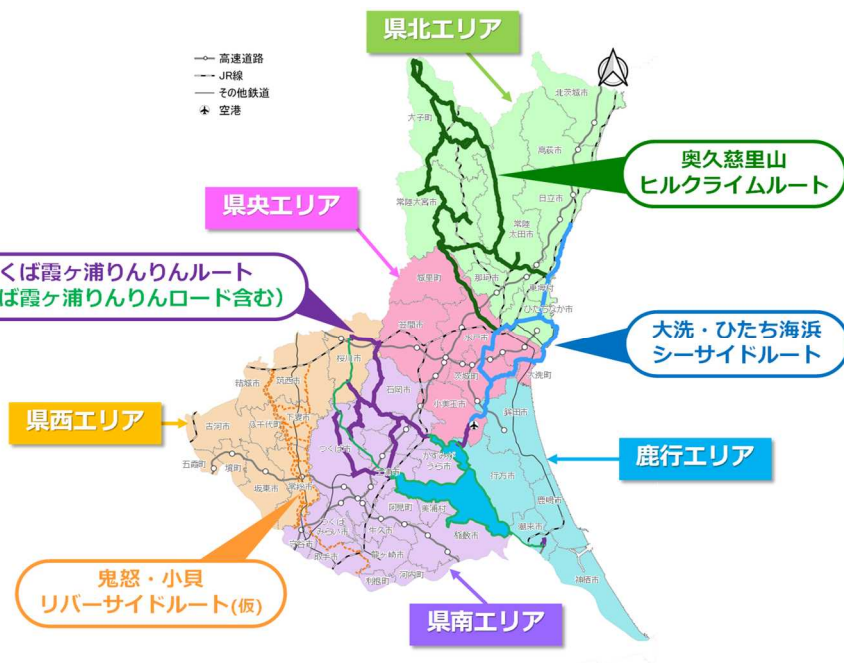
問1：直近で茨城県内を訪れた際に、来訪した地域をお教えてください。（いくつでも）

- サイクリスト・非サイクリストや県内での自転車利用経験の有無にかかわらず、いずれも「県央エリア」への来訪が約4割～約6割と最も多く、ついで「県南エリア」への来訪が多かった。



※各エリアに含まれる市町村は以下のとおり。

- 県北エリア：日立市／常陸太田市／高萩市／北茨城市／常陸大宮市／大子町
- 県央エリア：水戸市／笠間市／ひたちなか市／那珂市／小美玉市／茨城町／大洗町／城里町／東海村
- 鹿行エリア：鹿嶋市／潮来市／神栖市／行方市／銚田市
- 県南エリア：土浦市／石岡市／龍ヶ崎市／取手市／牛久市／つくば市／守谷市／稲敷市／かすみがうら市／つくばみらい市／美浦村／阿見町／河内町／利根町
- 県西エリア：古河市／結城市／下妻市／常総市／筑西市／桜川市／坂東市／五霞町／境町／八千代町



問2：茨城県内の滞在中に自転車を利用することを検討しましたか。

- サイクリスト・非サイクリストにかかわらず、「自転車の利用を検討もしなかった」方がいずれも 80% 以上を占める。

※SC4 で、「利用した」(=県内利用経験あり)と回答した人は、回答対象外のため除く

全体

「県内利用経験なし」と同様

凡例

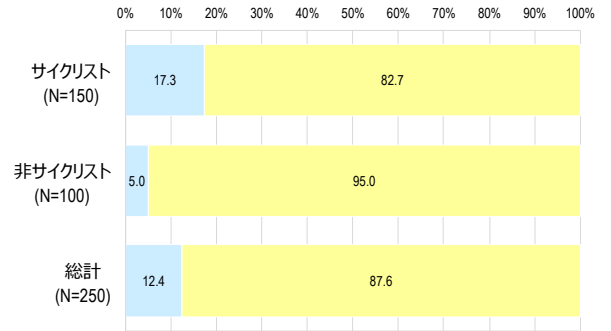
■ 自転車の利用を検討したがやめた ■ 自転車の利用の検討もしなかった

県内での自転車利用経験の有無

県内利用経験あり

県内利用経験なし

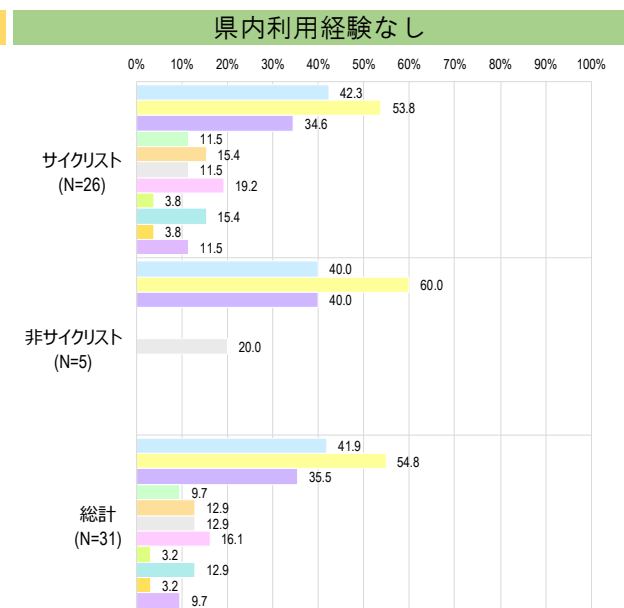
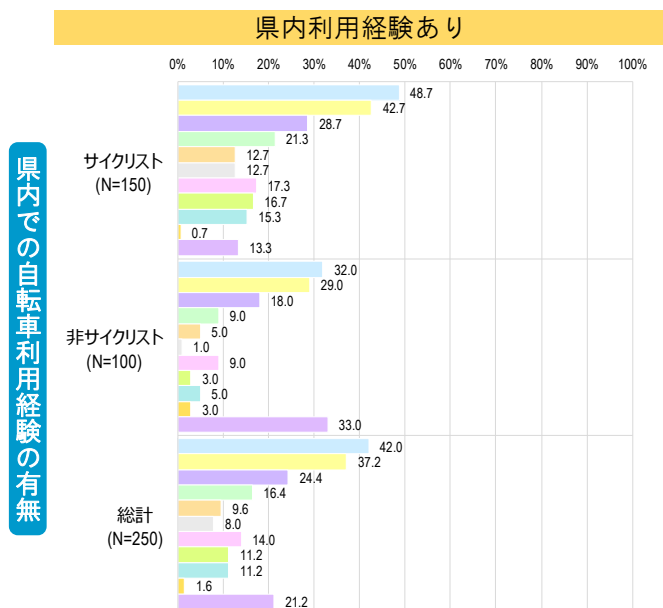
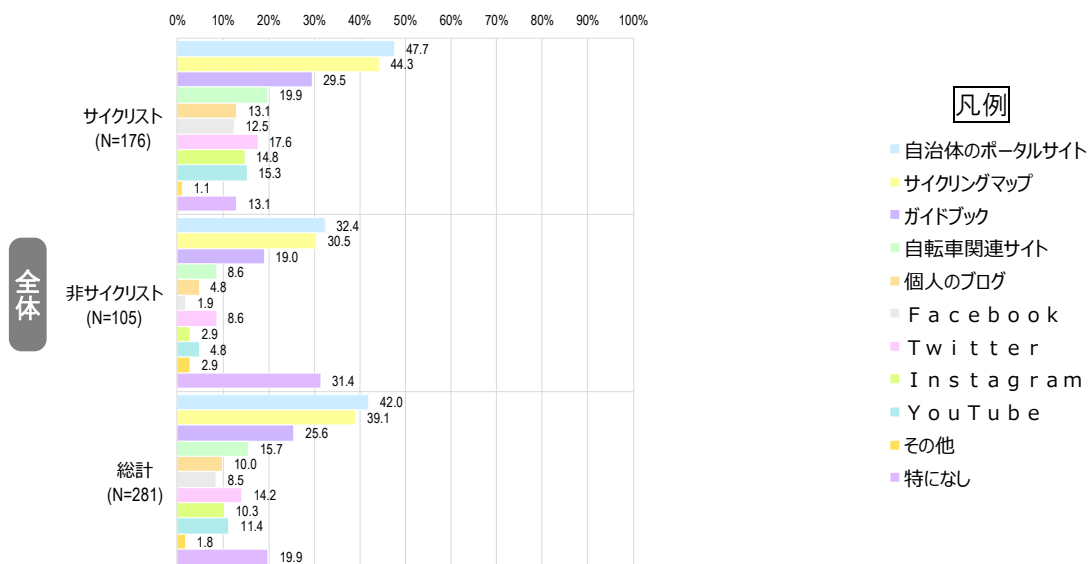
回答対象外



問3：県内での自転車利用を検討するにあたり、利用した媒体をお教えてください。（いくつでも）

- 全体をみると、サイクリスト・非サイクリストにかかわらず、「自治体のポータルサイト」が最も多く、ついで「サイクリングマップ」の利用が多い。また、非サイクリストと比較して、サイクリストは個人ブログや、Facebook、Twitter 等の SNS を利用したと回答した割合が高い。
- 県内での自転車利用経験者は「自治体のポータルサイト」を利用する割合が最も高い一方で、利用経験のない方は「サイクリングマップ」を利用する割合が最も高い。

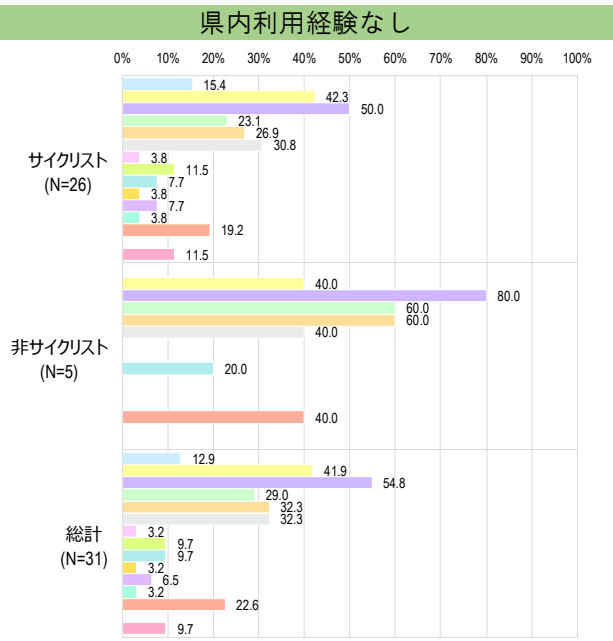
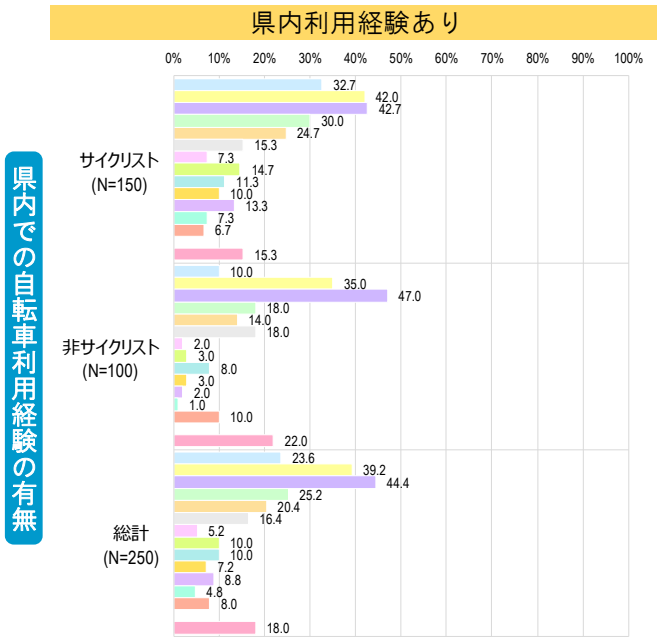
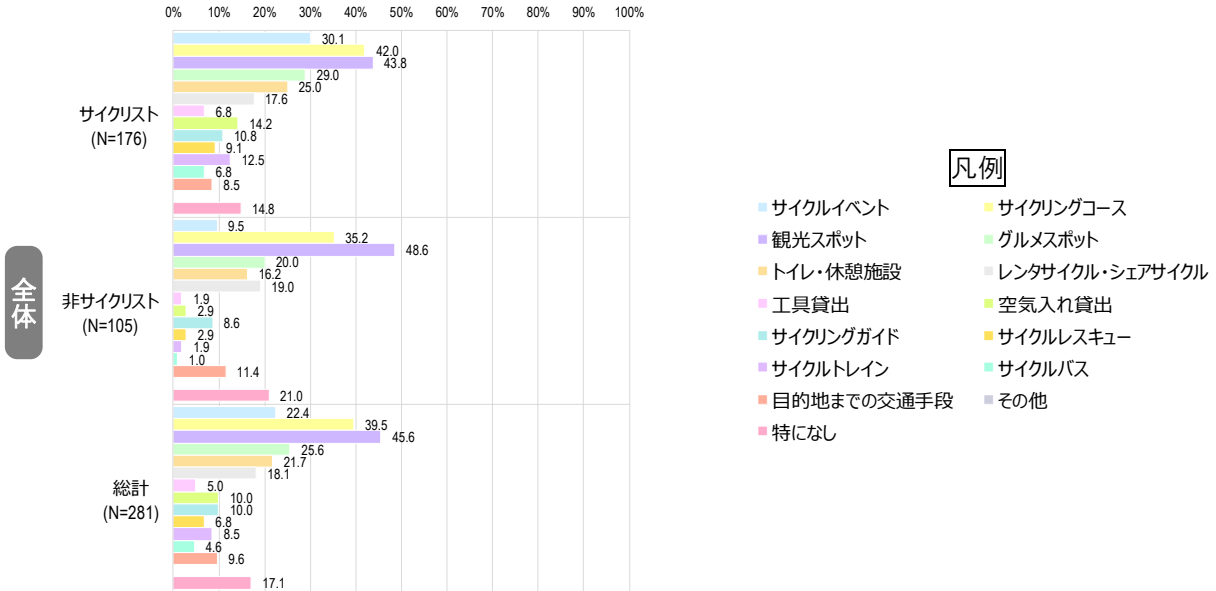
※問2で「自転車の利用の検討もしなかった」と回答した人は、回答対象外のため除く



問4：県内での自転車利用を検討するにあたり、収集した情報をお教えてください。

- 全体をみると、サイクリスト・非サイクリストにかかわらず「観光スポット」について情報収集したとの回答が最も多い。サイクリストは「サイクリングコース」、「サイクルイベント」との回答が続く一方で、非サイクリストは「サイクリングコース」との回答が続く。

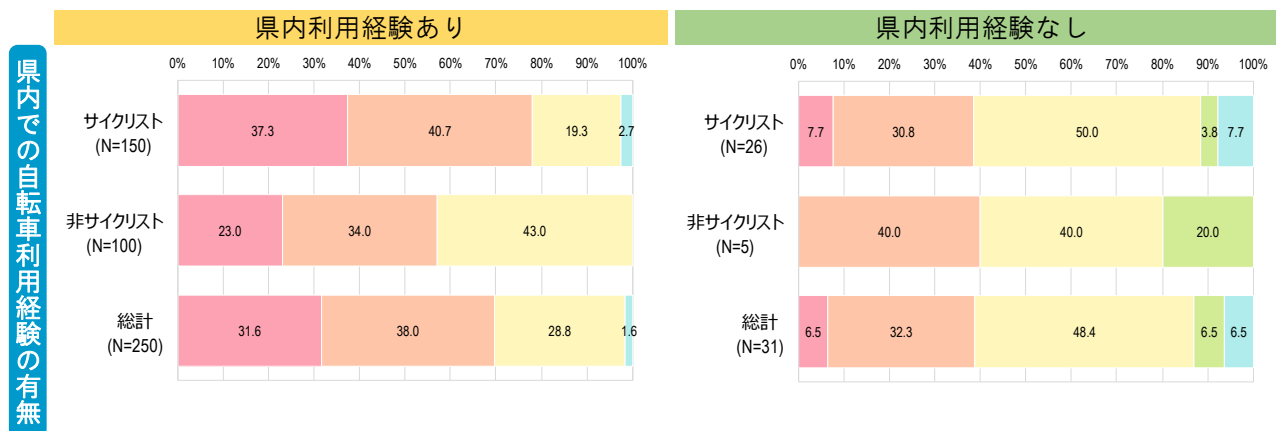
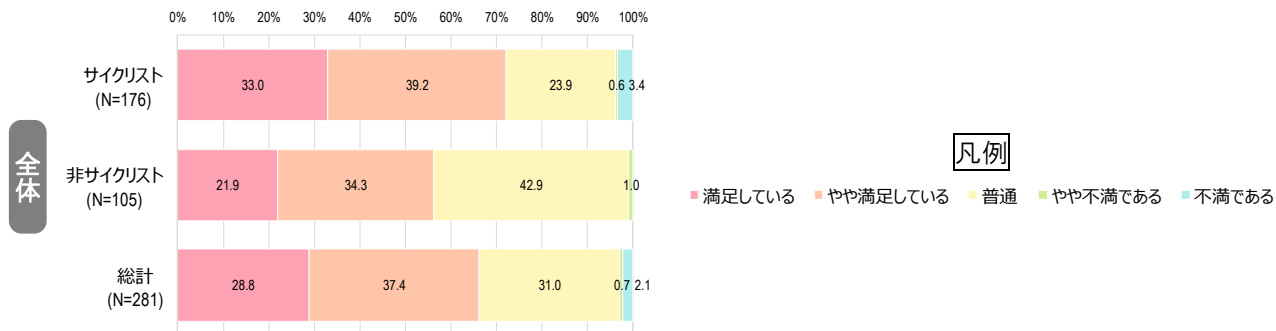
※問2で「自転車の利用の検討もしなかった」と回答した人は、回答対象外のため除く



問5：県内での自転車利用を検討した際の、サイクリング情報のわかりやすさの満足度をお教えください。

- 全体をみると、サイクリング情報のわかりやすさについて、「満足」「やや満足」と回答した人の割合は、全体で約6割であり、サイクリストの方が非サイクリストよりも16ポイント高い。

※問2で「自転車の利用の検討もしなかった」と回答した人は、回答対象外のため除く



問6：問2で「1. 自転車の利用を検討したがやめた」と回答した人にお伺いします。どのような整備・サービスがあれば、自転車を利用したいと思いますか。（いくつでも）

- 全体をみると、「安全で快適に走れる通行環境が整っていること」を求める声が 48.4%と最も多く、「レンタサイクルやシェアサイクルが充実していること」が 45.2%と続く。

※問2で「1. 自転車の利用を検討したがやめた」と回答した人のみ対象

全体

「県内利用経験なし」と同様

凡例

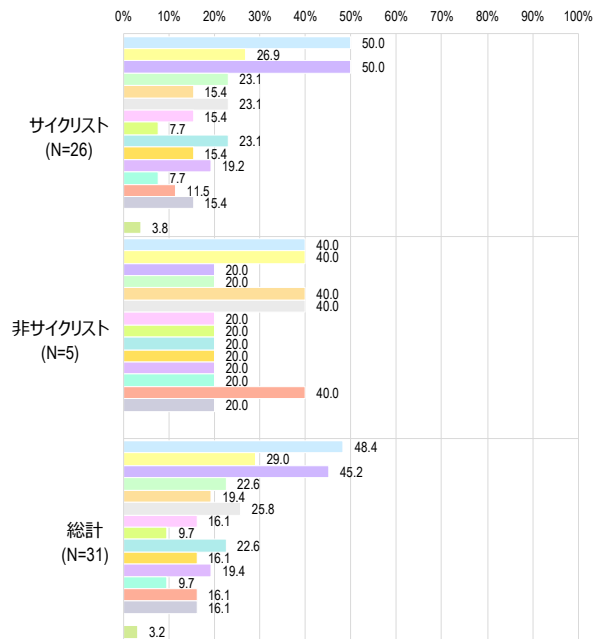
- 安全で快適に走れる通行環境が整っていること
- 案内サインが充実していて迷わずに走れる環境が整っていること
- レンタサイクルやシェアサイクルが充実していること
- ロッカーや更衣室、シャワールームが充実していること
- 手荷物預かりや配送サービスが充実していること
- サイクリングルート上に休憩できる施設が充実していること
- 自転車を持ち込めるなど自転車利用者にやさしい宿泊施設が充実していること
- ガイドによるサイクリングツアーが充実していること
- 鉄道やバスに自転車を積み込める環境が充実していること
- 充電スポットが充実していること
- W i - F i スポットが充実していること
- 緊急時のサポート・レスキューサービスが充実していること
- 紙やW E B で利用できるサイクリングマップがあること
- W E B や S N S でサイクリングに関する情報が充実していること
- その他
- 特になし

県内利用経験あり

県内利用経験なし

県内での自転車利用経験の有無

回答対象外



問7：問2で「2. 自転車の利用の検討もしなかった」を回答した人にお伺いします。自転車の利用を検討しなかった理由をお教えてください。（いくつでも）

- サイクリスト・非サイクリストにかかわらず「他の交通手段の方が便利のため」に自転車の利用を検討しなかった人が最も多く、次に「自転車を利用して、どのような旅行・レジャーができるかイメージがなかったため」という理由が多い。

※問2で「2. 自転車の利用の検討もしなかった」と回答した人のみ回答対象

全体

「県内利用経験なし」と同様

凡例

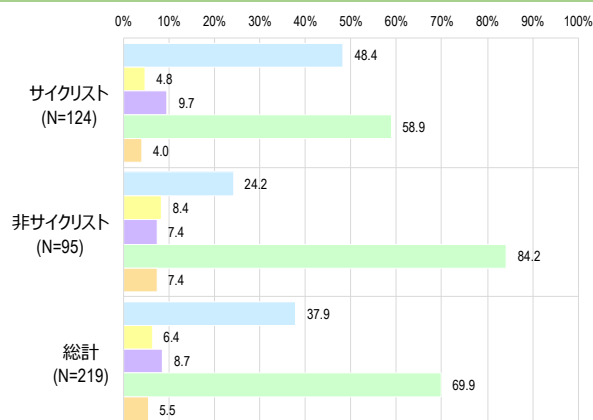
- 自転車を利用して、どのような旅行・レジャーができるかイメージがなかったため
- ウェア等の荷物が多くなるため
- サイクリングの計画等を立てることが手間だったため
- 他の交通手段の方が便利のため
- その他

県内利用経験あり

県内利用経験なし

県内での自転車利用経験の有無

回答対象外



問8：2019年4月以降に、観光・レジャー目的で茨城県内を訪れた際に自転車を利用した人に伺います。茨城県内の滞在中に、どのような目的で自転車を利用しましたか。

- ・ 圏内滞在中の自転車利用目的として、サイクリストは「個人で計画したサイクリング・ツーリングのため」が28.7%で最も多く、「レースイベント参加やトレーニングのため」が25.3%と続く。非サイクリストは「観光時の移動手段」が38.0%で最も多く、「個人で計画したサイクリング・ツーリングのため」が21.0%と続く。

※SC4で、「利用していない」と回答した人は、回答対象外のため除く

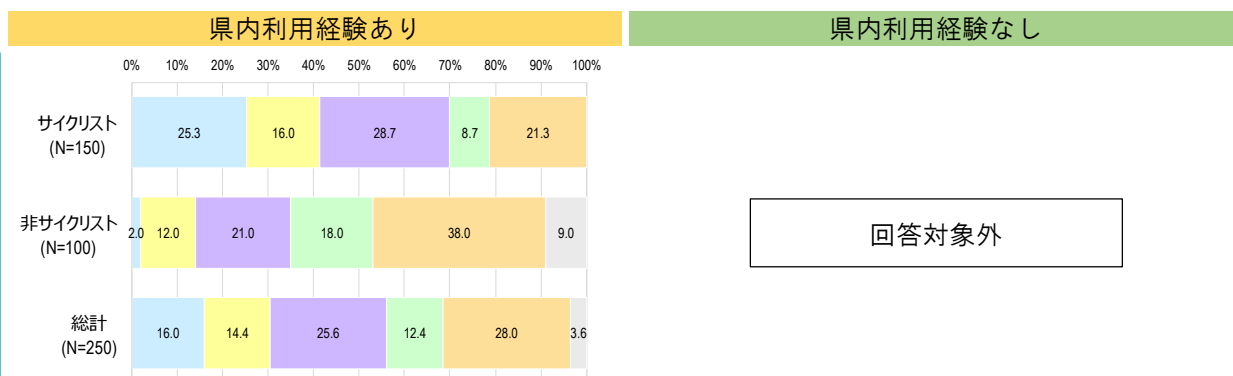
凡例

- レースイベント参加やトレーニングのため
- サイクリングツアー参加のため
- 個人で計画したサイクリング・ツーリングのため
- ポタリング（まちなかの自転車散歩）のため
- 観光時の移動手段
- その他

全体

「県内利用経験あり」と同様

県内での自転車利用経験の有無

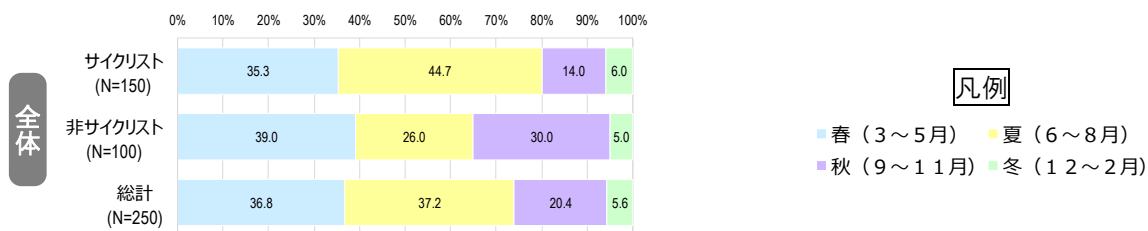


回答対象外

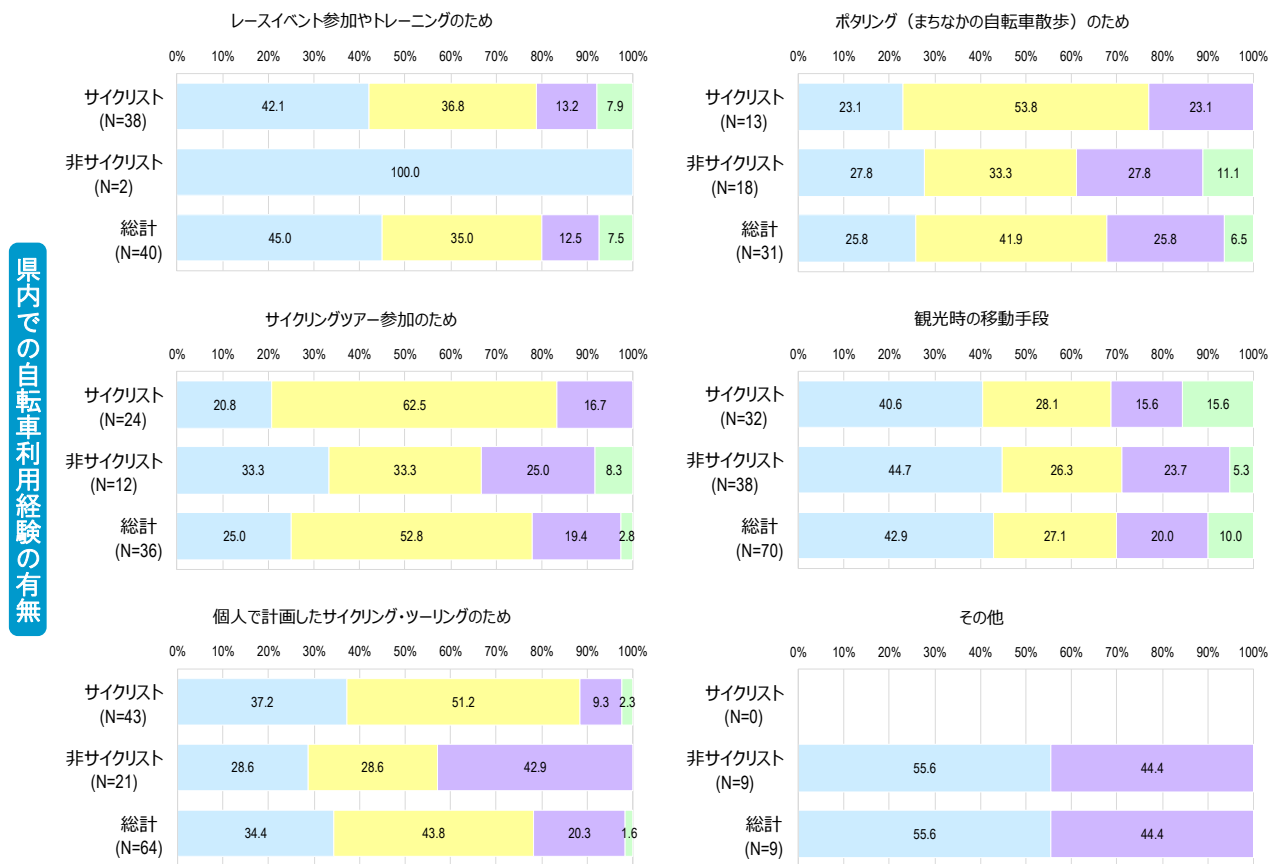
問9：問8の目的で茨城県内に滞在した時期をお教えてください。

- 全体をみると、サイクリストは「春・夏」の滞在が約 8 割を占める。非サイクリストについては、「春」について「秋」の滞在も多い。

※SC4 で、「利用していない」と回答した人は、回答対象外のため除く



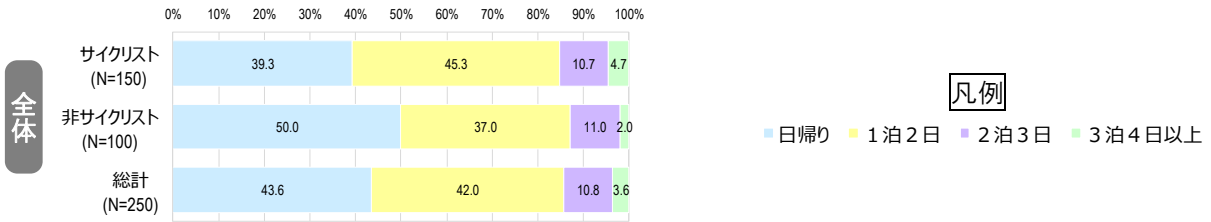
県内利用経験あり



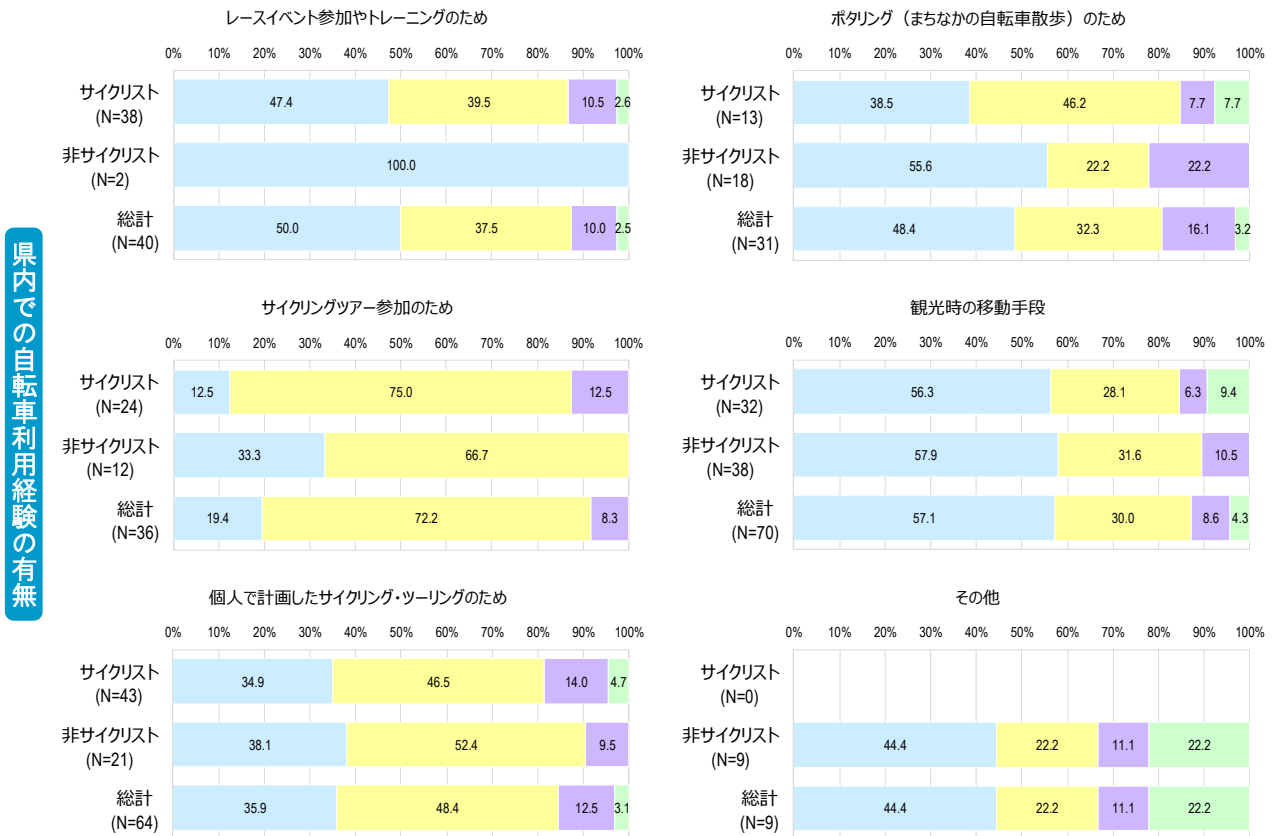
問10：問8の目的で茨城県内に滞在した日数をお教えてください。

- 全体をみると、サイクリストは約 4 割、非サイクリストは約 5 割が日帰り旅行となっている。宿泊する場合でも、大半が 1泊 2日での滞在である。

※SC4 で、「利用していない」と回答した人は、回答対象外のため除く



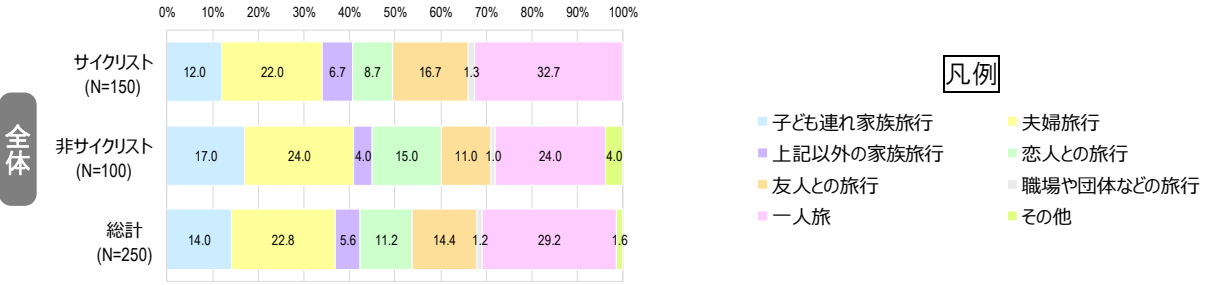
県内利用経験あり



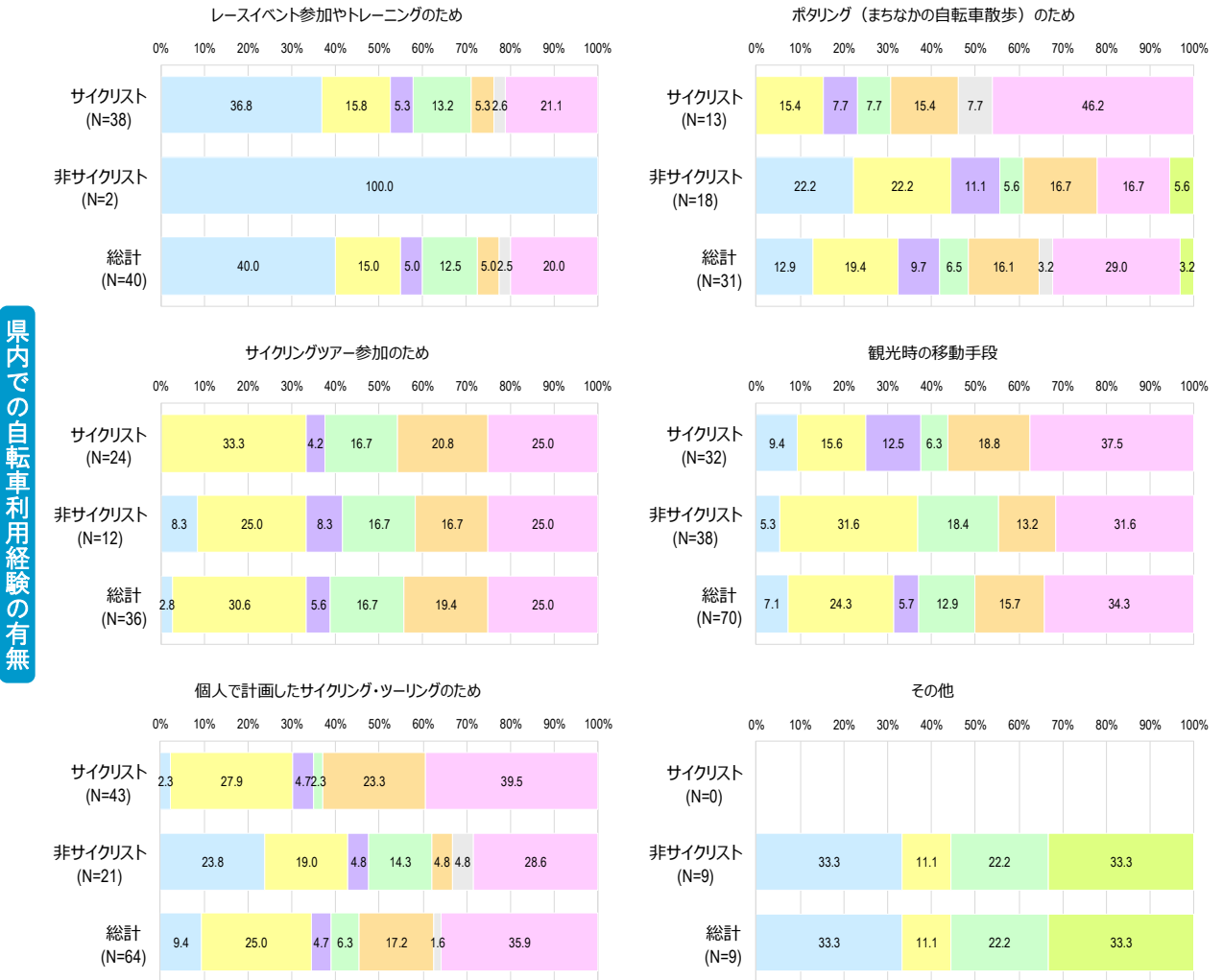
問11：問8の目的で茨城県内に滞在した際の旅行の種類をお教えてください。

- 全体をみると、「一人旅」が 29.2%と最も多く、「夫婦旅行」が 22.8%と続く。

※SC4 で、「利用していない」と回答した人は、回答対象外のため除く



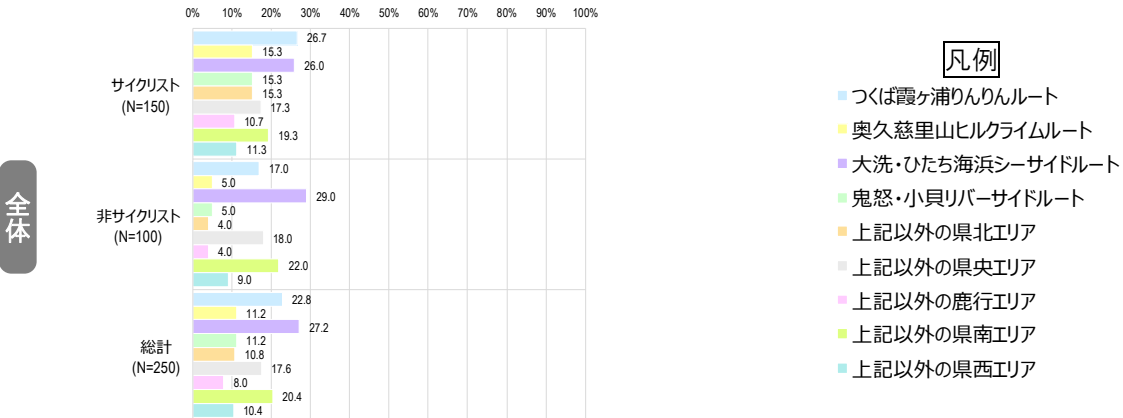
県内利用経験あり



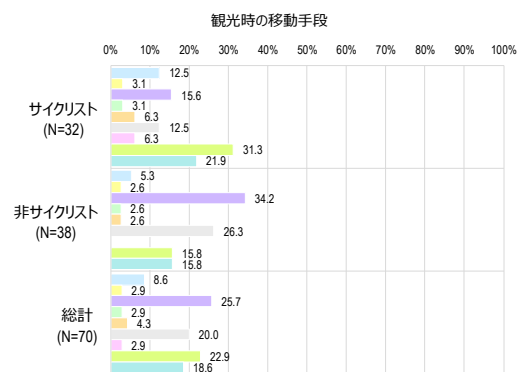
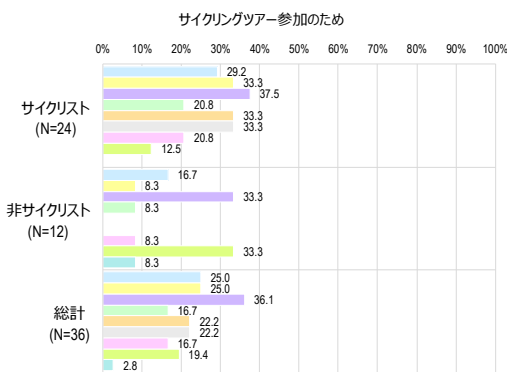
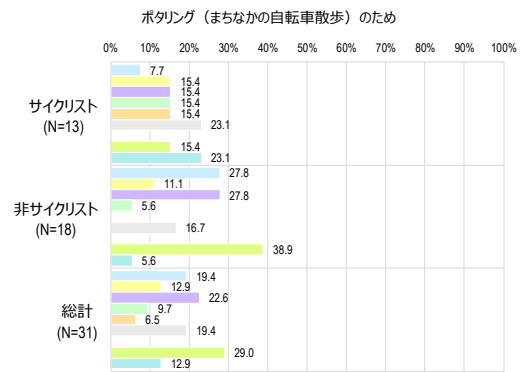
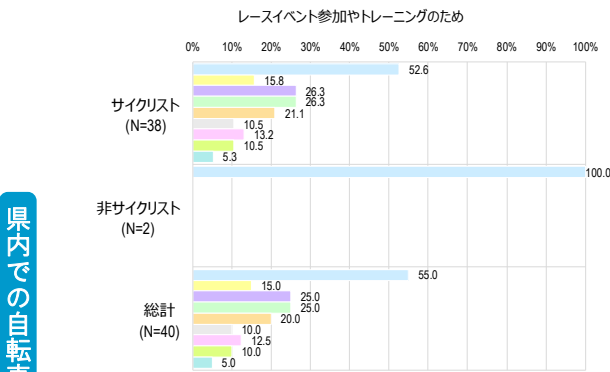
問12：問8の目的で茨城県内に滞在した際に、自転車を利用した地域をお教えてください。（いくつでも）

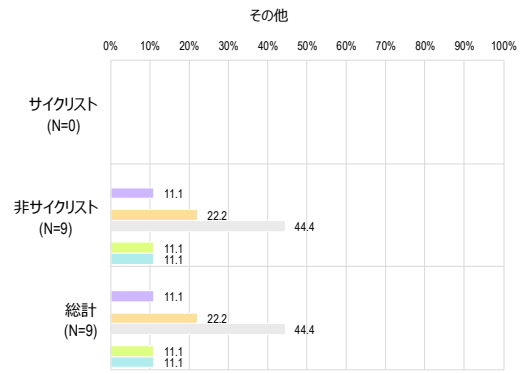
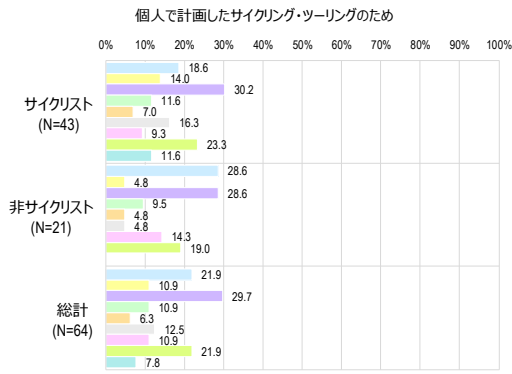
- 全体をみると、自転車を利用した地域として、「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」が 27.2%と最も多い。
- サイクリストについては、ついで「つくば霞ヶ浦りんりんルート」が 22.8%と多い一方で、非サイクリストについては、ついで「上記以外の県南エリア」が 22.0%と続く。

※SC4 で、「利用していない」と回答した人は、回答対象外のため除く



県内利用経験あり

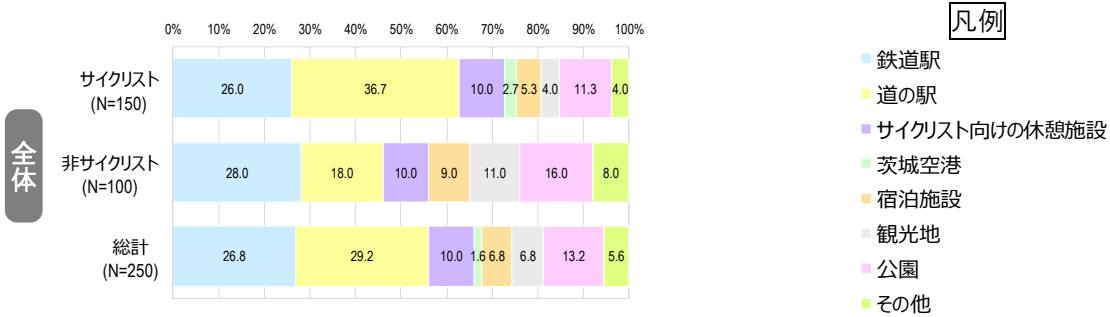




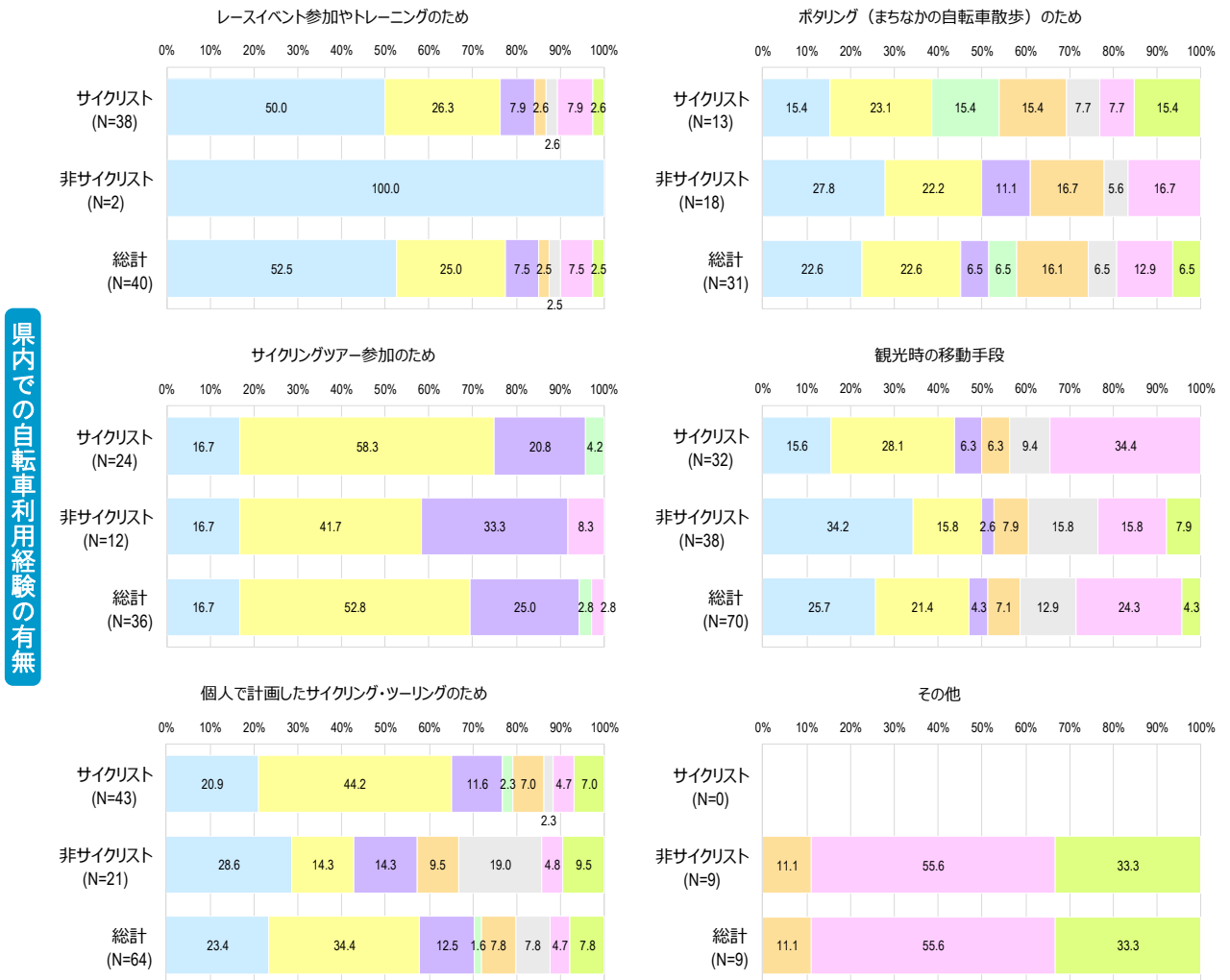
問13：問8の目的で自転車を利用した際のスタート地点をお教えてください。

- 全体をみると、サイクリストは「道の駅」をスタート地点とした割合が 36.7%で最も高く、「鉄道駅」が 26.0%と続く。非サイクリストは「鉄道駅」をスタート地点とした割合が 28.0%と最も高く、「道の駅」が 18.0%、「公園」が 16.0%と続く。

※SC4 で、「利用していない」と回答した人は、回答対象外のため除く



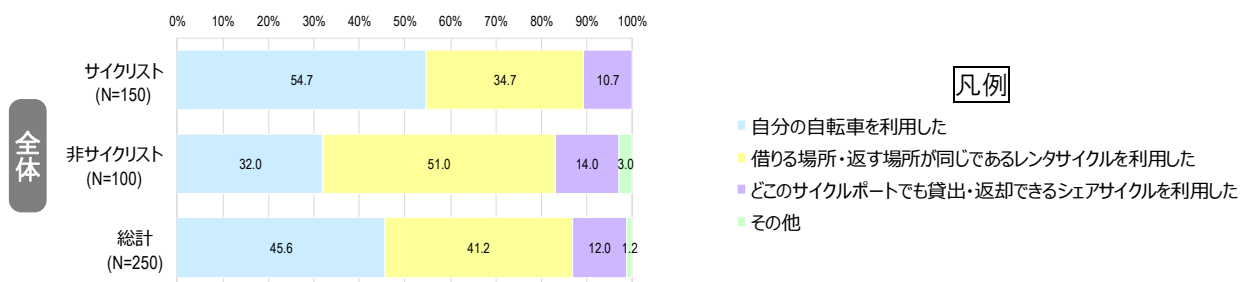
県内利用経験あり



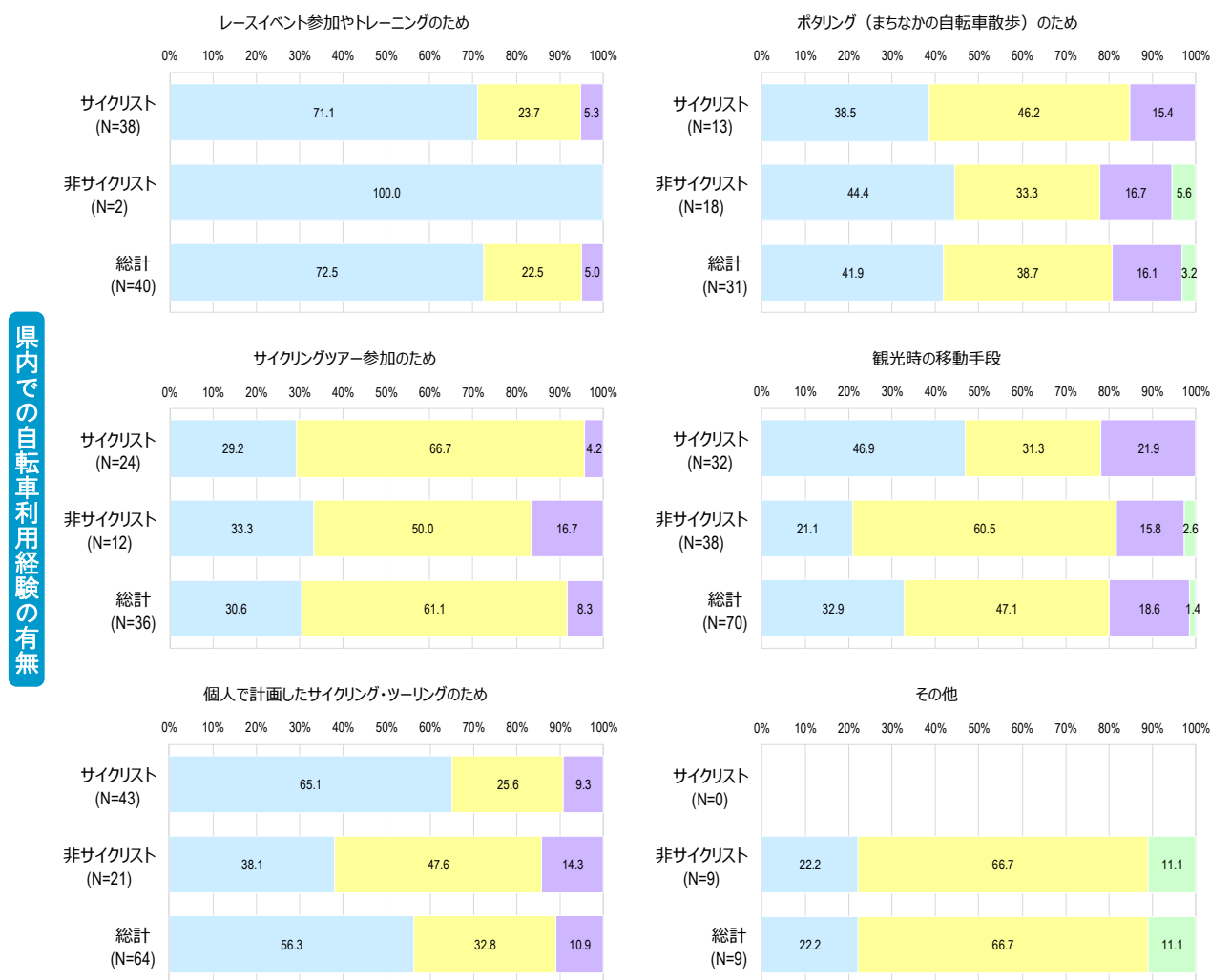
問14：問8の目的で自転車を利用した際の主な自転車の調達方法をお教えてください。

- 全体をみると、サイクリストは「自分の自転車を利用した」割合が 54.7%である一方、非サイクリストは「レンタサイクル」の利用が 51.0%を占めた。

※SC4 で、「利用していない」と回答した人は、回答対象外のため除く



県内利用経験あり

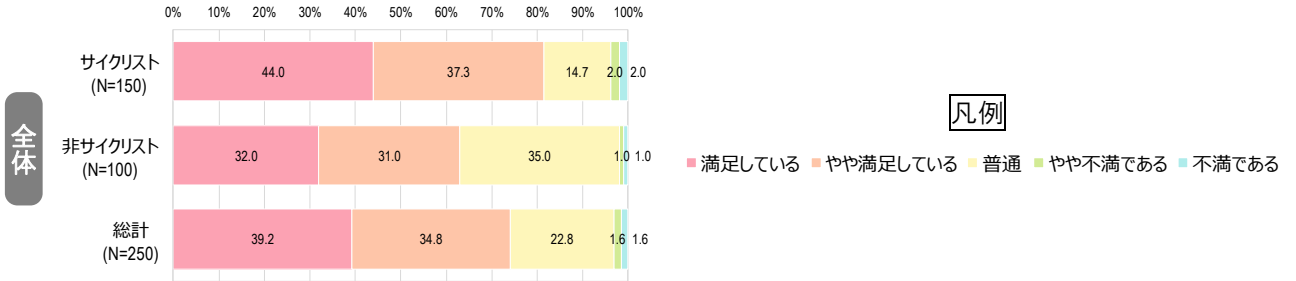


問15：問8の目的で自転車を利用した際の満足度をお教えてください。

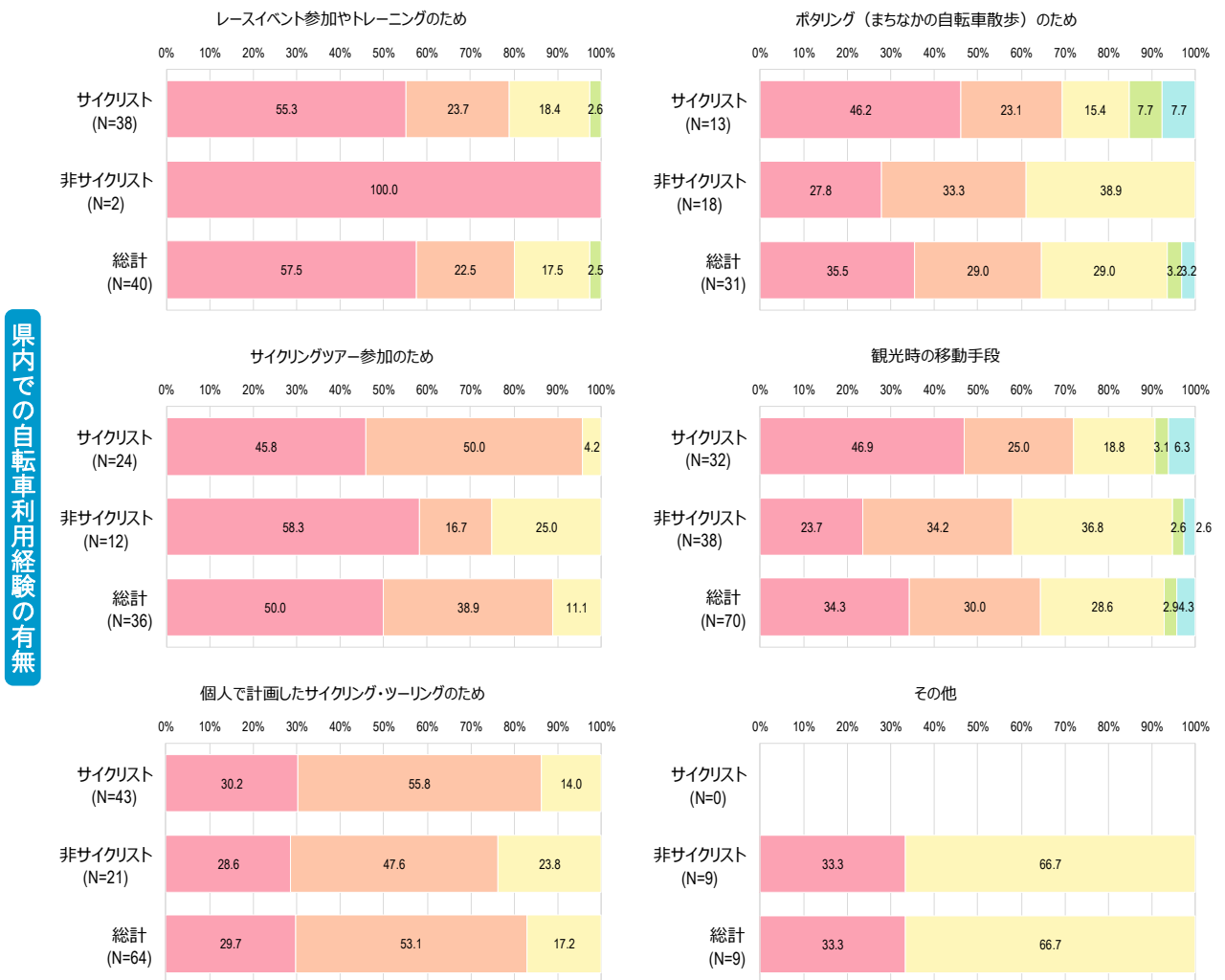
①県内のサイクリングの手軽さ

- 全体をみると、県内のサイクリングの手軽さに対して、「満足」と「やや満足」の割合は、サイクリストは77.3%、非サイクリストは63.0%を占める。

※SC4で、「利用していない」と回答した人は、回答対象外のため除く



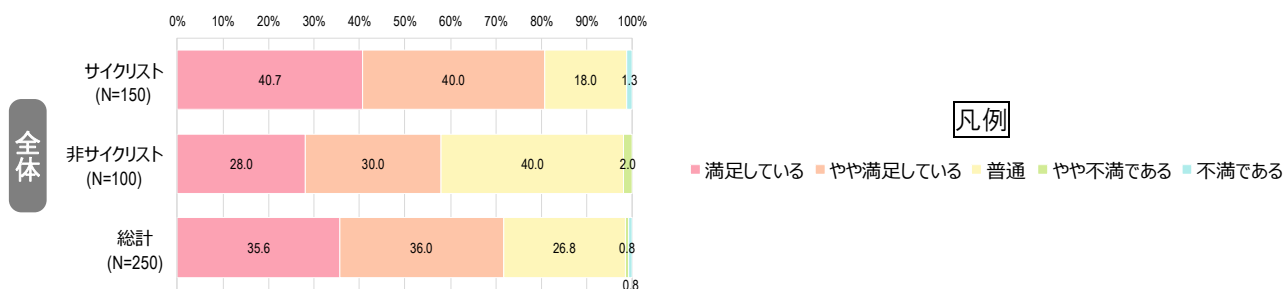
県内利用経験あり



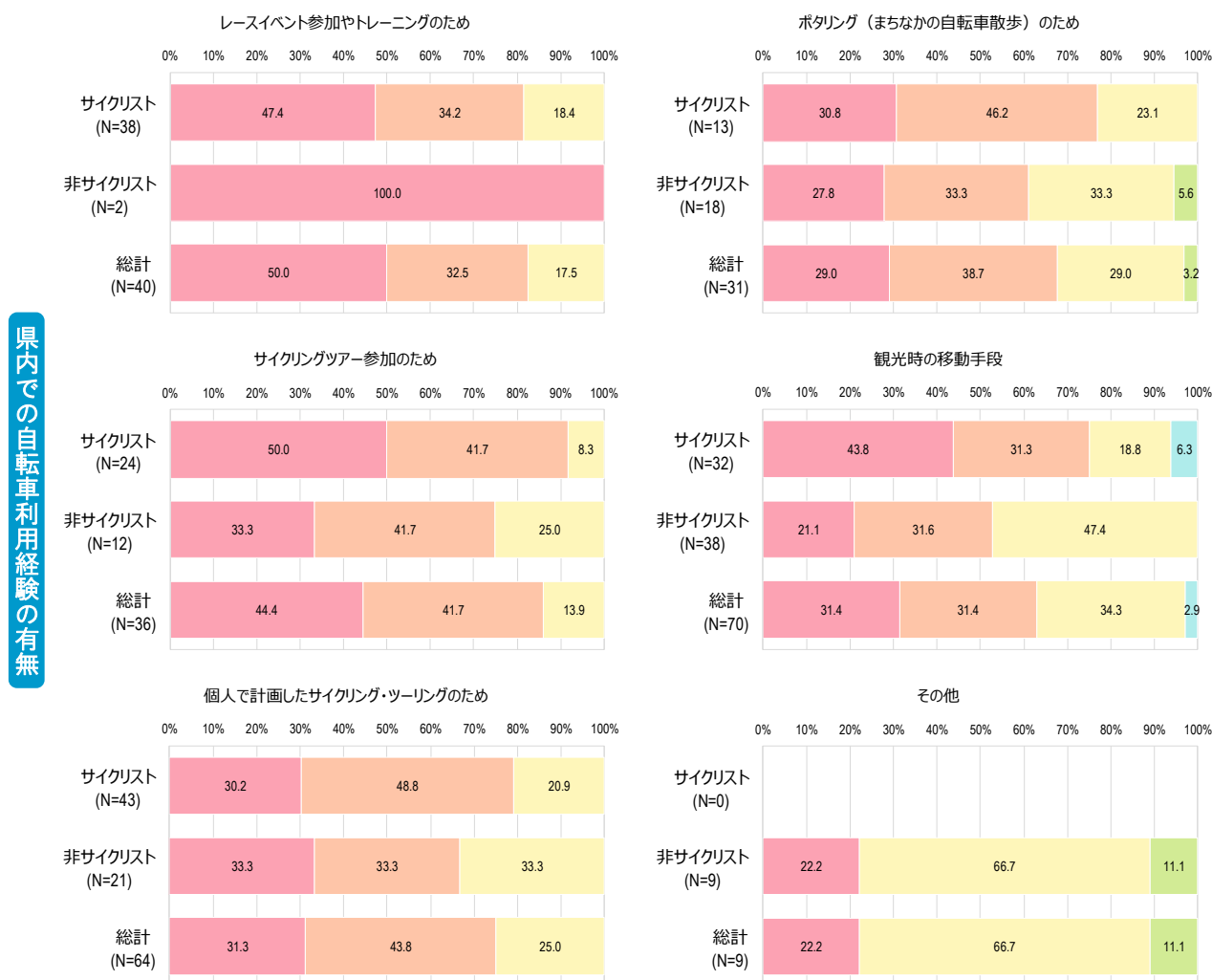
②県内サイクリングの、スタート地点までの交通アクセス

- 全体をみると、県内サイクリングのスタート地点までの交通アクセスに対して、「満足」と「やや満足」の割合は、サイクリストは80.7%、非サイクリストは58.0%を占める。

※SC4で、「利用していない」と回答した人は、回答対象外のため除く



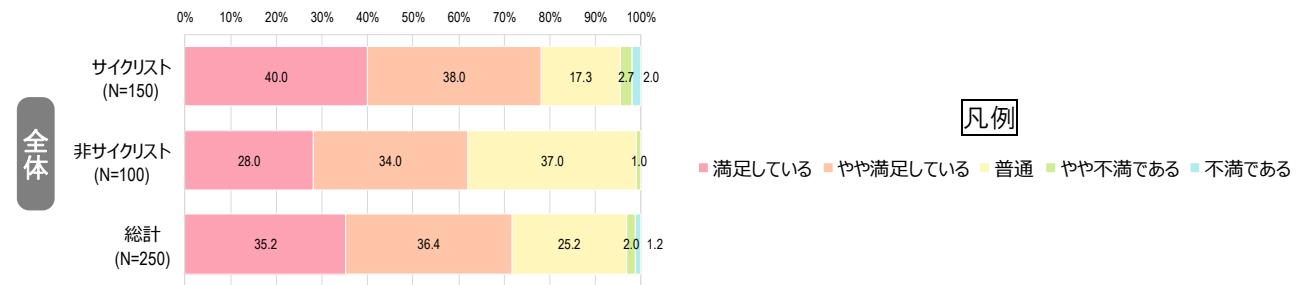
県内利用経験あり



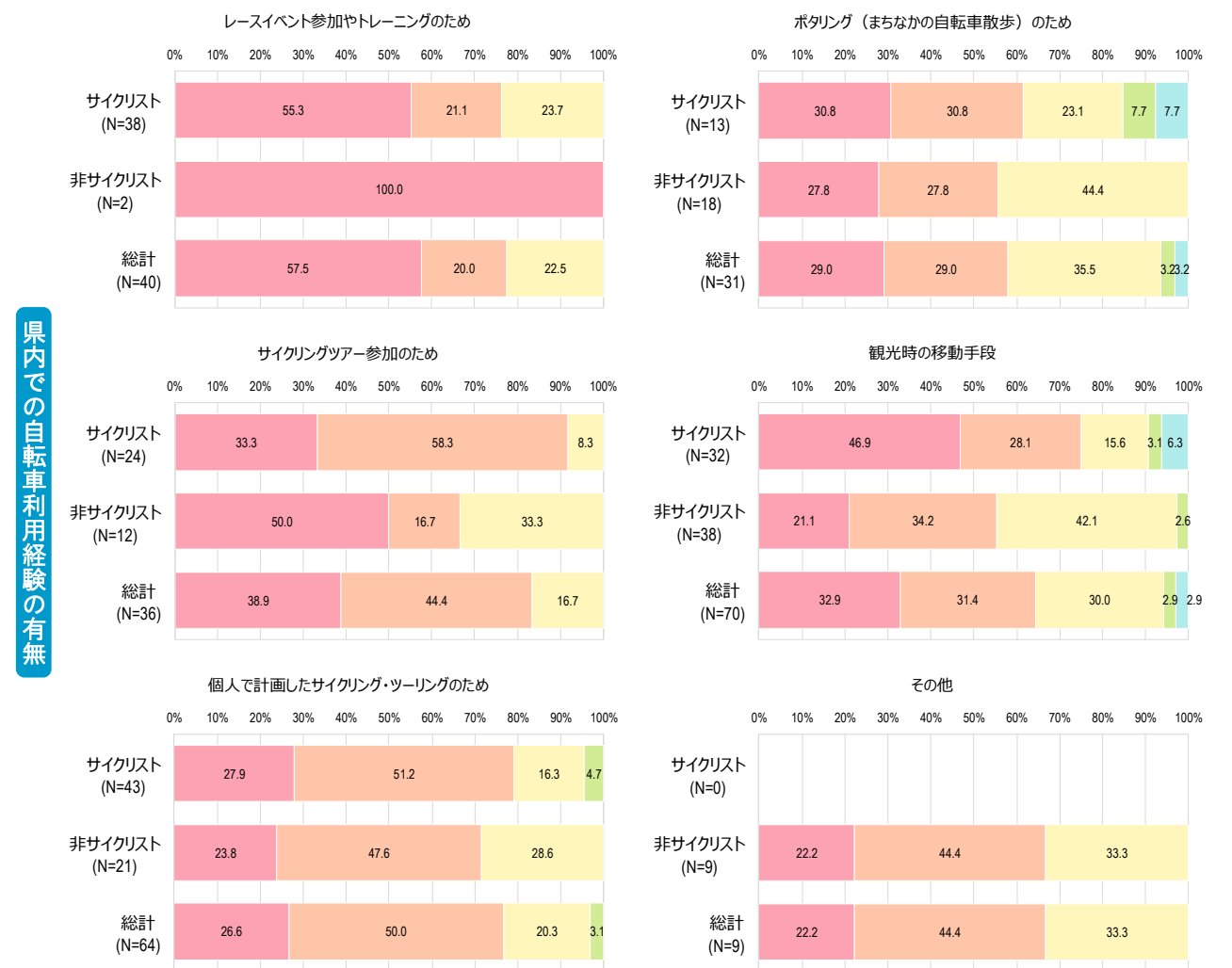
③安心してサイクリングを楽しめる事

- 全体をみると、安心してサイクリングを楽しめる事に対して、「満足」と「やや満足」の割合は、「サイクリスト」は78.0%、「非サイクリスト」は62.0%を占める。

※SC4で、「利用していない」と回答した人は、回答対象外のため除く



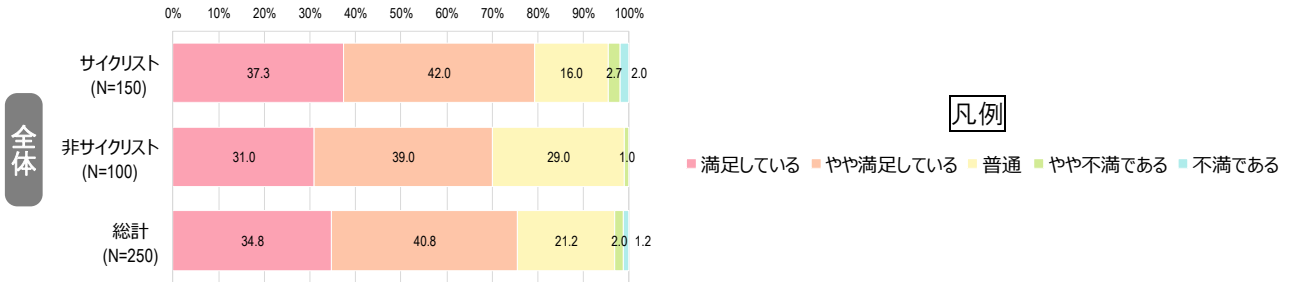
県内利用経験あり



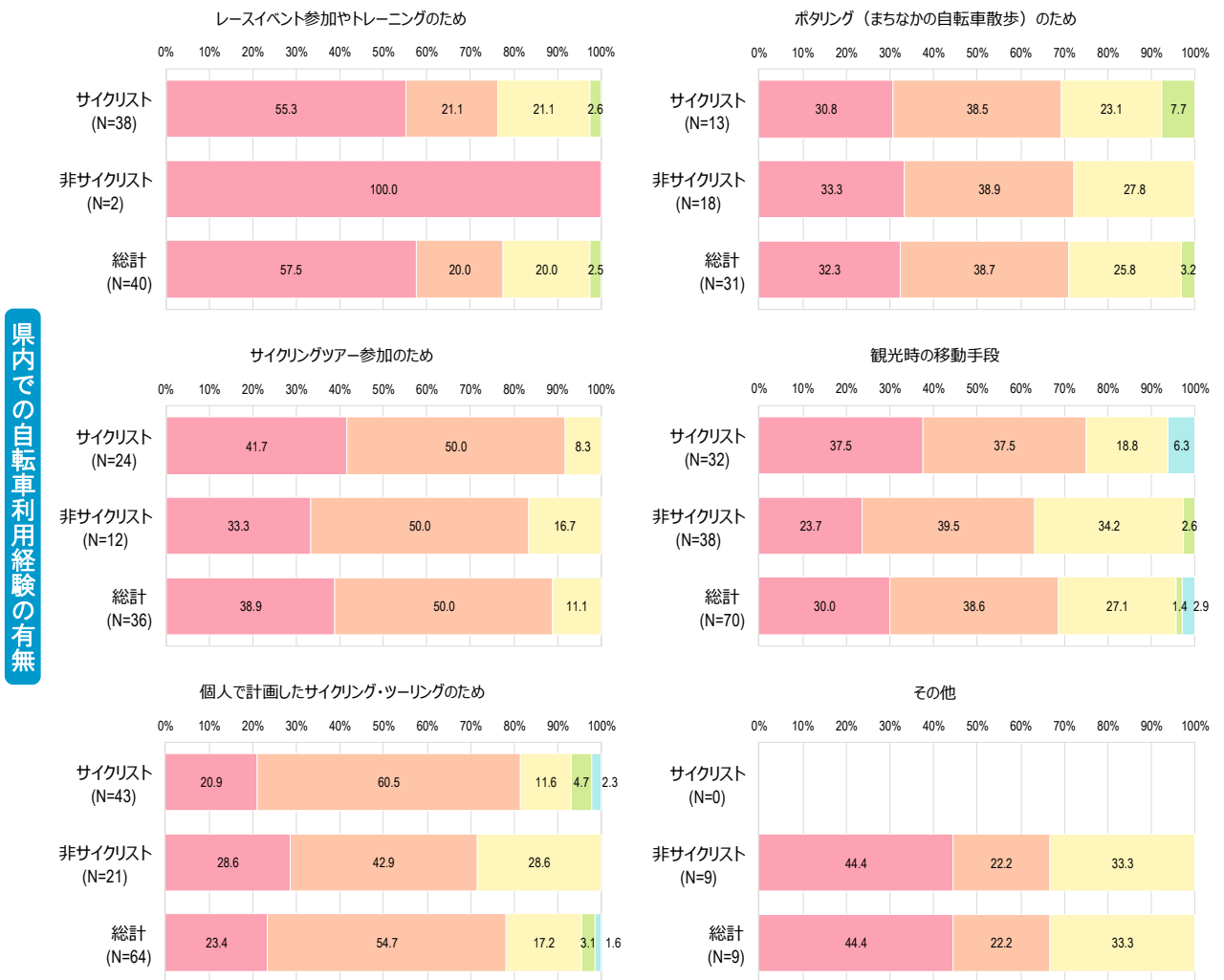
④総合的な満足度

- 全体をみると、県内のサイクリングの総合的な満足度に対して、「満足」と「やや満足」の割合は、「サイクリスト」は79.3%、「非サイクリスト」は70.0%を占める。

※SC4で、「利用していない」と回答した人は、回答対象外のため除く



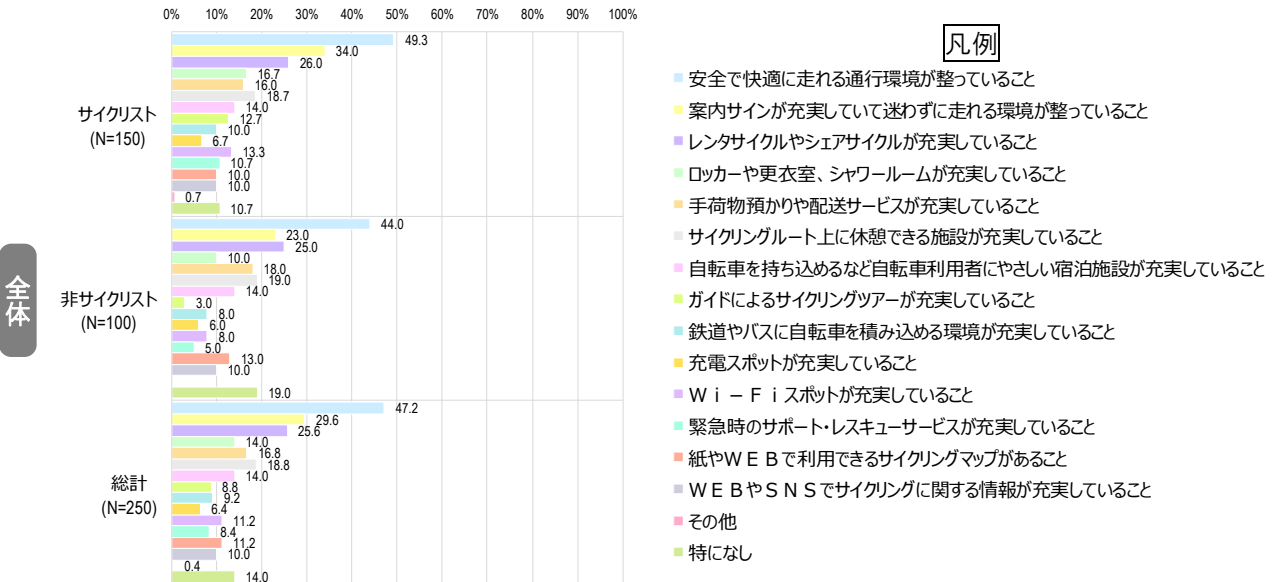
県内利用経験あり



問16：問8の目的で自転車を利用した際に、改善が必要だと感じた整備・サービスについてお教えてください。（いくつでも）

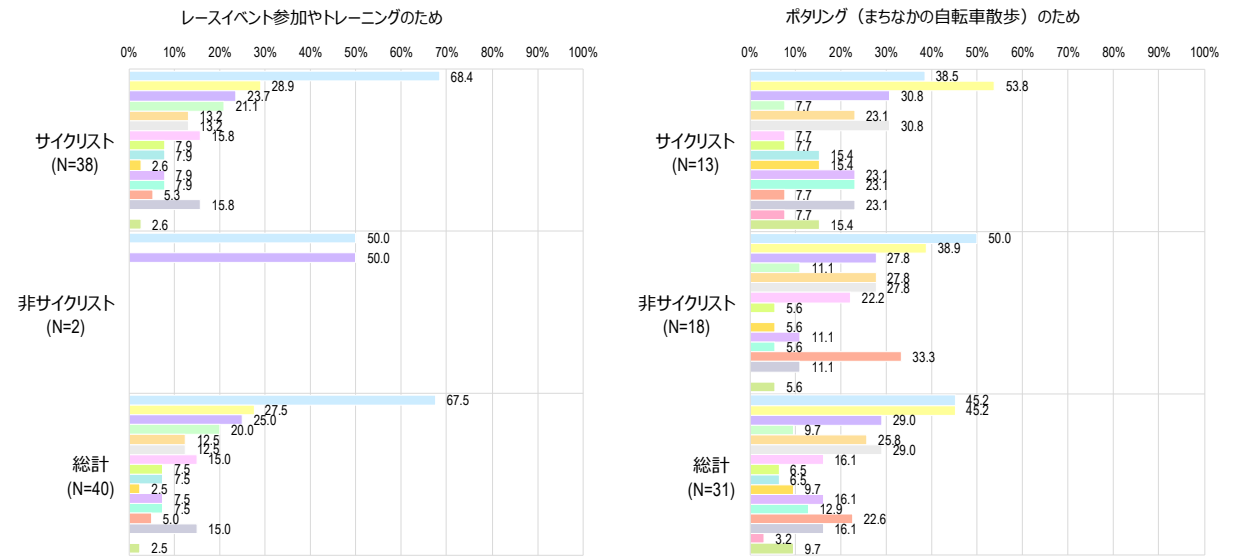
- 全体をみると、「安全で快適に走れる通行環境が整っていること」を求める声が 47.2%と最も多く、「案内サインが充実していて迷わずに走れる環境が整っていること」(29.6%)、「レンタサイクルやシェアサイクルが充実していること」(25.6%)と続く。

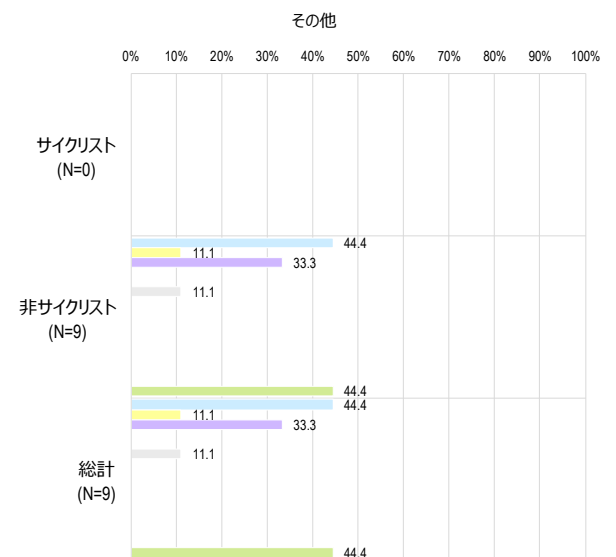
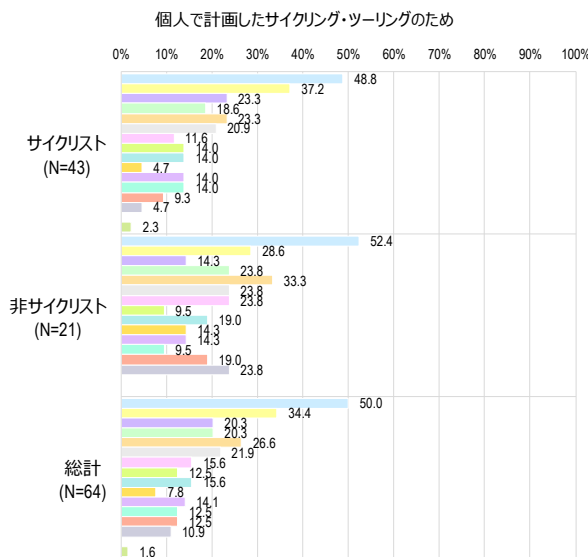
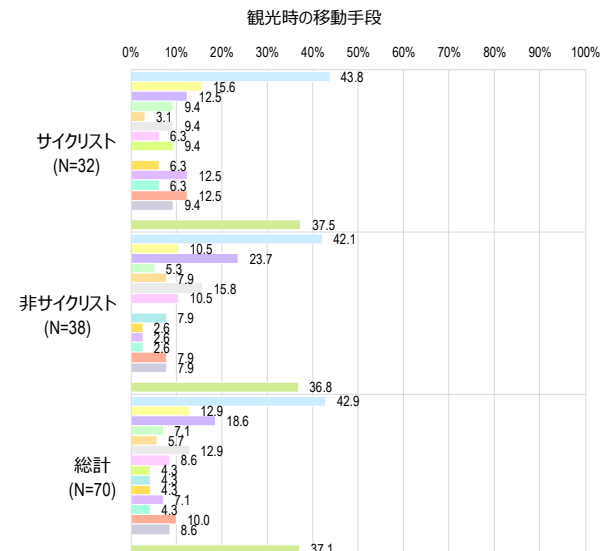
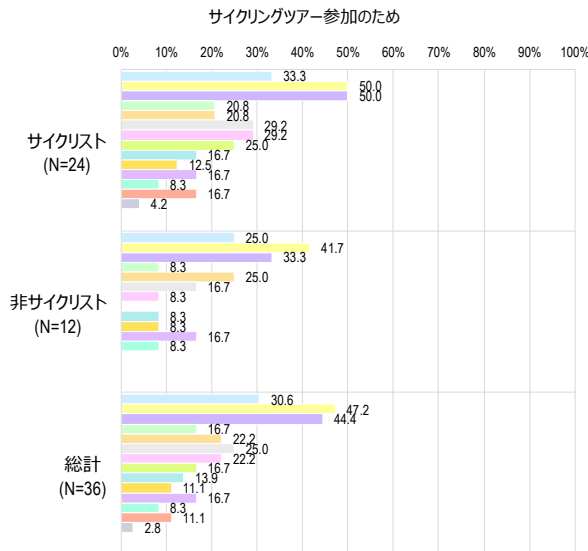
※SC4で、「利用していない」と回答した人は、回答対象外のため除く



県内での自転車利用経験の有無

県内利用経験あり

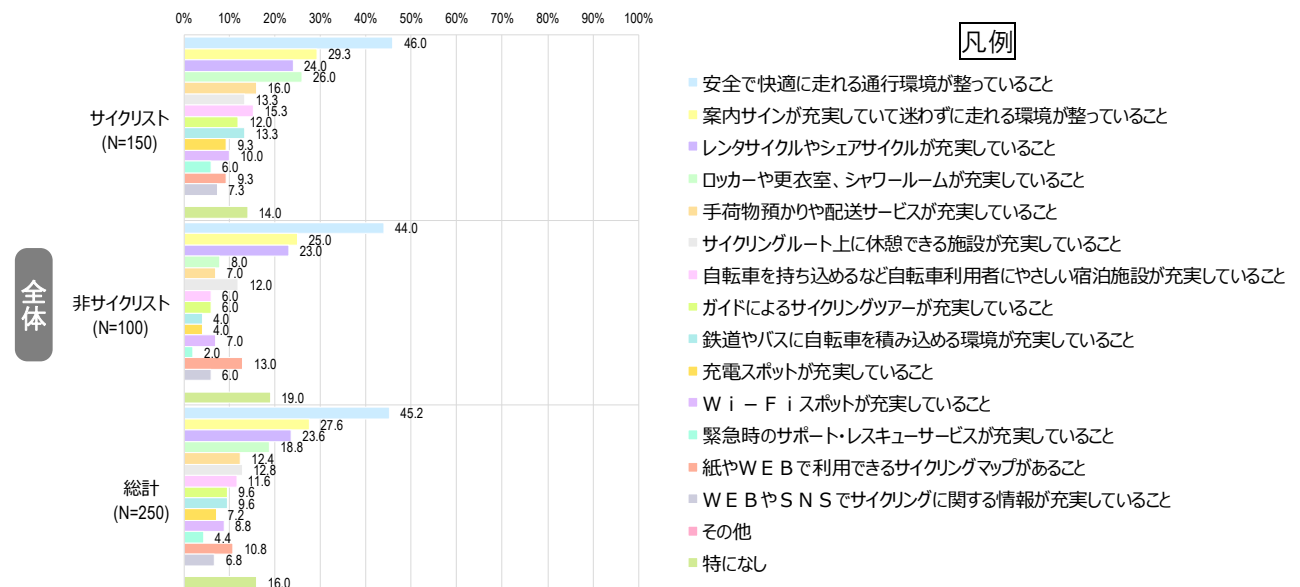




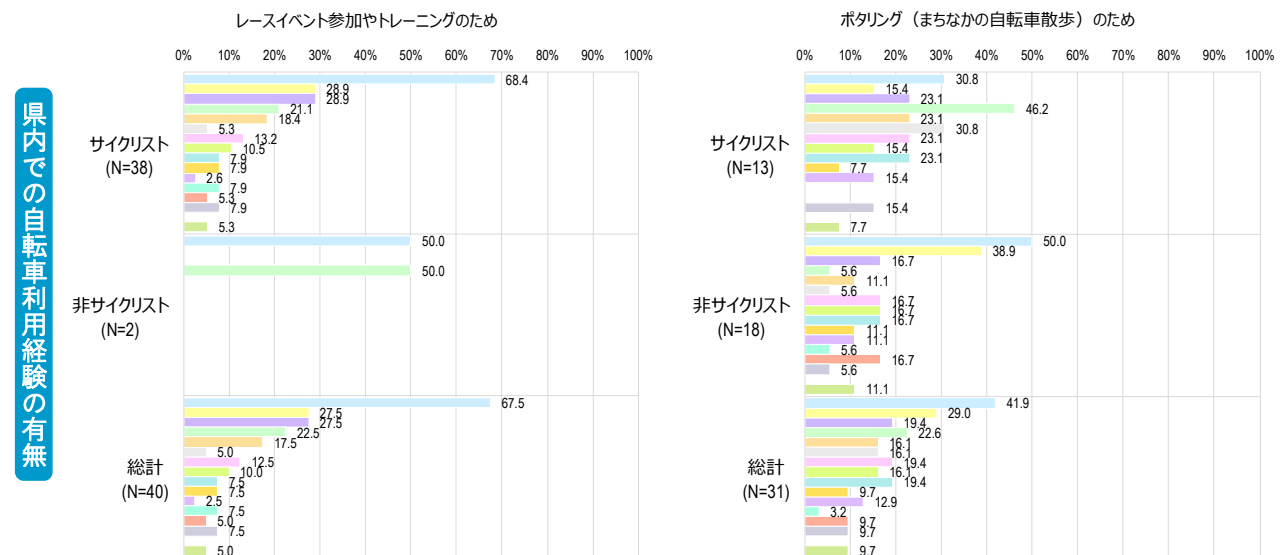
問17：問8の目的で自転車を利用した際に、よかったと感じた整備・サービスについて教えてください。（いくつでも）

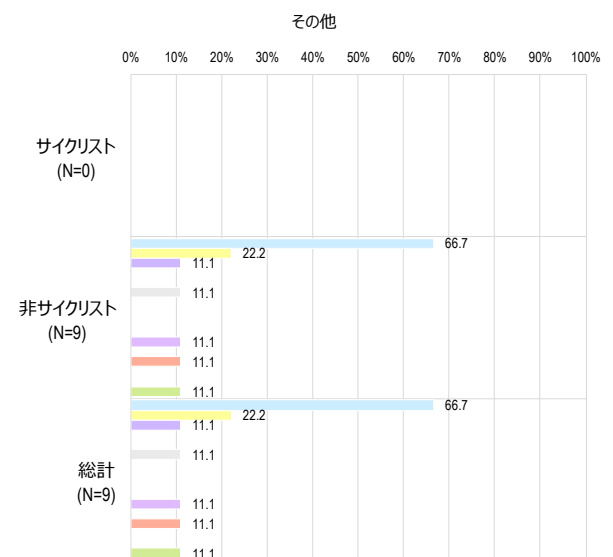
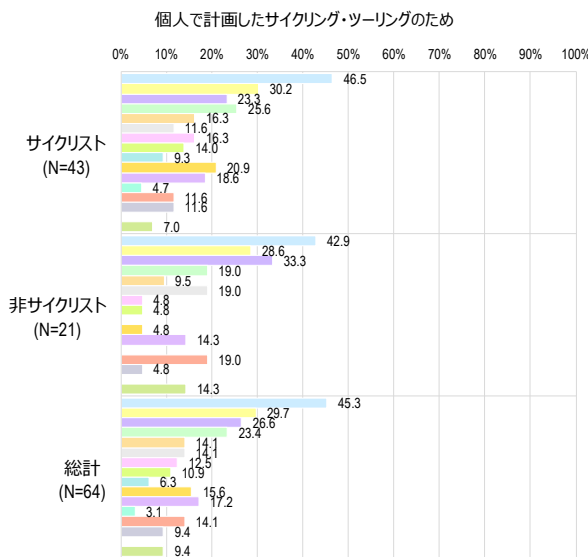
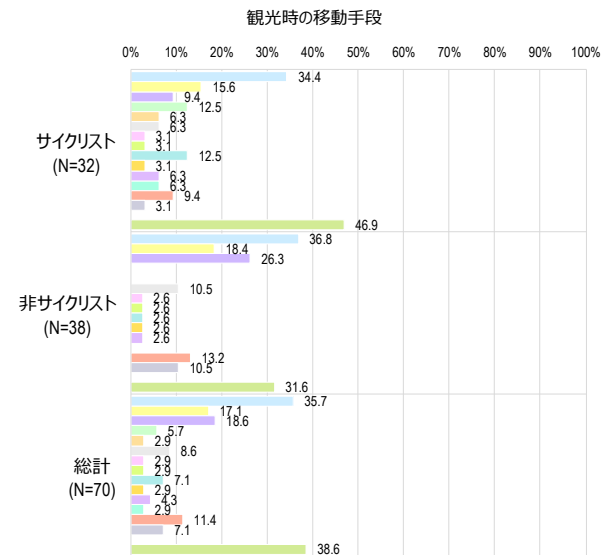
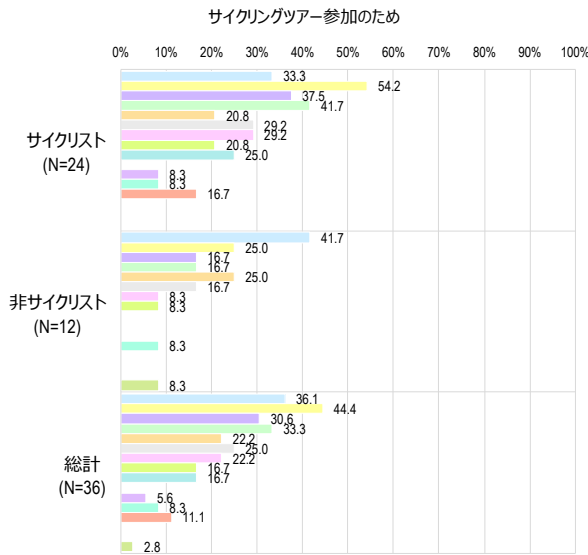
- 全体をみると、「安全で快適に走れる通行環境が整っていること」がよかったと回答した割合が45.2%と最も多く、「案内サインが充実していて迷わずに走れる環境が整っていること」(27.6%)、「レンタサイクルやシェアサイクルが充実していること」(23.6%)が続く。
- 「サイクリスト」では、「ロッカーや更衣室、シャワールームが充実していること」が26.0%で「非サイクリスト」よりも18ポイント高い。

※SC4で、「利用していない」と回答した人は、回答対象外のため除く



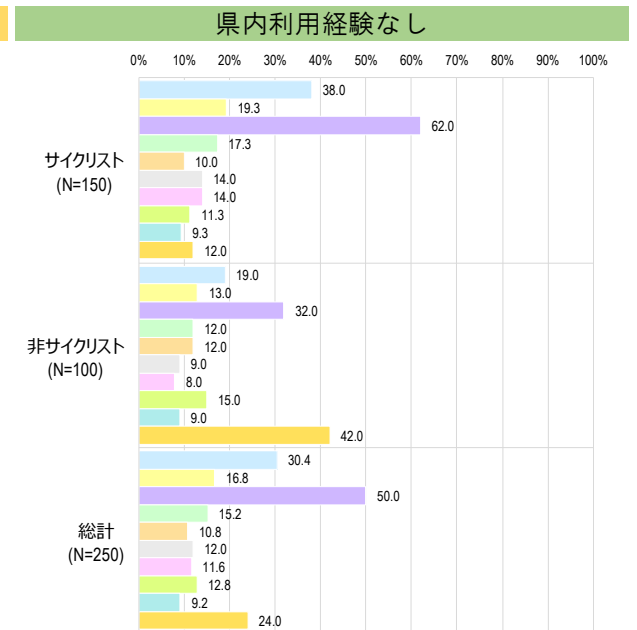
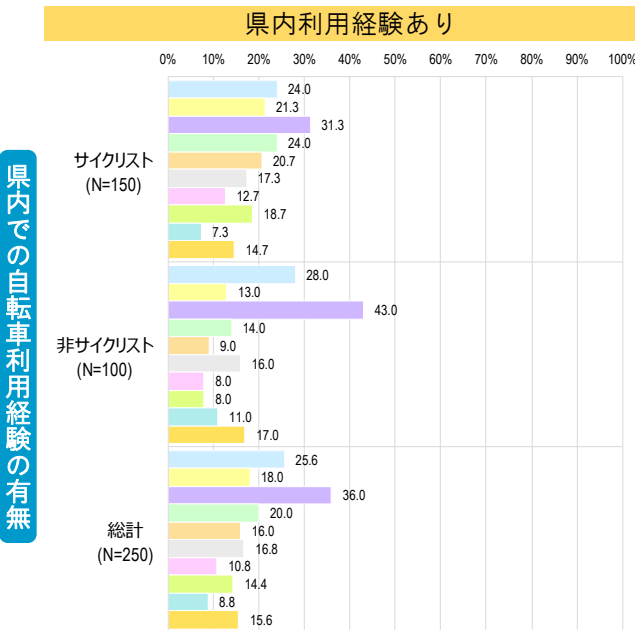
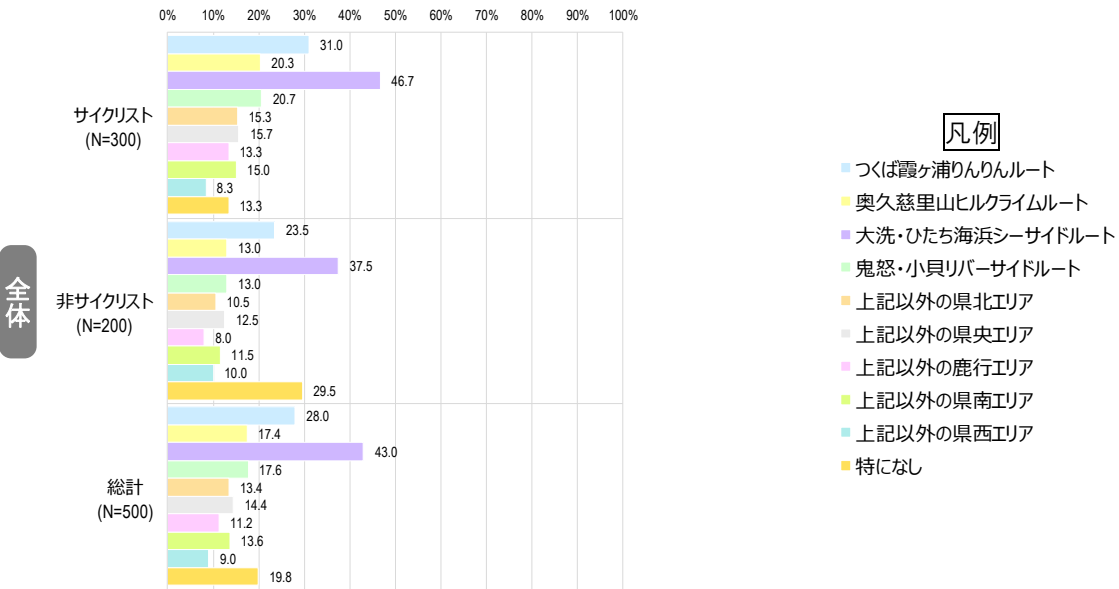
県内利用経験あり





問18：今後、茨城県内で自転車を利用して観光したいと思う地域をお教えてください。（いくつでも）

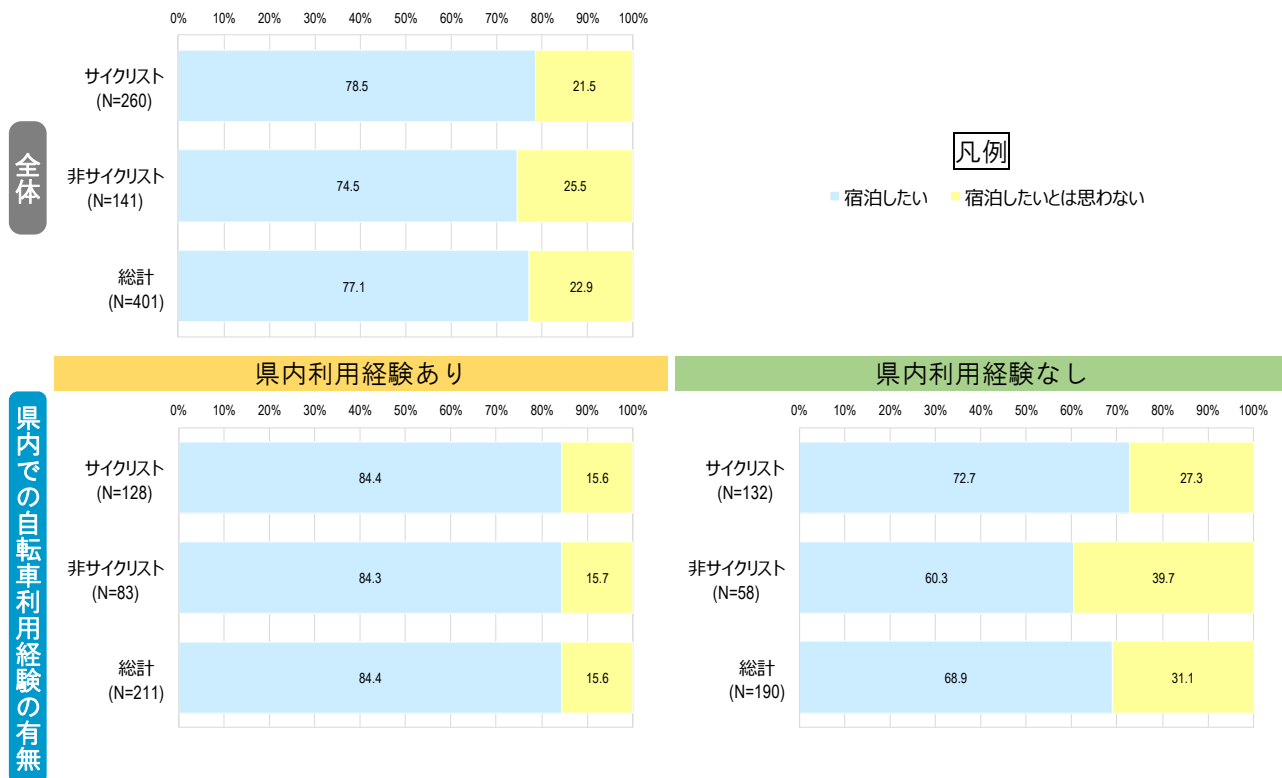
- 全体をみると、サイクリスト・非サイクリストにかかわらず「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」を自転車を利用して観光したいという回答が最も多く、ついで「つくば霞ヶ浦りんりんルート」が多い。
- サイクリストは、「鬼怒・小貝リバーサイドルート」(20.7%)や「奥久慈里山ヒルクライムルート」(20.3%)との回答割合も、非サイクリストと比較して高い。



問19：今後、茨城県内で自転車を利用して観光する際に、宿泊したいと思いますか。

- 全体をみると、約8割が、県内で自転車を利用して観光する際に宿泊したいと考えている。
- 県内での自転車利用経験がある方については、「宿泊したい」割合は85%程度を占める一方で、利用経験のない方についても、「宿泊したい」割合は60～70%程度を占める。

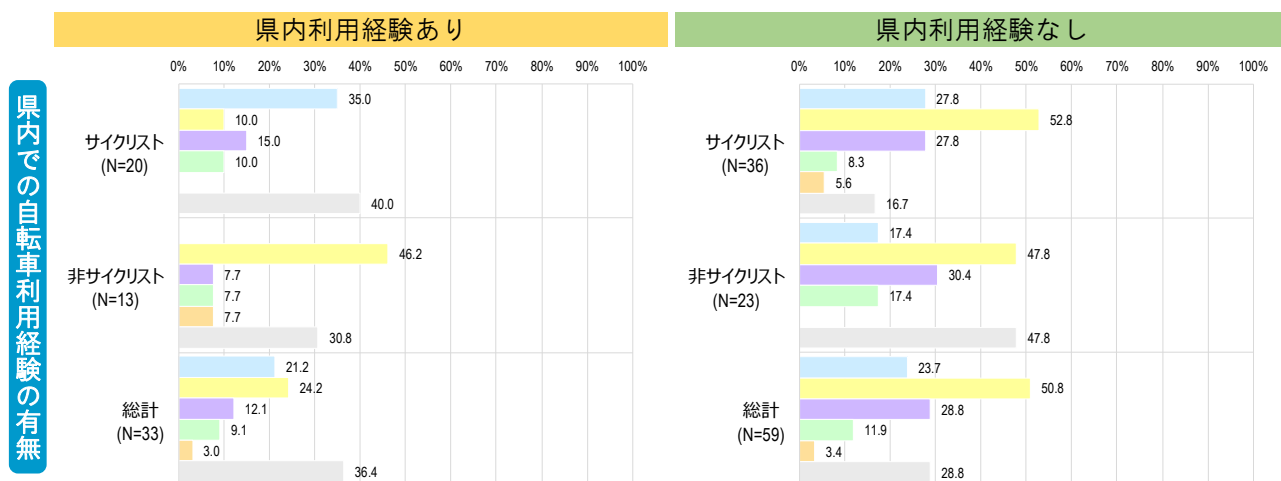
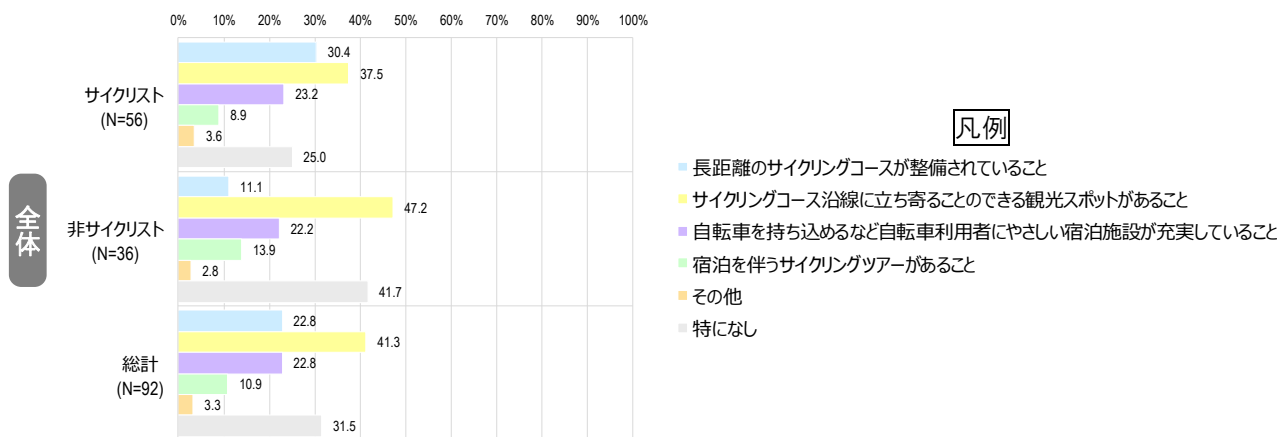
※問18で、「特になし」と回答した人は、回答対象外のため除く



問20：問19で「2. 宿泊したいとは思わない」と回答した人にお伺いします。今後、茨城県内で自転車を利用して観光する際に、どのような環境が整っていれば宿泊したいと思いますか。（いくつでも）

- 全体をみると、サイクリスト・非サイクリストにかかわらず「サイクリングコース沿線に立ち寄ることができる観光スポットがあること」との回答が最も多い。サイクリストは、ついで「長距離のサイクリングコースが整備されていること」(30.4%)、「特になし」(25.0%)と続く。

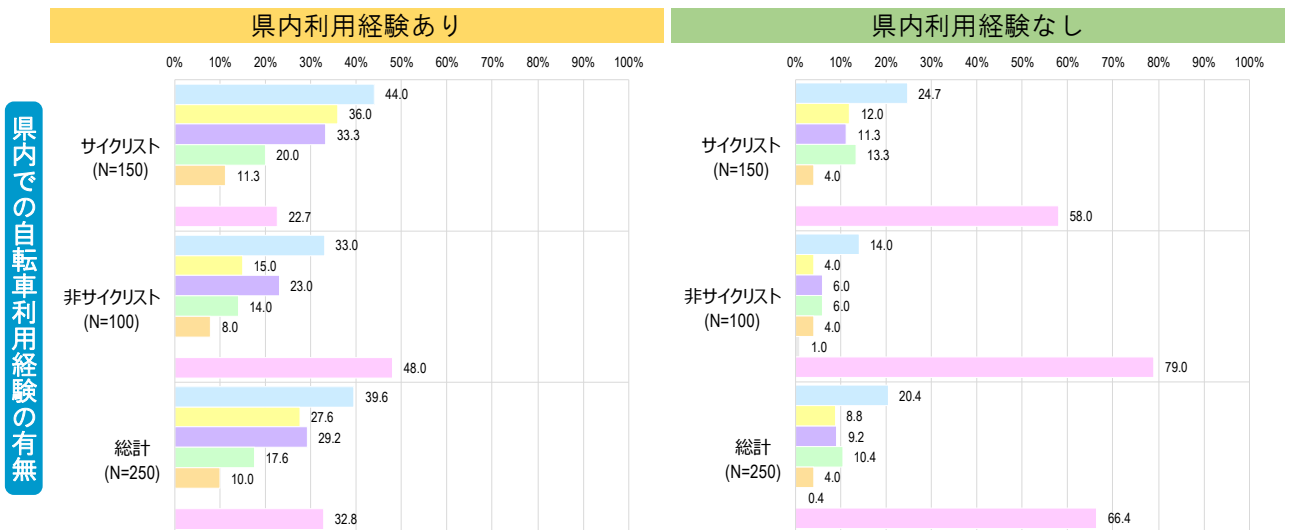
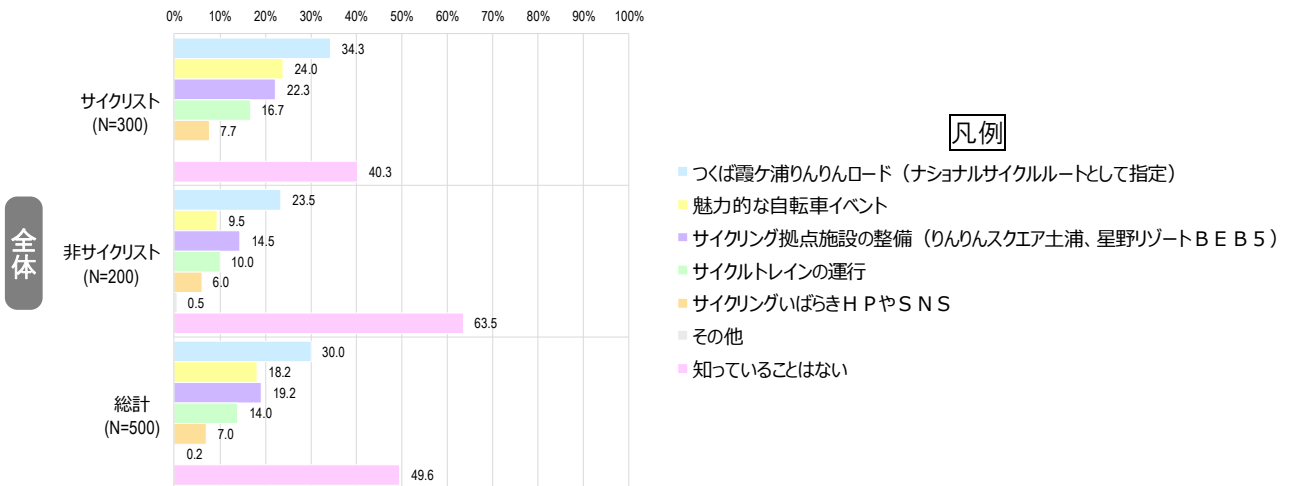
※問19で、「宿泊したい」と回答した人は、回答対象外のため除く



■サイクリング情報提供に対する認知状況

問21：茨城県でのサイクリングに関する取組やキーワードの中で、ご存じのものをお教えてください。（いくつでも）

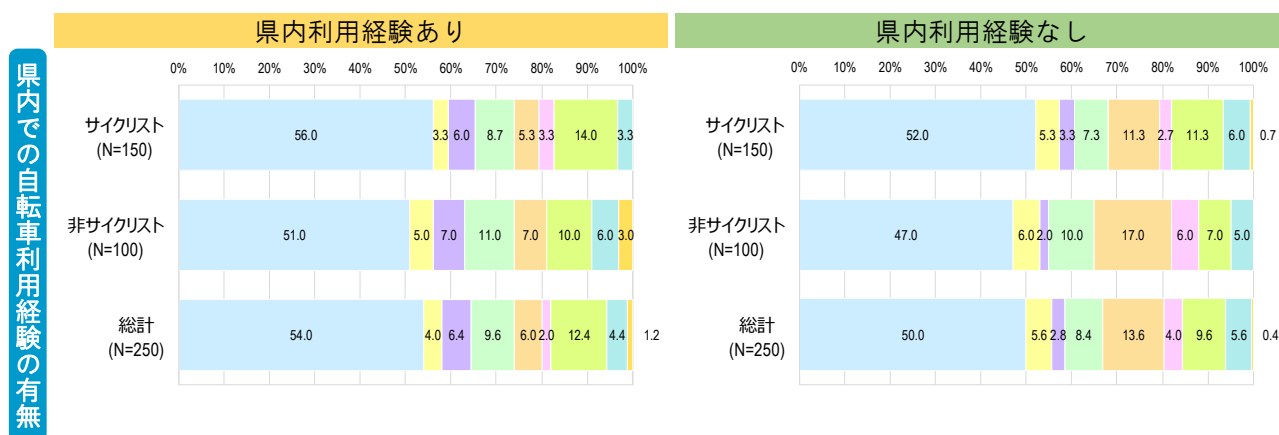
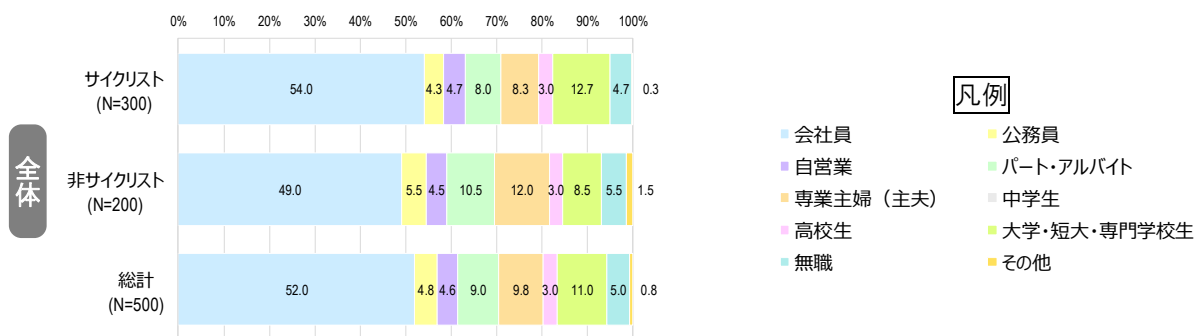
- ・ 全体をみると、回答者の約5割は、茨城県でのサイクリングに関する取組やキーワードについて認知している。そのなかでも、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の認知度が全体で30.0%と高い。
- ・ 県内での自転車利用経験者の方が、利用経験がない方に比べて取組・キーワード等の認知度が高い。



■ 個人属性

問22：あなたの職業をお教えてください。

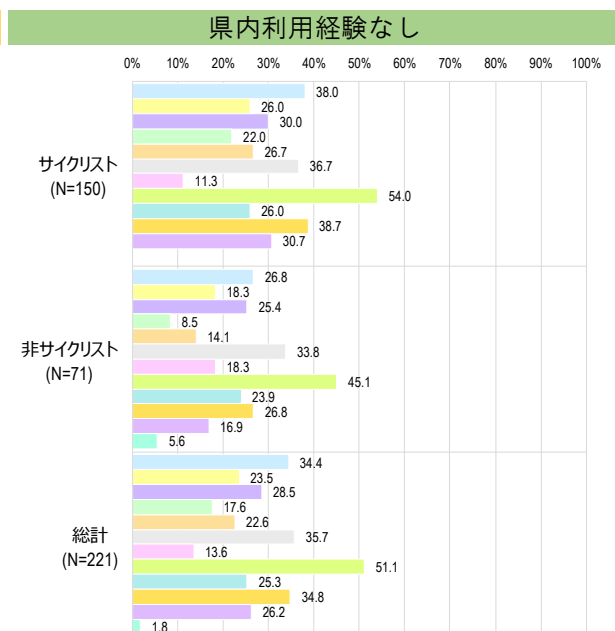
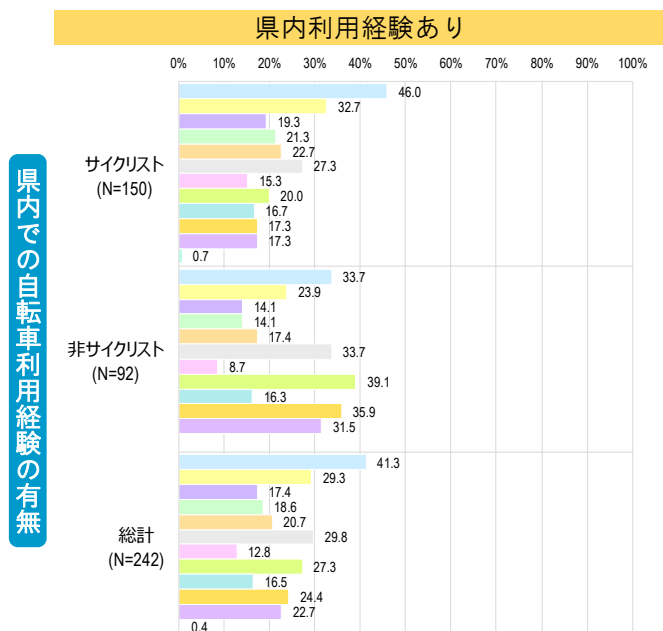
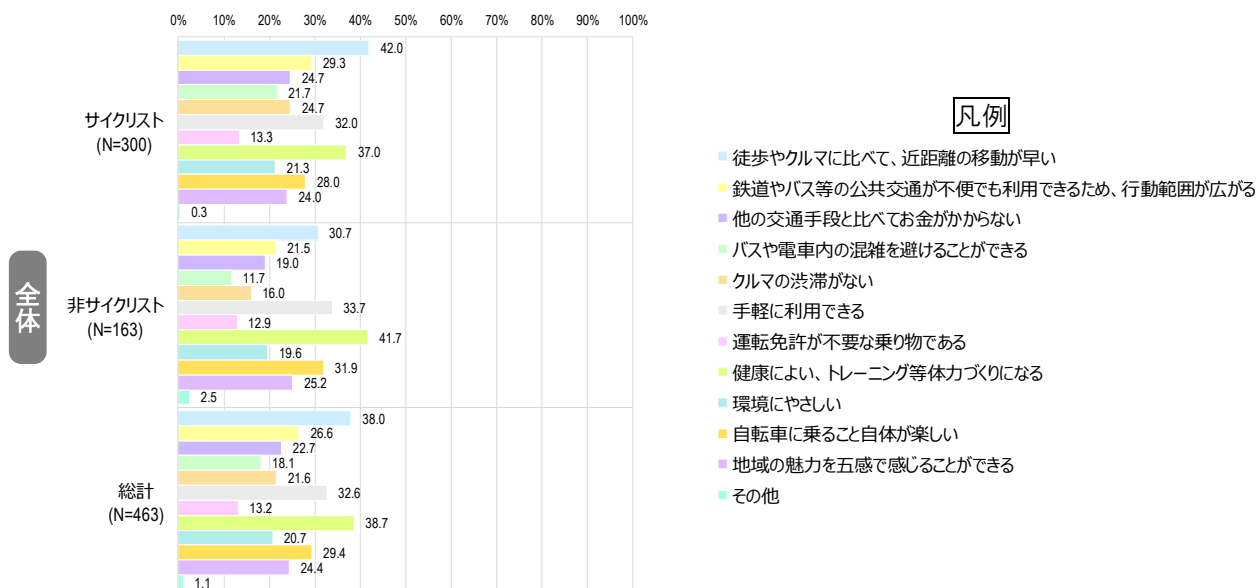
- 全体をみると「会社員」が約5割と最も多い。



問23：普段、観光・レジャーや走ることを目的としたサイクリングをする理由をお教えてください。
(いくつでも)

- 普段、観光・レジャーや走ることを目的としたサイクリングをする理由として、全体をみると、サイクリストは「徒歩やクルマに比べて、近距離の移動が早い」が 42.0%と最も多く、「健康によい、トレーニング等体力づくりになる」(37.0%)、「手軽に利用できる」(32.0%)と続く。非サイクリストは「健康によい、トレーニング等体力づくりになる」が 41.7%と最も多く、「手軽に利用できる」(33.7%)、「自転車に乗ること自体が楽しい」(31.9%)、「徒歩やクルマに比べて、近距離の移動が早い」(30.7%)と続く。

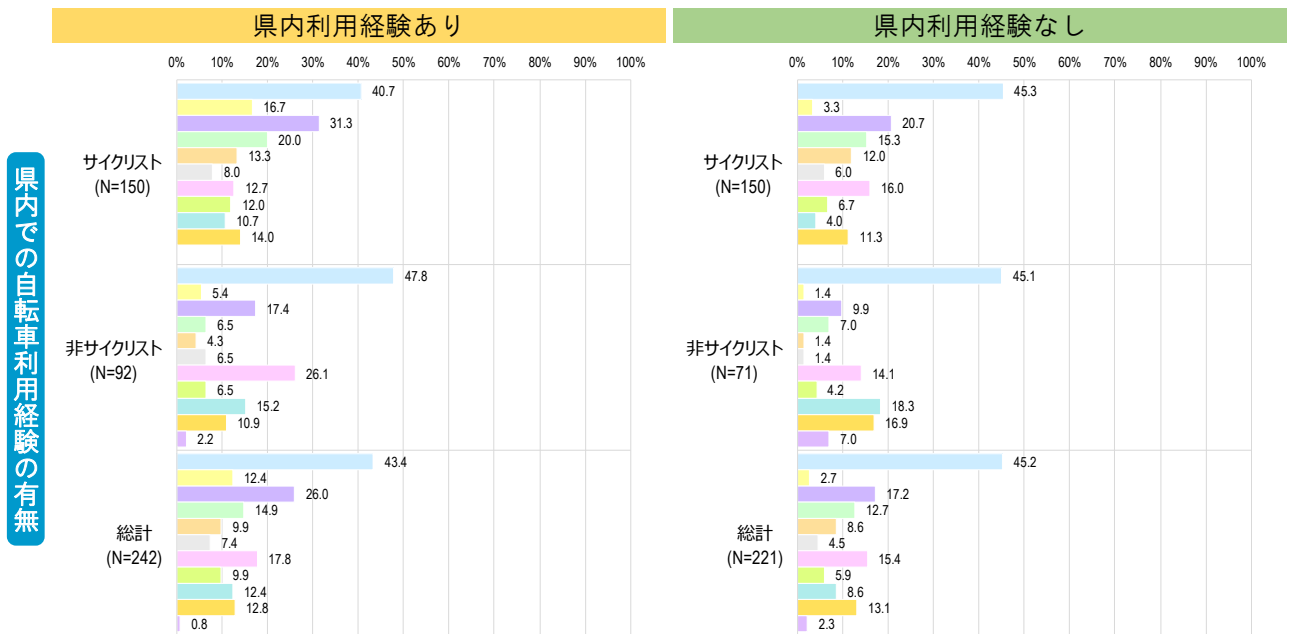
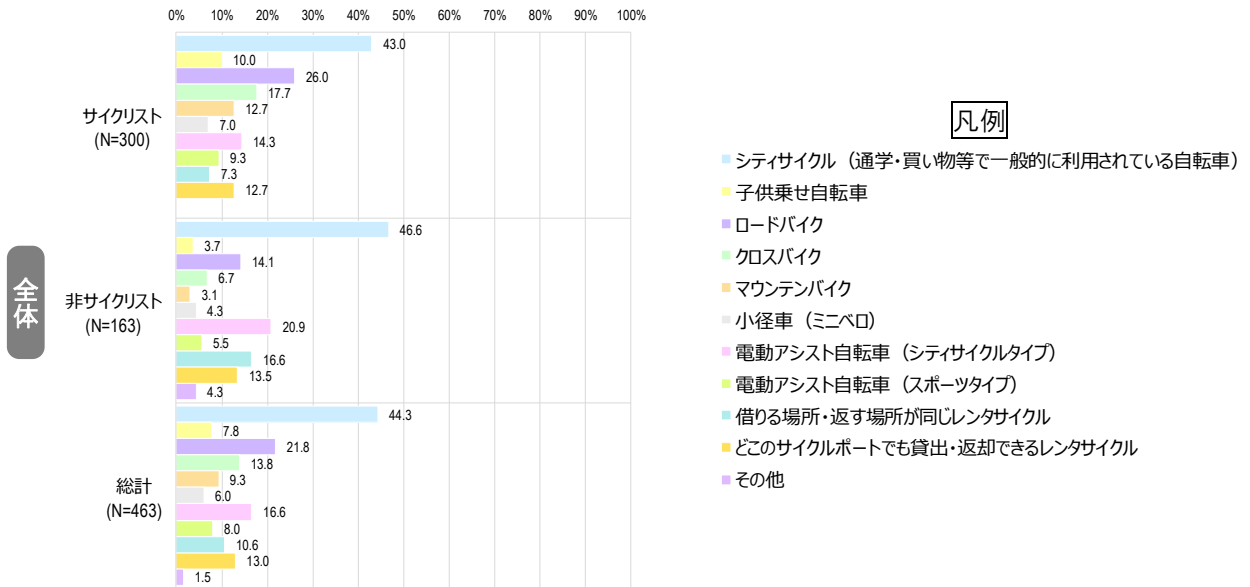
※SC2 で、「サイクリングをしたことがない」と回答した人は、回答対象外のため除く



問24：普段、観光・レジャーや走ることを目的としたサイクリングに利用している自転車の種類をお教えてください。（いくつでも）

- 普段、観光・レジャーや走ることを目的としたサイクリングに利用している自転車の種類として、全体をみると、サイクリスト・非サイクリストにかかわらず「シティサイクル」が最も多い。サイクリストは、ついで「ロードバイク」(26.0%)、「クロスバイク」(17.7%)が多い一方で、非サイクリストは「電動アシスト自転車(シティサイクルタイプ)」(20.9%)、「借りる場所・返す場所が同じレンタサイクル」(16.6%)、「ロードバイク」(14.1%)が多い。

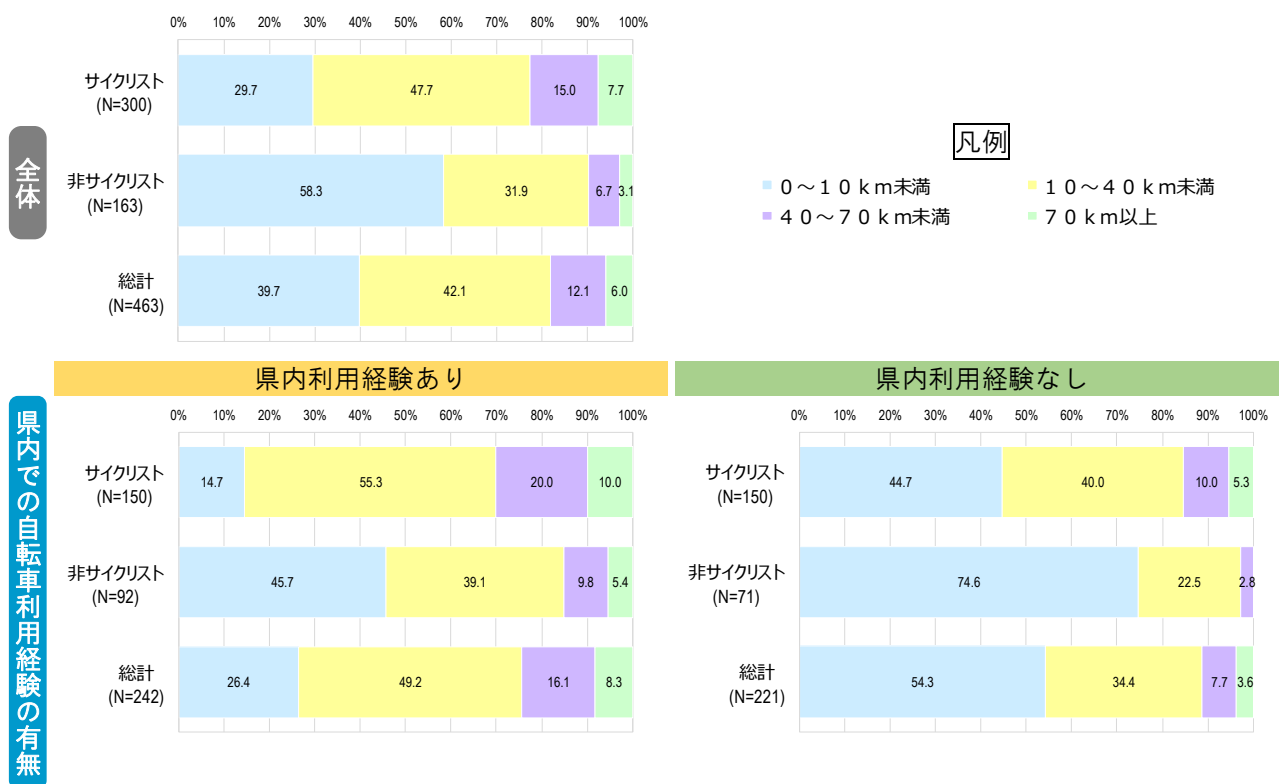
※SC2 で、「サイクリングをしたことがない」と回答した人は、回答対象外のため除く



問25：普段、観光・レジャーや走ることを目的としたサイクリングで走る距離をお教えてください。

- ・ 普段、観光・レジャーや走ることを目的としたサイクリングに利用している自転車の種類として、全体をみると、サイクリストは非サイクリストと比較して「10km 以上」走る割合が 30 ポイント程度高い。

※SC2 で、「サイクリングをしたことがない」と回答した人は、回答対象外のため除く



■県外客アンケート調査結果の主なまとめ

項目	設問	内容	結果	考察
茨城県でのサイクリング実態・実施意向	Q1	県内で来訪したエリア (いくつでも)	・回答者全体の約 5 割が <u>県央エリア、約 4 割が県南エリア</u> を来訪	<ul style="list-style-type: none"> ・県央エリアや県南エリアに多く観光客が集まっている。 ※自転車利用有無は関係なし ・自転車利用に関する広報媒体として、自治体のポータルサイトや、サイクリングマップの活用、サイクリスト向けの SNS での情報発信が考えられる。 ・情報発信内容としては、観光スポットやサイクリング情報の需要がある。
	Q2	自転車利用の検討有無	・県内での自転車利用経験のない回答者のうち、 <u>約 9 割は自転車利用を検討していない</u>	
	Q3	自転車利用検討時の利用媒体 (いくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用を検討した人のうち、<u>自治体のポータルサイトやサイクリングマップの利用が約 4 割</u>と多い ・非サイクリストと比較して、<u>サイクリストは個人ブログや、Facebook、Twitter 等の SNS を利用したと回答した割合が高い</u> 	
	Q4	自転車利用検討時の収集情報 (いくつでも)	・自転車利用を検討した人のうち、 <u>約 4 割が観光スポットの情報を収集したと回答、ついでサイクリングコースに関する情報収集が多い</u>	
	Q5	自転車利用検討時の収集情報のわかりやすさに対する満足度	・自転車利用を検討した人のうち、約 6 割は満足度が高い	
	Q6	自転車を利用するために必要な整備・サービス(いくつでも) (Q2 で自転車利用を検討したがやめた方)	・自転車利用を検討したがやめた人のうち、 <u>安全・快適な走行環境や、レンタサイクル・シェアサイクルの充実を求める声</u> が約 5 割	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の自転車利用者を増加させるためには、安全・快適な走行環境の整備や、レンタサイクル・シェアサイクルの充実等の取組が必要。
	Q7	自転車の利用を検討しなかった理由 (いくつでも) (Q2 で自転車利用の検討をしなかった方)	・自転車利用を検討しなかった理由としては、「 <u>他の交通手段の方が便利</u> なため」が <u>全体の約 7 割</u> 、「 <u>自転車を利用する旅のイメージがなかった</u> ため」が約 4 割	

項目	設問	内容	結果	考察
	Q8	県内での自転車利用の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・県内での自転車利用経験者のうち、サイクリストは<u>個人計画のサイクリング・ツーリングやレースイベント参加・トレーニングが約3割、観光時の移動手段が約2割</u> ・非サイクリストは<u>観光時の移動手段が約4割、個人計画のサイクリング・ツーリング、ポタリングが約2割</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・日帰り旅行の割合が多く、観光消費を増やすためには宿泊客の増加が必要 ・春～秋まで自転車利用がみられることから、冬以外の長期間での自転車需要が見込まれる ・「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」や「つくば霞ヶ浦りんりんルート」等のサイクリングルートだけでなく、「県南エリア」についても自転車での観光需要が見込まれる ・自転車利用のスタート地点となる道の駅、鉄道駅等のサイクリング拠点化に関する検討や、スタート地点までのアクセスの検討が必要
	Q9	Q8の目的での県内滞在時期	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリストの約7割は<u>春・夏に滞在</u> ・非サイクリストについては、「春」について<u>「秋」の滞在も多い</u> 	
	Q10	Q8の目的での滞在日数	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリストは約4割、非サイクリストは約5割が<u>日帰り旅行</u> ・宿泊する場合でも、大半が<u>1泊2日</u>での滞在 	
	Q11	Q8の目的での旅行の種類別	<ul style="list-style-type: none"> ・全体をみると、「<u>一人旅</u>」が約3割と最も多く、ついで「<u>夫婦旅行</u>」が約2割 	
	Q12	Q8の目的での自転車を利用した地域（いくつでも）	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者の約3割が「<u>大洗・ひたち海浜シーサイドルート</u>」を来訪 ・サイクリストは、「<u>つくば霞ヶ浦りんりんルート</u>」が次いで約2割 ・非サイクリストは、「<u>上記以外の県南エリア</u>」が次いで約2割 	
	Q13	Q8の目的での自転車を利用した際のスタート地点	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリストは「<u>道の駅</u>」をスタート地点とした割合が約4割で最も高く、「<u>鉄道駅</u>」が約3割 ・非サイクリストは「<u>鉄道駅</u>」が約3割と最も高く、「<u>道の駅</u>」「<u>公園</u>」が約2割 	

項目	設問	内容	結果	考察
	Q14	Q8の目的での自転車の調達方法	<ul style="list-style-type: none"> サイクリストは約5割が<u>自分の自転車を利用</u> 非サイクリストは約5割が<u>レンタサイクルを利用</u> 	
	Q15	①県内のサイクリングの手軽さの満足度 ②県内サイクリングの、スタート地点までの交通アクセスの満足度 ③安心してサイクリングを楽しめる事の満足度 ④総合的な満足度	<ul style="list-style-type: none"> <u>全体の約7割が「満足」「やや満足」と回答</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の自転車利用に対する満足度は全体的に高いものの、「安全・快適な走行環境」「案内サインの充実した迷わず走れる走行環境」「レンタサイクルやシェアサイクルの充実」等を求める声も一定数あることから、更なる誘客に向けて対応が必要。
	Q16	Q8の目的で、自転車を利用した地域で改善が必要だと感じた整備・サービス（いくつでも）	<ul style="list-style-type: none"> <u>「安全・快適な走行環境」を求める声が全体の約5割と高い</u> ついで、「案内サインの充実した迷わず走れる走行環境」「レンタサイクルやシェアサイクルの充実」を求める声が約3割 	
	Q17	Q8の目的で自転車を利用した際に、よかったと感じた整備・サービス（いくつでも）	<ul style="list-style-type: none"> <u>「安全・快適な通行環境」がよかったとの回答が全体の約5割</u> <u>「案内サインの充実した迷わず走れる走行環境」が約3割、「レンタサイクルやシェアサイクルの充実」が約2割</u> 	
	Q18	今後、茨城県内で自転車を利用して観光したいと思う地域（いくつでも）	<ul style="list-style-type: none"> <u>大洗・ひたち海浜シーサイドルートを自転車利用して観光したいという声が全体の約4割、ついでつくば霞ヶ浦りんりんルートが約3割</u> サイクリストは、「鬼怒・小貝リバーサイドルート」や「奥久慈里山ヒルクライムルート」との回答割合も、非サイクリストと比較して高い 	

項目	設問	内容	結果	考察
	Q19	茨城県内で自転車を 利用した宿泊をとも なう観光意向	・全体の約 8 割が <u>宿泊意向あり</u>	・宿泊の潜在需要はあること から、宿泊客増加に向けた 取組による観光振興が期待 できる ・宿泊客増加に向けては、観 光スポットの発信やサイク リングコースの整備が求め られている
	Q20	茨城県内で自転車を 利用した宿泊をとも なう観光に必要な環 境整備(いくつでも) (Q19 で宿泊したい とは思わないと回答 した方)	・「 <u>サイクリングコース沿線 に立ち寄ることのできる観 光スポットがあること</u> 」を 求める声が全体の約 4 割 ・サイクリストは、「 <u>長距離の サイクリングコースの整 備</u> 」が次いで多い	
提 供 に 対 し る 認 知 情 報	Q21	サイクリングに関す る茨城県の取組など の認知状況 (いくつでも)	・ <u>全体の約 5 割は茨城県での サイクリングに関する取組 やキーワードについて認知</u> ・ <u>つくば霞ヶ浦りんりんロード の認知度が全体の約 3 割 と比較的高い</u>	・サイクリングに関する茨城 県の取組などの認知に向け た更なる取組が必要
個 人 属 性	Q22	職業	・会社員が回答者全体の 5 割 程度	—
	Q23	普段、観光・レジャー や走ることを目的に サイクリングをする 理由(いくつでも)	・「 <u>健康によい・体力づくり</u> 」 「 <u>近距離の移動が早い</u> 」「 <u>手 軽に利用できる</u> 」等の理由 が多い	
	Q24	普段、観光・レジャー や走ることが目的の サイクリングで利用 する自転車の種類 (いくつでも)	・ <u>シティサイクルの利用が全 体の約 4 割と最も多い</u> ・ <u>サイクリストは、ロードバ イクやクロスバイクの利用 が次いで多く、非サイクリ ストはシティサイクルタイ プの電動アシスト自転車や レンタサイクルの利用が多 い</u>	
	Q25	普段、観光・レジャー や走ることが目的の サイクリングで走る 距離	・ <u>サイクリストは「10km以上」 走る割合が約 7 割であり、 非サイクリストと比較して 30 ポイント程度高い</u>	